

# HD ビジュアル コミュニケーション システム

---

取扱説明書（バージョン 1.3）

お買い上げいただきありがとうございます。

**IPELA**

**PCS-XC1**

# 目次

## 1 章 設置と準備

この取扱説明書の使いかた .....	8
本機の特長 .....	9
システムの構成 .....	11
基本システムを構成する機器 .....	11
別売機器の一覧 .....	12
システムの構成例 .....	13
構成例（LAN 接続） .....	13
構成例（無線 LAN 接続） .....	14
構成例（SIP 接続） .....	15
システムの設置 .....	16
デスクトップへ設置する .....	16
三脚に取り付ける .....	17
固定用ネジを使って取り付ける .....	17
システムの接続 .....	18
接続例（LAN 接続） .....	19
接続例（無線 LAN 接続） .....	20
接続例（SIP 接続） .....	21
システムの準備 .....	22
リモコンに乾電池を入れる .....	22
リモコンと本機のペアリング方法 .....	24
電源を入れる / 切る .....	26
電源を入れる .....	26
スタンバイモードについて .....	27
本機をスタンバイ状態にする .....	28
電源を切る .....	28
モニター用テレビの音量を調節する .....	29
設置直後の設定 - 初期設定ウィザード .....	30
メニューの基本操作 .....	34
ホームメニューの見かた .....	34
メニューを操作する .....	40
リモコンで文字や数字を入力する .....	43
ソフトキーボードで文字や数字を入力する .....	44

## 2章 登録と設定 – 管理者用

システムを設定する .....	47
設定メニューを表示する .....	47
通信回線設定メニュー .....	51
無線セキュリティ設定メニュー .....	51
発信設定メニュー .....	52
着信設定メニュー .....	53
通信モード設定メニュー .....	53
音声設定メニュー .....	55
映像設定メニュー .....	58
LAN 設定メニュー .....	58
QoS 設定メニュー .....	61
TOS 設定メニュー .....	63
SIP 設定メニュー .....	64
アノテーション設定メニュー .....	64
一般設定メニュー .....	65
ホーム画面設定メニュー .....	68
管理者設定メニュー .....	69
暗号化設定メニュー .....	75
共有アドレス帳設定メニュー .....	76
機器状態を表示する .....	77
機器状態を表示する .....	77
端末の情報 .....	79
周辺機器の状態 .....	79
通信モードの状態 .....	80
LAN 回線の状態 .....	80
ネットワーク導通確認 .....	81
有線 LAN / 無線 LAN の制限 .....	82
IPv6 使用時の制限 .....	82
ネットワーク構成ごとの設定方法 .....	83
LAN—DHCP を使用しての接続 .....	83
LAN—ルーターを介しての接続 .....	84
LAN—ゲートキーパーを介しての接続 .....	85
LAN—NAT 環境での接続 .....	86
LAN—H.460 を使用したファイアウォール越えでの接続 .....	87

## 目次

LAN—PPPoE による接続 .....	89
LAN—無線 LAN による接続 .....	90
ネットワーク導通確認について .....	95
ソフトウェアオプションを追加する .....	96
ソフトウェアオプションが正しくインストールされたことを 確認するには .....	98

## 3 章 基本的な接続

自分側から接続を始める .....	99
電源を入れる .....	100
接続メニューで相手呼び出す .....	100
直接、相手の番号を入力して呼び出す（ダイレクトダイヤル） .....	102
ワンタッチダイヤルボタンから相手呼び出す .....	103
通信履歴から相手呼び出す .....	104
アドレス帳に登録している相手呼び出す .....	106
アドレス帳に登録していない相手呼び出す .....	108
相手から接続される .....	111
呼び出しの受け方（手動着信 / 自動着信） .....	111
相手から呼び出される .....	111
接続を終了する .....	113
アドレス帳に相手を登録する .....	114
新しい相手を登録する .....	114
アドレス帳を編集する .....	117
アドレス帳を 1 件コピーする .....	118
登録した相手を削除する .....	118
アドレス帳にグループを作る（グループ編集） .....	118
プライベートアドレス帳を作成する .....	121
共有アドレス帳を使用する .....	123
音声調節する .....	125
受信音量を調節する .....	125
音声の送信を一時的にカットする—マイクミュート機能 .....	125
着信時の音声の送信をカットする—着信時マイクオフ .....	126
送信する映像と音声の時間差を調整する—リップシンク機能 .....	126
エコーを軽減する—エコーキャンセラー .....	126

---

## 目次

カメラを調節する .....	127
アングルとズームを調整する .....	127
画像の明るさ（輝度）を調整する .....	128
プリセット機能を使う .....	130
カメラ機能の詳細を設定する .....	133
映像と音声を切り換える .....	135
相手側と自分側の映像を切り換える .....	135
入力される映像を切り換える .....	135
リモコンのファンクションボタン（F1～F4）で入力映像を 切り換える .....	136
相手側に送る音声を切り換える .....	136
リモコンのファンクションボタン（F1～F4）で音声入力を 切り換える .....	136
相手側の映像を切り換える .....	136
モニター映像を切り換える .....	138
画像をキャプチャーする .....	140

---

## 4章 いろいろな機器を使った接続

ツールメニューを使う .....	142
コンピューターの画像をプレゼンテーションに使う .....	144
コンピューターを接続する .....	144
プレゼンテーションを行う .....	144
レコーディングする .....	146
アノテーション機能を使う .....	148
ペンタブレットを接続する .....	148
通信中にアノテーションを使う .....	149
マイクを使う .....	154
外部映像機器からの映像・音声を使う .....	155
モニターやプロジェクターに映像を出力する .....	157
トーン信号で相手のシステムを制御する - DTMF の送信 .....	158
外部から本機にアクセスする .....	159
Web ブラウザを使用する .....	159
Telnet を使用する .....	159
SSH を使用する .....	159

---

## 目次

---

### 5 章 暗号化接続

暗号化接続の準備 .....	161
暗号化接続を始める .....	163

---

### 6 章 Web 機能

Web ページへのアクセス方法 .....	166
認証ページの入力方法 .....	167
メニューの選択 .....	169
Home メニューの使いかた .....	170
Download メニューの使いかた .....	171
Remote Commander メニューの使いかた .....	172
機能ボタンの選択 .....	173
KIOSK Mode の設定方法 .....	174
Version Up ページの使いかた .....	175
Monitor ページの使いかた .....	176

---

### 付録

各部の名称と働き .....	177
HD ビジュアルコミュニケーションシステム PCS-XC1 .....	177
RF リモコン (付属) .....	179
インジケター一覧 .....	181
メッセージ一覧 .....	184
故障かな? .....	186
仕様 .....	190
HD ビジュアルコミュニケーションシステム PCS-XC1 .....	190
リモコン PCS-RFZ1 (付属) .....	191
マイクロホン PCS-A1 (付属) .....	191
寸法図 .....	193
HDMI 出力仕様 .....	194
HDMI IN (PC) 入力仕様 .....	194
端子のピン配列 .....	195
パン・チルト範囲 .....	195
PCS-XC1 使用ポート一覧 .....	196

---

## 目次

ミーティングスペースのレイアウト .....	197
USB メモリーについてのご注意.....	197
保証書とアフターサービス .....	198
保証書 .....	198
アフターサービス .....	198
用語解説 .....	199
メニューの構成 .....	202
索引 .....	212
五十音順 .....	212
アルファベット順 .....	215

# 1 章

## 設置と準備

### この取扱説明書の使 いかた

各章には以下の内容を記載しています。必要に応じてお読みください。

#### 1 章 設置と準備

システムの構成や接続、設置のしかたをはじめ、電源の入れかたやメニューの基本操作など、はじめてお使いになる前に必要な情報を記載しています。システムの全体を把握するためにお読みください。

#### 2 章 登録と設定—管理者用

本機のメニューを使った登録や設定をすべて説明しています。システムを管理する方がお読みください。

#### 3 章 基本的な接続

日常のコミュニケーションをするための基本的な操作や設定を記載しています。この章を読むだけで、接続を始めるところから終わるところまでがわかります。コミュニケーションを行う方がお読みください。

#### 4 章 いろいろな機器を使った接続

別売の機器やレコーディング、プレゼンテーション、アノテーションなどの

機能を使った様々なコミュニケーションのしかたを紹介しています。

#### 5 章 暗号化接続

映像、音声データを暗号化して接続を行う方法を説明しています。

#### 6 章 Web 機能

Web 経由で本機の操作、設定をする方法を説明しています。

#### 付録

システムの各機器の各部の名称やメッセージ一覧、故障かな?、主な仕様、用語集などを記載しています。困ったときにお読みください。



---

## 本機の特長

本機は、カメラ一体型のコンパクトなTV会議システムです。離れたところにいるグループをLAN（ローカルエリアネットワーク）で結び、映像と音声を送受信することにより、相手側と同席しているかのようにコミュニケーションができます。

また、別売のワイヤレスモジュールPCSA-WXC1を本機にインストールし、同梱されているUSB無線LANモジュールを本機に挿入することにより、無線LANによるネットワーク接続が可能になります。

---

### 世界標準方式を採用

WTSC（世界電気通信標準化会議）が定めたITU-T勧告に準拠、日本国内だけでなく、海外とも簡単に接続することができます。

---

### HD（ハイディフィニション）映像の送受信が可能

ITU-T H.264 Baseline Profile および High Profile 映像符号化方式に対応し、1280 × 720 の映像を毎秒 60 フレームで送受信できます。

#### ご注意

別売のHDアップグレードソフトウェアPCSA-RXC1をインストールすると、プログレッシブ形式の解像度1920 × 1080の映像を毎秒最大60フレームで送受信できます。

---

### 広帯域モノラル音声の送受信が可能

音声圧縮方式は、MPEG4 AAC（Advanced Audio Coding）モノラル 22 kHz に対応し、高音質の音声送受信が可能です。

また、内蔵のエコーキャンセラーは 11 kHz まで対応しています。

---

### データを使ったコミュニケーションに対応

カメラの映像と同時にコンピューターの出力画面を送信できます。

---

### 高速、高画質の送受信が可能

LANによる通信ビットレートは、最大 4 Mbps まで対応しています。

---

### 幅広い映像圧縮方式・音声圧縮方式に対応

映像圧縮方式は、H.264、H.263+、MPEG4\*方式に対応、音声圧縮方式は、MPEG4 AAC、G.722、G.728、G.711方式に対応しています。

\* MPEG4 は SIP 接続の場合のみ対応。

---

### アノテーションが可能

別売のペンタブレットを使って、コミュニケーション中の映像に文字や画を描き加えたり、ポインターで指し示したりして送信できます。

---

### 100 地点までのカメラ位置をプリセット登録可能

カメラのアンクルとズーム位置を最大 100 地点までプリセット登録できます。プリセット登録を呼び出すことにより、

簡単にカメラの撮影範囲を切り換えることができます。

---

## RF（無線）リモコンを採用

付属のリモコンは、無線方式（2.4 GHz帯）で本機をコントロールします。本機とリモコンは1対1の関係で認識されるように設定でき、近くに別のシステムがあっても混信が防げます。

---

## ソフトキーボード

モニター画面上に表示するソフトキーボードを使って入力が可能です。画面を見ながら視線を動かさずに入力することができます。

---

## ネットワークの状態に応じて最適化できる QoS（Quality of Service）機能搭載

パケット再送要求機能、最適レート制御機能および前方誤り訂正機能を搭載。ネットワークの状況に応じてこれらの機能をハイブリッドに使用し、常に高品質な通信を確保できます。

---

## HDMI 端子を搭載

HDMI 対応のディスプレイ機器との接続が容易です。

また、HDMI IN (PC) 端子を使ってコンピューターからの映像を入力することができます。

---

## USB メモリーをサポート

USB 端子を装備しており、USB メモリーにプライベートアドレス帳の作成や設定の保存が可能です。

### ご注意

- ・ 対応している USB メモリーについては、別途販売店にお問い合わせください。
- ・ 本機前面の USB 端子には、小さな USB デバイスを差し込まないでください。端子からデバイスを取りはずせなくなる可能性がありますので、背面の USB 端子をご利用ください。

---

## HD のレコーディングが可能

映像と音声を USB メモリーにレコーディングし、後にコンピューターで見ることができます。

### ご注意

本機前面の USB 端子には、小さな USB デバイスを差し込まないでください。端子からデバイスを取りはずせなくなる可能性がありますので、背面の USB 端子をご利用ください。

---

## SIP 対応

IP 電話などの端末と SIP（Session Initiation Protocol）を使った接続ができます。

---

## 暗号化接続に対応

本機は、ITU-T で規定された H.235 に準拠した標準暗号化方式に対応しており、機密性の高い通信を行うことが可能です。

---

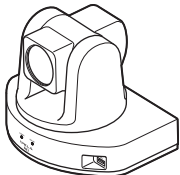
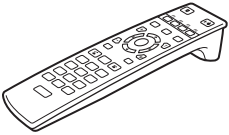
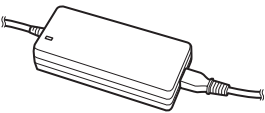

## KIOSK Mode に対応

ワンタッチダイヤルからの発信のみのシンプルな操作にすることができます。

# システムの構成

本機は、コミュニケーションをするために必要な基本システムと、より充実したコミュニケーションを行うための別売機器で構成されます。

## 基本システムを構成する機器

機器	説明
HD ビジュアルコミュニケーションシステム PCS-XC1 	カメラ部、映像や音声の信号を処理して送受信するコーデック部、音声のエコーをカットするエコーキャンセラーおよび通信回線とのインターフェース部、システム制御部からなります。
リモコン PCS-RFZ1 	システム本体とペアリングしてシステムをコントロールします。
AC アダプター 	システム本体に電源を供給します。
マイクロホン PCS-A1 	どの方向からの音でも拾える無指向性のマイクです。静かな部屋でのコミュニケーションにおすすめします。(付属)

## 別売機器の一覧

### 専用別売機器

以下の別売機器が用意されています。

機器	説明
HD アップグレードソフトウェア PCSA-RXC1	プログレッシブ形式の解像度 1920 × 1080 の映像を送受信するためのソフトウェアです。インストールすると、毎秒最大 60 フレーム送受信できます。
モバイルアクセスソフトウェア PCSA-SAG1	本機とモバイル端末を直接接続するためのソフトウェアです。
ワイヤレスモジュール PCSA-WXC1	ワイヤレスネットワークに接続するためのモジュールです。

# システムの構成例

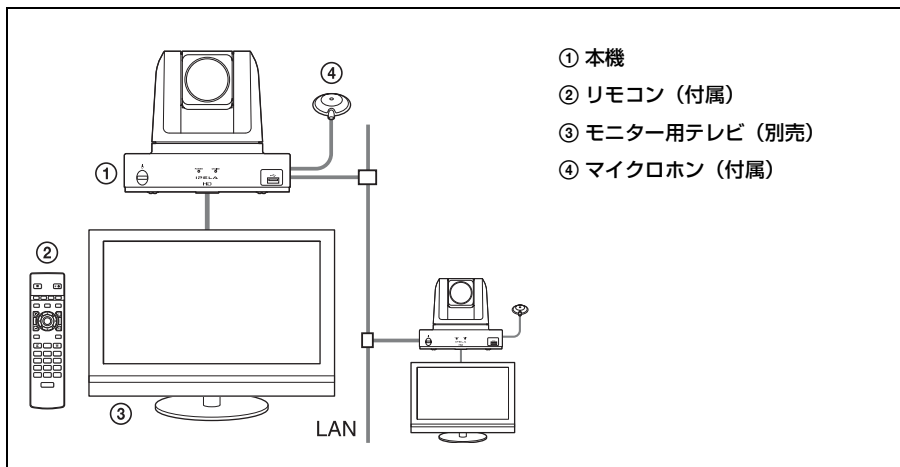
本機は、基本システムと別売機器の組み合わせにより、さまざまなシステムを構成できます。ここでは、代表的な例をあげて、システムの構成に必要な機器とそのシステムでどんなことができるかを説明します。

## 構成例 (LAN 接続)

### このシステムのできること

LAN を介した 2 地点間の HD ビジュアルコミュニケーションができます。

### システム構成図

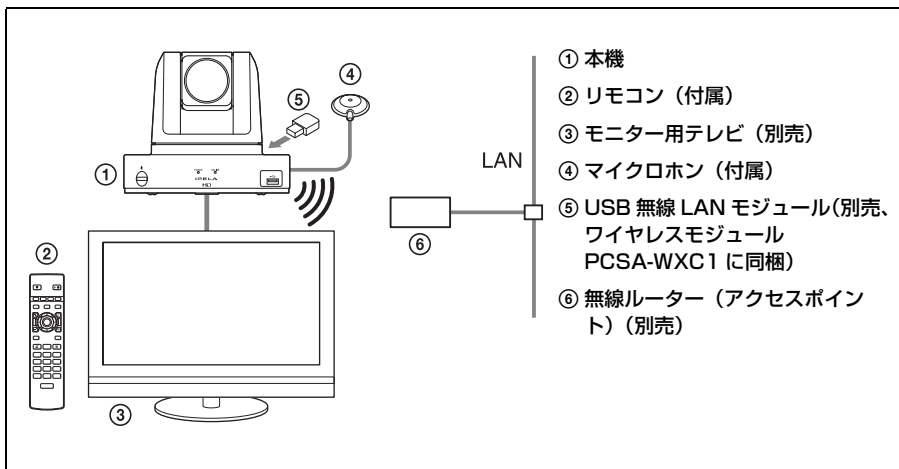


## 構成例（無線 LAN 接続）

### このシステムでできること

別売のワイヤレスモジュール PCSA-WXC1 を本機にインストールし、USB 無線 LAN モジュールを本機背面の USB 端子に挿入することにより、AP（アクセスポイント）を介して無線で HD ビジュアルコミュニケーションができます。

### システム構成図



### ご注意

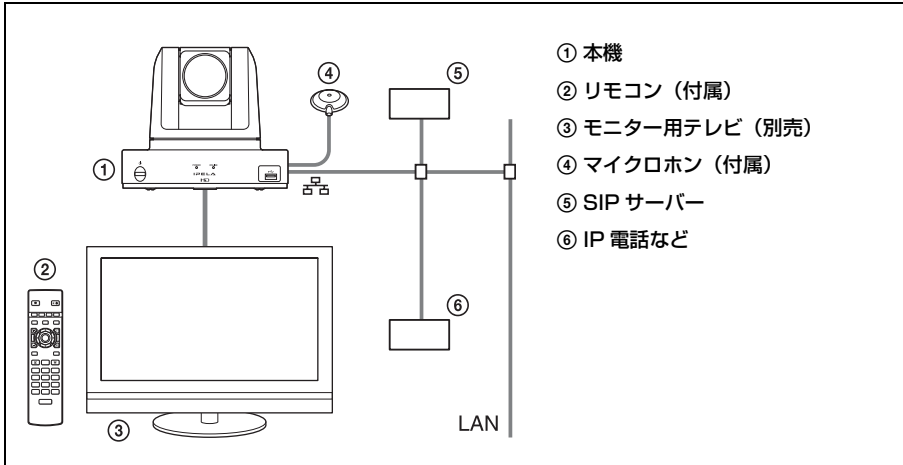
- ・有線 LAN と無線 LAN を同時に使用することはできません。どちらか一方を選択してください。
- ・USB 無線 LAN モジュールの挿抜は、本機の電源をオフにした状態で行ってください。

## 構成例 (SIP 接続)

### このシステムでできること

SIP サーバーを介して IP 電話などの端末と HD ビジュアルコミュニケーションができます。

### システム構成図



# システムの設置

## 警告



指示

### 設置は確実に

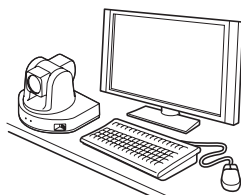
設置については、必ずお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

設置は、本機と取り付け金具を含む重量に充分耐えられる強度があることをお確かめください。十分な強度がないと、落下して、大けがの原因となります。

また、一年に一度は、取り付けがゆるんでいないかを点検してください。

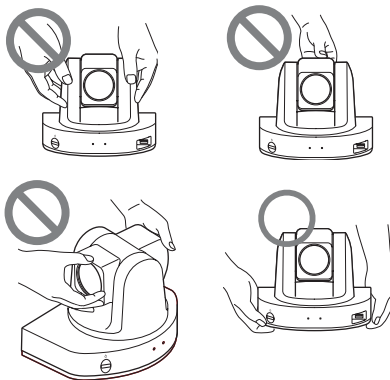
## デスクトップへ設置する

本機は、平らなところに置いてください。



## ご注意

- ・持ち運ぶときは、カメラヘッド部を持たないでください。
- ・カメラヘッド部をパン方向やチルト方向へ手で回さないでください。故障の原因となります。





## 三脚に取り付ける

三脚取り付け部のネジは、取り付け面から飛び出し量（ $\ell$ ）が下記のものを使用し、ハンドドライバーで締めこんでください。



$$\ell = 4.5 \text{ mm} \sim 7 \text{ mm}$$

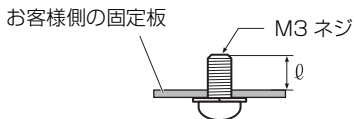


**警告**

三脚用ネジによる固定は、高所への設置には使用しないでください。

## 固定用ネジを使って取り付ける

底面の取り付け用ネジ穴（M3）3箇所を使って固定します。M3 ネジは、次の規格のものを使用してください。ネジは、金具などの段差のない平面に取り付け、しっかり締めてください。



$$\ell = 3 \text{ mm} \sim 6 \text{ mm}$$



**警告**

上記規格のもの以外は使用しないでください。  
内部が破損します。

---

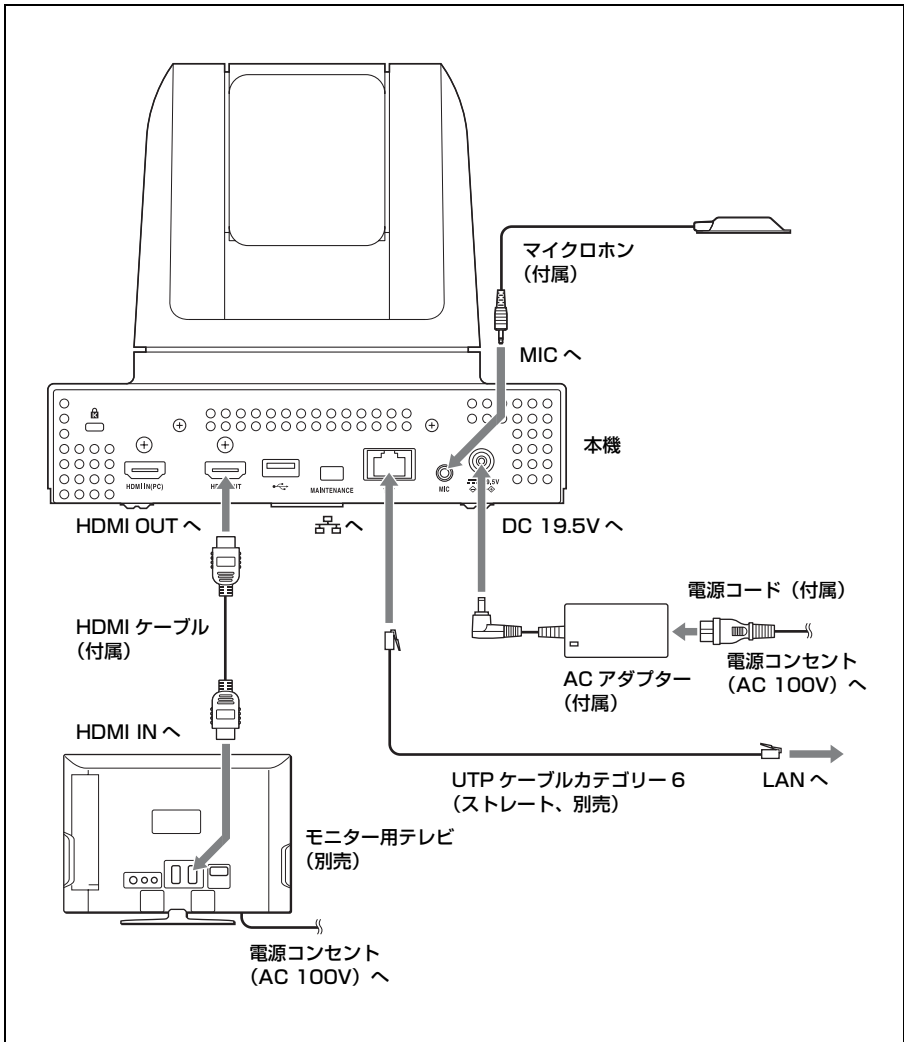
## システムの接続

ここでは、代表的なシステムの接続のしかたを説明します。

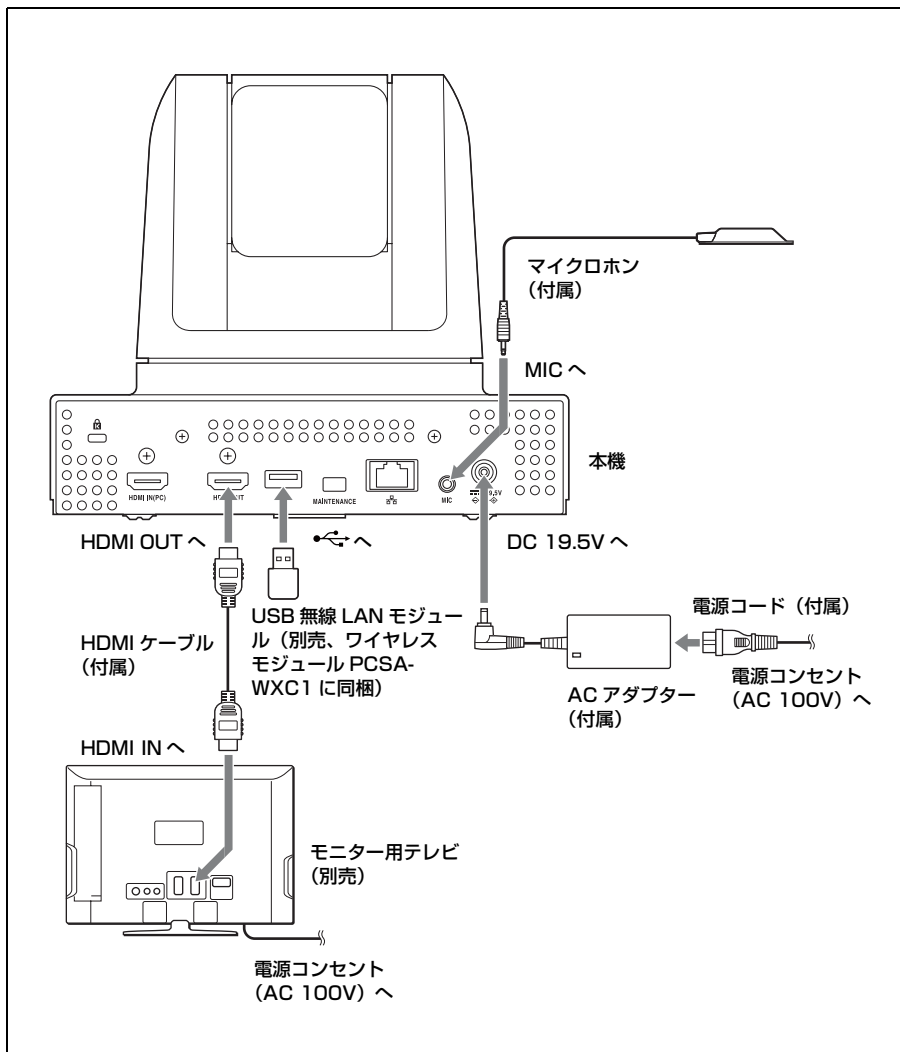
### 注意

- ・接続するときは、必ず各機器の電源を切ってから行ってください。
- ・安全のために、1000BASE-T 端子を過電圧が加わるおそれのあるネットワークなどに接続しないでください。
- ・ソニー製 HDMI ケーブルの使用を推奨します。

## 接続例 (LAN 接続)



## 接続例（無線 LAN 接続）

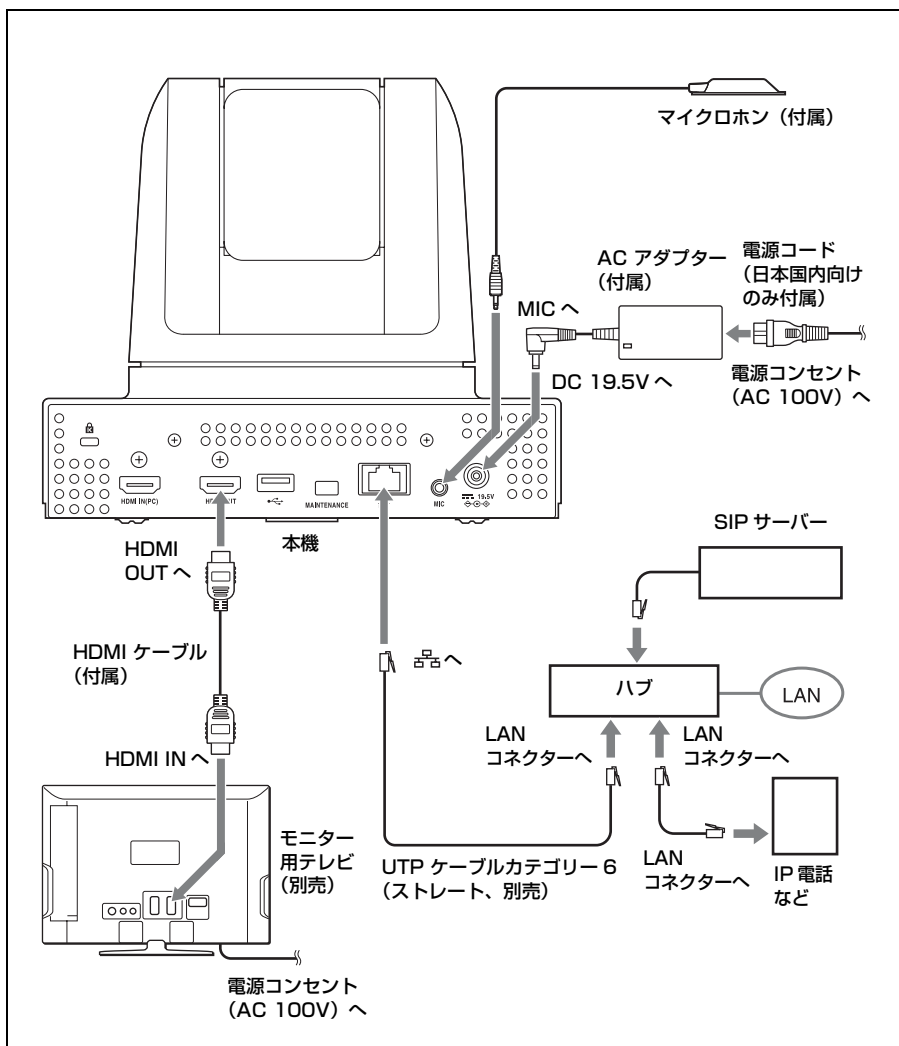


### ご注意

- ・ 別売のワイヤレスモジュール PCSA-WXC1 が本機にインストールされている場合のみ、無線 LAN 接続が可能になります。
- ・ 有線 LAN と無線 LAN を同時に使用することはできません。どちらか一方を選択してください。

- ・ 別売のワイヤレスモジュール PCSA-WXC1 に同梱されている USB 無線 LAN モジュールを本機に挿入する際は、本機背面の USB 端子を使用してください。
- ・ USB 無線 LAN モジュールの挿抜は、本機の電源をオフにした状態で行ってください。

## 接続例 (SIP 接続)



# システムの準備

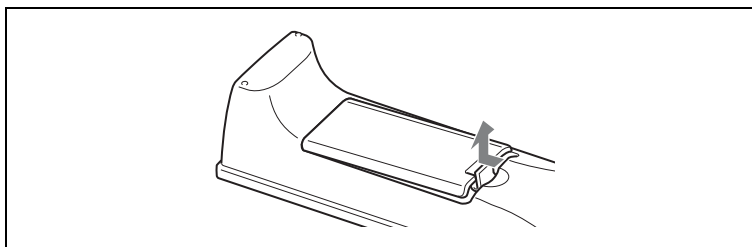
## リモコンに乾電池を入れる

### 注意

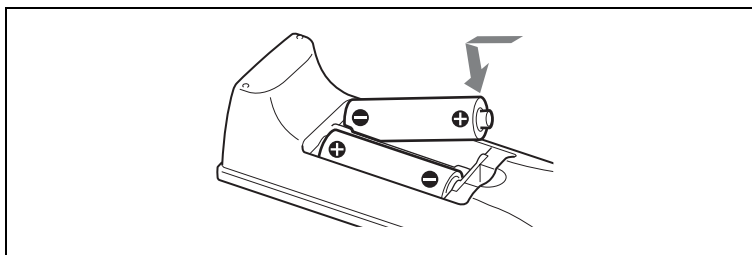
指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。  
必ず指定の電池に交換してください。  
使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

本機では、操作のほとんどを付属のリモコンで行います。ここでは、リモコンへの電池の入れかたを説明します。

### 1 電池ふたを取りはずす。



### 2 単3形乾電池を2本、 $\oplus$ $\ominus$ の向きを正しく入れる。



### ⚠ 注意

リモコンに乾電池を入れるときは、 $\ominus$  極側から入れてください。 $\oplus$  極側から乱暴に入れようとすると、乾電池の絶縁被膜が破れてショートすることがあります。

### 3 電池ぶたを取り付ける。



#### 乾電池の寿命

乾電池が消耗すると、リモコンのボタンを押しても LED が点滅せず、リモコンで操作ができなくなります。この場合、2 本とも新しい乾電池と交換してください。



#### 乾電池についてのご注意

乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことは必ずお守りください。

- ・ ⊕ と ⊖ の向きを正しく入れてください。
- ・ 新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・ 乾電池は充電できません。
- ・ 長い間乾電池を使わないときは、取り出しておいてください。
- ・ 液もれが起こったときは、電池入れについた液をよく拭きとってから新しい乾電池を入れてください。

#### 電池の使用について

付属のリモートコマンダーには、単 3 形乾電池が 2 個必要です。破裂の原因となりますので、マンガン乾電池またはアルカリ乾電池以外は使わないでください。

## リモコンと本機のペアリング方法

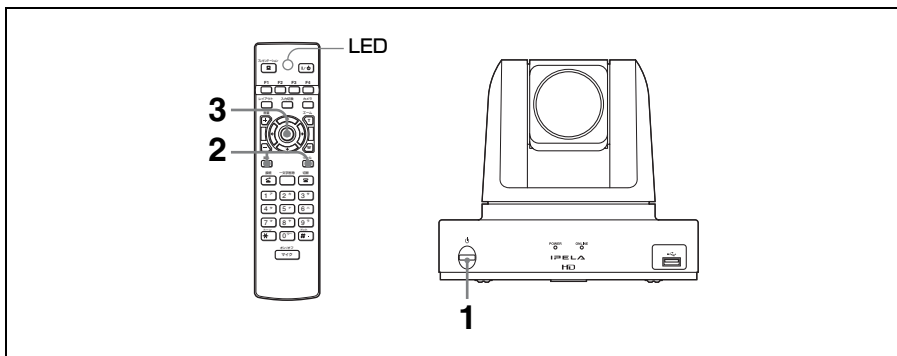
付属のリモコンは、無線方式（2.4 GHz 帯）で本機をコントロールします。リモコンと本機は、1対1の関係として認識され（ペアリング）、別のリモコンや別のシステムとの混信を防いでいます。リモコンと本機は出荷時にペアリング済みです。

### ご注意

近くに複数台のHDビジュアルコミュニケーションシステムがある場合は、ペアリングの対象でない機器の電源を切ってください。複数の機器の電源が入っていると、希望の機器以外とペアリングされてしまう場合があります。

再度ペアリングをしたい場合は、次の方法でペアリングさせることができます。

### リモコンと本機をペアリングするには



#### 1 本機の $\text{⏻}$ （電源）スイッチを押して電源を入れる。

電源が入ると POWER ランプが点灯します。

#### 2 ホーム画面が表示されてから5分以内に、リモコンをシステム本体にできるだけ近づけ、ツールボタンを押しながら、戻るボタンを3秒間以上押し続ける。

リモコンのLEDが早く点滅します。

#### 3 リモコンの決定ボタンを押す。


リモコンのLEDが2回遅く点滅すれば、リモコンと本機のペアリングが成功です。



## ペアリングに失敗すると

リモコンのLEDが約30秒後に5回遅く点滅し、その後早く点滅します。この場合は、再度リモコンの決定ボタンを押してください。

## 途中でペアリングを中止するときは

リモコンのLEDが早く点滅している状態のときに、本機の  (電源) スイッチを押してください。

### ヒント


- ・リモコンのボタンを押してもLEDがまったく点滅しない場合は、リモコンの乾電池が寿命の可能性があります。新しい乾電池と交換してみてください。
- ・いったんペアリングが成功すると、リモコンの乾電池を交換してもペアリングは解消されません。
- ・リモコンの操作範囲は約10mです。条件により、それ以上の距離でも操作可能な場合があります。

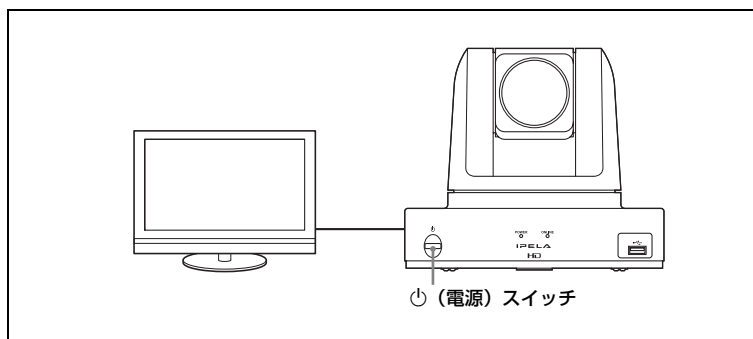
# 電源を入れる / 切る

ここでは、本機の電源を入れる手順や切る手順など、電源に関する説明をします。

## 電源を入れる

本機の電源を入れる手順は以下のとおりです。

- 1 モニター用テレビの電源を入れる。
- 2 使用するその他の機器の電源を入れる。
- 3 本機の  (電源) スイッチを押して電源を入れる。



電源が入ると POWER ランプが点灯します。

モニター用テレビにはホームメニューが表示され、自分側のカメラが写している映像も表示されます。

## ホームメニュー



## ご注意

- ・電源が入ると、カメラが動作テストを行います。指を挟まないようにしてください。
- ・カメラが移動中に無理に動きをさえぎると、カメラの動きが止まり、カメラの映像が出なくなります。この場合は、本機の電源を入れ直してください。

## ヒント

- ・設置後に初めて電源を入れたときは、自己診断が終了すると、初期設定用のウィザードが表示されます。ウィザードに従って設定を行ってください。
  - ◆ウィザードを使った設定については、「設置直後の設定－初期設定ウィザード」(30 ページ)をご覧ください。
- ・本機のバージョンや接続されている専用別売機器のバージョン、使用しているソフトウェアオプションなどを機器状態メニュー画面で確認できます。
  - ◆機器状態メニューについて詳しくは、「機器状態を表示する」(77 ページ)をご覧ください。

## スタンバイモードについて

一定時間本機を操作しないと、本機は節電のため、スタンバイモードに入ります。スタンバイモードに入ると、POWER ランプがゆっくり(約5秒に1回)点滅します。

完全に電源を切らずスタンバイモードにしておくと、リモコンのボタンで電源を入れることができます。

相手から呼び出しを受けると、スタンバイモードは解除されます。

## 本機をスタンバイ状態にする

### 1 ホームメニューを表示し、リモコンの I/⏻ ボタンを押す。

モニター画面に「電源を切りますか?」という確認のメッセージが表示されます。

### 2 リモコンの ⬆/⬇/⬅/➡ ボタンを押して「スタンバイ」を選び、決定ボタンを押す。またはリモコンの I/⏻ ボタンを押す。

本機がスタンバイモードになり、POWER ランプがゆっくり（約5秒に1回）点滅します。

### スタンバイモードにするのを中止するには

手順2でリモコンの ⬆/⬇/⬅/➡ ボタンを押して「キャンセル」を選び、決定ボタンを押してください。

### スタンバイモードを解除するには

リモコンのボタンを押してください。

### スタンバイモードに入るまでの時間を設定するには

一般設定メニューの「機器設定」ページ、「スタンバイ時間」でスタンバイモードに入るまでの時間（1～99分）を設定してください。スタンバイモードにしたくないときは、同じページの「スタンバイモード」を「切」に設定してください。

◆設定については、一般設定メニューの「スタンバイモード」と「スタンバイ時間」（65ページ）をご覧ください。

## 電源を切る

### 1 本機の ⏻（電源）スイッチを押す。

モニター画面に「電源を切りますか?」と表示されます。

### 2 リモコンの ⬆/⬇/⬅/➡ ボタンを押して「電源オフ」を選び、決定ボタンを押す。またはリモコンの I/⏻ ボタンを押す。

本機の電源が切れます。

### 3 使用したその他の機器の電源を切る。

#### ご注意

・長期間本機を使わないときは、電源を切ってください。ただし、電源が切れていると、相手から呼び出しが受けられません。

- ・電源コードは、電源を完全に切ってからコンセントから抜いてください。
- ・電源コードをコンセントから抜いたまま放置すると、約1週間後に日時設定がリセットされます。この場合、一般設定メニューの「日時設定」ページで日時を再設定してください。

## モニター用テレビの音量を調節する

音量の調節のしかたは、本機の設置時と通信時とで異なります。本機の設置時にはモニター用テレビ側、通信時には本機側で音量の調節を行います。

### 本機設置時の音量調節

本機側で主音量を調節してから、モニター用テレビ側で音量調節してください。

- 1 リモコンの音量+ / - ボタンを押して、モニター画面の音量調節バーが真ん中になるようにする。



- 2 モニター用テレビの音量を相手の声がよく聞きとれる音量に調節する。

#### ご注意

接続しているモニター用テレビのサラウンド機能などは使用しないでください。本機のエコーキャンセラーが正しく動作しなくなり、音がおかしくなります。

### 通信中の音量調節

通信中は、リモコンの音量+ / - ボタンを押して、本機側で音量を調節してください。

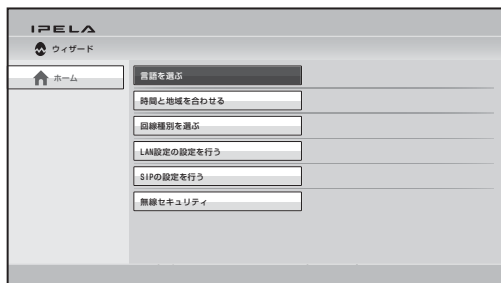
# 設置直後の設定－初期設定ウィザード

設置後に初めて電源を入れたときは、自己診断が終わると、初期設定用のウィザードが表示されます。ウィザードに従って登録を行ってください。

ここで設定した項目は、あとで設定メニューを使って変更することもできます。

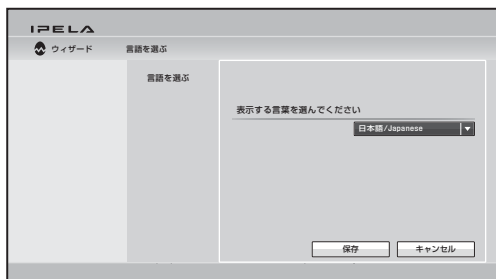
## ご注意

- ・初期設定ウィザードは、別売のワイヤレスモジュール PCSA-WXC1 をインストールしたあとにも表示されます。この場合も設定を行ってください。
- ・「無線セキュリティ」は、別売のワイヤレスモジュール PCSA-WXC1 がインストールされていて、「接続ネットワーク」で「無線 LAN」が選択されている場合のみ表示されます。「無線セキュリティ」を選ぶと、無線 LAN 接続の設定をすることができます。



## 表示言語を選ぶ

- 1 ウィザード画面でリモコンの  $\blacktriangle$ / $\blacktriangledown$ / $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$  ボタンを押して「言語を選ぶ」を選び、決定ボタンを押す。



## 2 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンを押してメニューやメッセージの言語を選ぶ。

英語、フランス語、ドイツ語、日本語、スペイン語、イタリア語、簡体中国語、ポルトガル語、繁体中国語、韓国語、オランダ語、デンマーク語、スウェーデン語、フィンランド語、ポーランド語、ロシア語、アラビア語、タイ語、トルコ語、ノルウェー語、ウェールズ語、チェコ語、ハンガリー語から選択します。

## 3 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンを押して「保存」を選び、決定ボタンを押す。

ウィザード画面に戻ります。

---

### 時間と地域を設定する

## 1 ウィザード画面でリモコンの **↑/↓/←/→** ボタンを押して「時間と地域を合わせる」を選び、決定ボタンを押す。

## 2 時間と地域に関する設定をする。

The screenshot shows the IPELA Wizard interface. At the top, it says 'IPELA' and 'ウィザード 時間と地域を合わせる'. On the left, there is a sidebar with '時間と地域' selected. The main area is titled '地域を選択します' and contains several input fields: a dropdown for '地域を選択します', a dropdown for '表示形式を選択します' (with '年/月/日' selected), and text input fields for '年を入力します', '月を入力します', '日を入力します', and '時間を入力します'. At the bottom, there are two buttons: '保存' and 'キャンセル'.

**地域を選択します：**本機を使う国／地域を選びます。

**表示形式を選択します：**年、月、日の表示形式を選びます。

**年、月、日、時間を入力します：**リモコンの数字キーを使って入力します。

◆リモコンを使った入力方法は、「リモコンで文字や数字を入力する」(43ページ)をご覧ください。

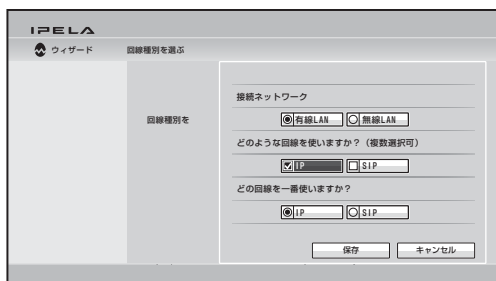
## 3 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンを押して「保存」を選び、決定ボタンを押す。

ウィザード画面に戻ります。

---

## 通信回線を設定する

- 1 ウィザード画面でリモコンの **↑/↓/←/→** ボタンを押して「回線種別を選ぶ」を選び、決定ボタンを押す。
- 2 使用する回線を設定する。



**接続ネットワーク**：有線 LAN、無線 LAN から選択できます。

**どのような回線を使いますか?**：IP、SIP から選択できます。

**どの回線を一番使いますか?**：「どのような回線を使いますか?」で複数の回線を選んだ場合は、ここで一番よく使う回線を選択します。IP、SIP から選択できます。

### ご注意

- ・「接続ネットワーク」は、別売のワイヤレスモジュール PCSA-WXC1 がインストールされている場合のみ表示されます。
- ・有線 LAN と無線 LAN を同時に使用することはできません。どちらか一方を選択してください。

- 3 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンを押して「保存」を選び、決定ボタンを押す。  
ウィザード画面に戻ります。

---

## LAN を設定する

ウィザード画面で「LAN 設定の設定を行う」を選び、LAN 接続のための設定を行います。

---

## SIP を設定する

ウィザード画面で「SIP の設定を行う」を選び、SIP 接続のための設定を行います。



---

## 無線 LAN のセキュリティを設定する

ウィザード画面で「無線セキュリティ」を選び、無線 LAN 接続のための設定を行います。

- ◆設定方法について詳しくは、「LAN—無線 LAN による接続」(90 ページ)をご覧ください。

### **で注意**

「無線セキュリティ」は、別売のワイヤレスモジュール PCSA-WXC1 がインストールされていて、「接続ネットワーク」で「無線 LAN」が選択されている場合のみ表示されます。

# メニューの基本操作

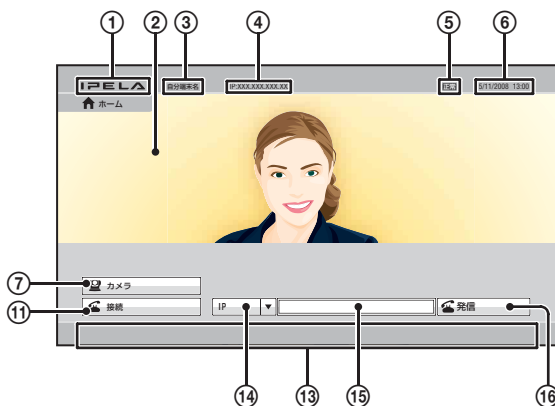
本機では、モニター画面に表示されるメニューを使って各種調整や設定を行います。ここではメニューの基本的な操作のしかたと表示されるメニューの種類を簡単に説明します。

## ホームメニューの見かた

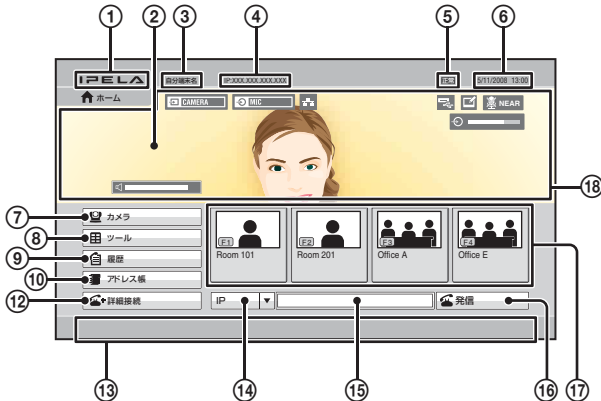
電源を入れたときなど通信中でないときは、通常、ホームメニューが画面に表示されます。ホームメニューには、自分側のカメラの映像や自分の端末名、日時、メニュー操作用のボタンなどが表示できます。ホームメニューに表示させる項目は、ホーム画面設定メニューの「ホーム画面1」～「ホーム画面3」ページで選択できます。出荷時と最大表示時のホームメニューを例に、ホームメニューに表示される項目を説明します。

◆ホーム画面設定メニューについて詳しくは、68 ページをご覧ください。

## 出荷時のホームメニュー



## 最大表示時のホームメニュー



### ① IPELA ロゴ

### ② 背景

カメラの映像が表示されます。

### ③ 自端末名

設定してある自分の端末名が表示されます。

### ④ 自分の IP アドレス

自分の端末の IP アドレスが表示されます。

一般設定メニューの「ホーム画面 1」ページ、「番号表示」(68 ページ) の設定により、IP アドレスの代わりに、ゲートキーパーのユーザー名やユーザー番号、NAT アドレスなどを表示することもできます。

### ⑤ 端末状態

自分の端末の状態が表示されます。

### ⑥ 日時表示

現在の日時が表示されます。

### ⑦ カメラボタン

このボタンを選択して決定ボタンを押すと、カメラメニューが表示されます。

カメラメニューは、カメラのアンクル調整や輝度調整、カメラ調整状態のプリセット登録、プリセット移動などをするときに使います。

## カメラメニュー



◆カメラメニューについて詳しくは、127 ページをご覧ください。

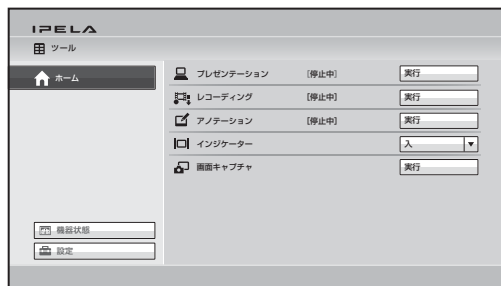
### ⑧ ツールボタン

このボタンを選択して決定ボタンを押すと、ツールメニューが表示されます。

ツールメニューは、プレゼンテーションやレコーディング、アノテーションなどの操作を実行するときに使います。

また、ツールメニューから、機器状態メニューや設定メニューを表示させることができます。

## ツールメニュー



◆ツールメニューについて詳しくは、142 ページをご覧ください。

◆機器状態メニューについて詳しくは、77 ページをご覧ください。

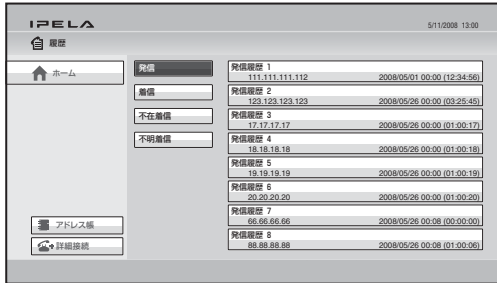
◆設定メニューについて詳しくは、47 ページをご覧ください。

### ⑨ 履歴ボタン

このボタンを選択して決定ボタンを押すと、履歴メニューが表示されます。

履歴メニューは、今までのコミュニケーションの履歴を確認したり、履歴から相手を呼び出すときに使います。

## 履歴メニュー



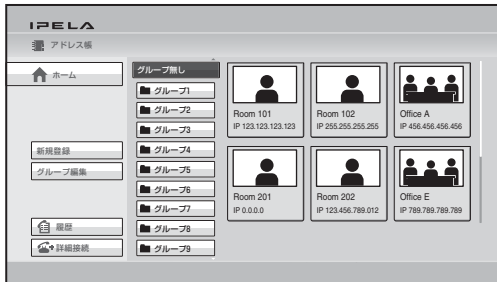
◆履歴メニューについて詳しくは、104 ページをご覧ください。

### ⑩ アドレス帳ボタン

このボタンを選択して決定ボタンを押すと、アドレス帳が表示されます。

アドレス帳は、相手を登録したり、登録した相手を呼び出すときに使います。

## アドレス帳



◆アドレス帳について詳しくは、114 ページをご覧ください。

### ⑪ 接続ボタン

このボタンを選択して決定ボタンを押すと、接続メニューが表示されます。

接続メニューは、相手を呼び出すときに使います。

## 接続メニュー

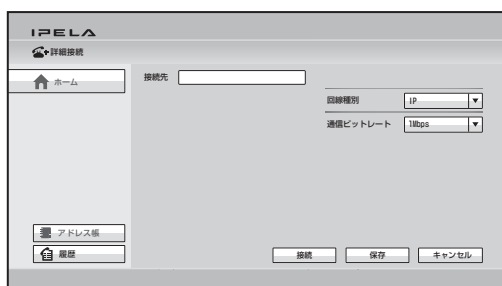


◆接続メニューについて詳しくは、100 ページをご覧ください。

### ⑫ 詳細接続ボタン

このボタンを選択して決定ボタンを押すと、詳細接続メニューが表示され、相手先への接続方法を詳細に設定して呼び出すことができます。

## 詳細接続メニュー



◆詳細接続メニューについて詳しくは、108 ページをご覧ください。

### ⑬ ガイダンス

ホームメニューの操作説明などが表示されます。

### ⑭ 回線種別選択ボタン

このボタンを選択して決定ボタンを押すと、回線種別の選択項目が表示されます。使用する回線を選び、決定ボタンを押します。

### ⑮ 番号入力欄

アドレス帳に登録されていない相手呼び出すとき、この欄を選択し、相手の IP アドレスやドメイン名などを入力します。

## ⑩ 発信ボタン

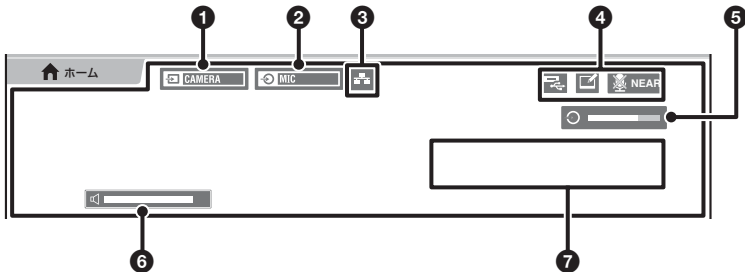
このボタンを選択して決定ボタンを押すと、番号入力欄に入力した相手を呼び出します。

## ⑪ ワンタッチダイヤルボタン

呼び出したい相手のボタンを選択して決定ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。サブメニューから相手を呼び出すことができます。

リモコンのF1～F4ボタンを押してもワンタッチダイヤルボタンに登録した相手を呼び出すことができます。

## ⑫ 表示部



### ① ビデオ入力表示

現在選択されているビデオ入力が表示されます。

表示されるビデオ入力名は、映像設定メニューの「ビデオ入力選択名」で設定した名前です。

### ② オーディオ入力表示

現在選択されているオーディオ入力が表示されます。

### ③ LAN 状態表示

LAN の状態が表示されます。LAN が使用可能の場合は白く表示され、使用不可能の場合は灰色で表示されます。

### ④ インジケーター表示

マイクオフ、USB メモリー挿入、タブレット接続、レコーディング中などの状態が表示されます。

### ⑤ オーディオレベルメーター

現在のオーディオ入力レベルが表示されます。

## ⑥ ボリューム表示

音量調節をしたとき、一定時間表示されます。

## ⑦ 異常時メッセージ

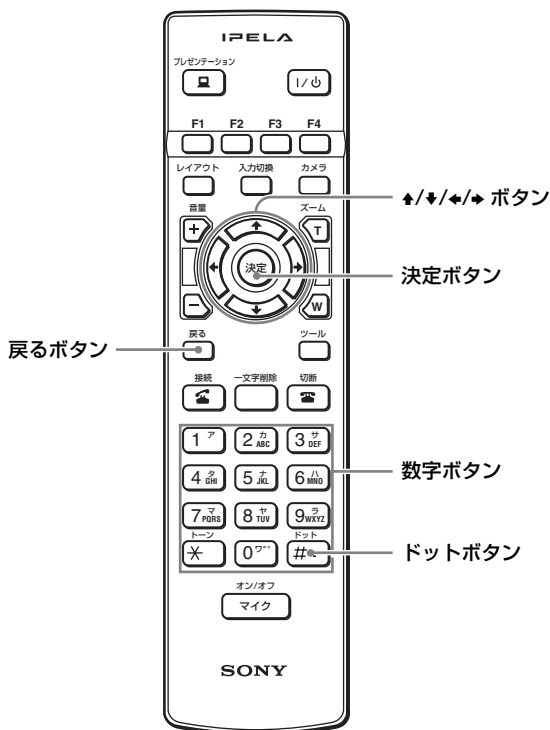
本機に異常があったとき、警告やガイダンスなどが表示されます。

## メニューを操作する

ホームメニューからカメラメニューを呼び出して、手動で輝度調整を行う場合を例として、メニューの基本操作を説明します。

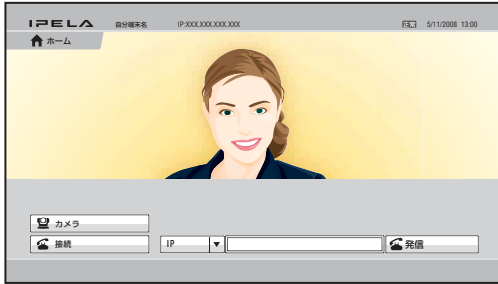
### メニュー操作に使うボタン

メニュー操作には、リモコンの次のボタンを使います。





## 1 ホームメニューを表示する。



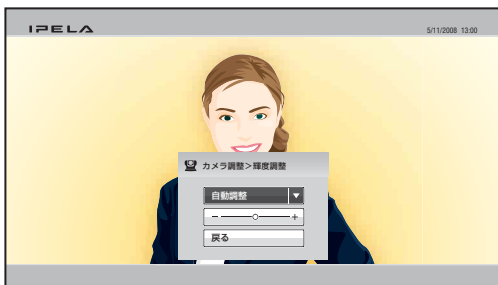
## 2 ↑/↓/←/→ ボタンで「カメラ」を選び、決定ボタンを押す。

カメラメニューが表示されます。



## 3 ↑/↓/←/→ ボタンで「輝度調整」を選び、決定ボタンを押す。

輝度調整メニューが表示されます。

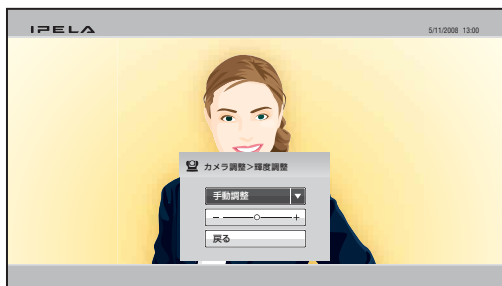


## 4 決定ボタンを押す。

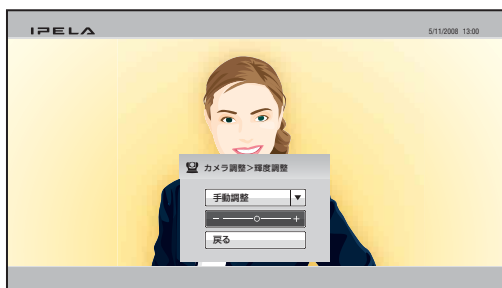
輝度調整の調整モードを選択できるようになります。

- 5 ▲/▼/◀/▶ ボタンでドロップダウンリストから設定したい項目を選び、決定ボタンを押す。

「手動調整」モードになります。



- 6 ▲/▼/◀/▶ ボタンで輝度調整バーを選び、決定ボタンを押す。



- 7 ▲/▼/◀/▶ ボタンで映像の明るさを調整し、決定ボタンを押す。

- 8 調整が終わったら、▲/▼/◀/▶ ボタンで「戻る」を選び、決定ボタンを押す。または、リモコンの戻るボタンを押す。

輝度調整メニューに戻ります。

- 9 ▲/▼/◀/▶ ボタンで「戻る」を選び、決定ボタンを押す。または、リモコンの戻るボタンを押す。

カメラメニューに戻ります。

メニュー画面に「登録」や「保存」があるときは

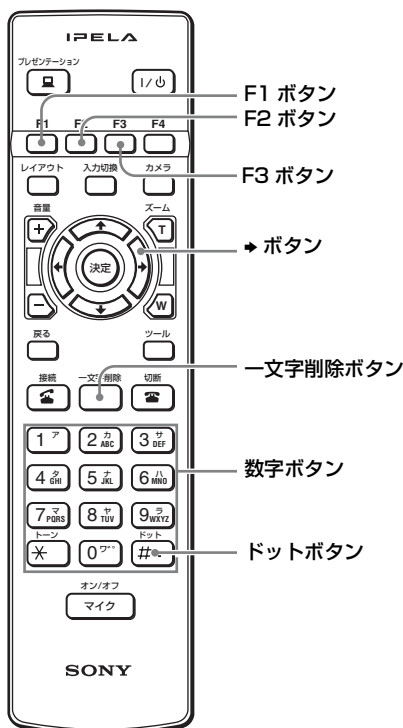
設定や調整後に ▲/▼/◀/▶ ボタンで「登録」や「保存」を選び、決定ボタンを押してください。これで新しい設定や調整が有効になります。

メニュー画面に「キャンセル」があるときは

▲/▼/◀/▶ ボタンで「キャンセル」を選び、決定ボタンを押すと、新しい設定や調整がキャンセルされ、元の状態に戻ります。

## リモコンで文字や数字を入力する

リモコンを使ってメニュー上に文字や数字などを入力する方法を説明します。



文字や数字を入力するには

### 1 F1 ボタンを繰り返し押し続けて入力モードを切り換える。

カナ、英、数が選べます。

### 2 数字ボタンを押して、文字や数字を入力する。

**カナのとき：**ボタンを繰り返し押し続けると、ボタンに表示された行のカナ文字が選べます。

**英のとき：**ボタンを繰り返し押し続けると、ボタンに表示されたアルファベットが選べます。

**数のとき：**ボタンに表示された数字が選べます。

### 記号を入力するには

F2 ボタンを繰り返し押し、入力したい記号を選びます。

「-」と「°」、「°」の記号は0 ボタンを押しても入力できます。

また、入力モードが「英」のときは0 ボタンを繰り返し押し、記号を入力することもできます。

### IP アドレス入力時にドットを入力するには

➔ ボタン、またはドットボタンを押します。

#### ご注意

管理者設定メニューの「インターネットプロトコル」が「IPv6」に設定されている場合は、「:」（コロン）が入力できます。

### 入力をまちがえたら

一文字削除ボタンを押します。最後に入力した文字や数字、記号が消えます。

### 入力中の文字をすべて削除するには

F3 ボタンを押します。何も入力されていない状態に戻ります。

## ソフトキーボードで文字や数字を入力する

画面に表示されるソフトキーボードを使って、メニュー上に文字や数字を入力する方法を説明します。

一般設定メニューの「メニュー画面」ページ、「ソフトキーボード表示」（66 ページ）を「入」に設定すると、入力する必要があるとき、画面にソフトキーボードが自動的に表示されます。

#### ヒント

ソフトキーボードが表示された状態でもリモコンからの入力は可能です。

## 文字や数字を入力するには



- 1 リモコンの  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  ボタンでソフトキーボードの数、英、カナボタンを選択し、決定ボタンを押す。

数ボタン：数字を入力するとき。

英ボタン：アルファベットを入力するとき。

カナボタン：カタカナを入力するとき。(カタカナが入力できる場合のみ表示されます。)

- 2  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  ボタンで入力したい文字（カナのときは文字行）が表示されたボタンを選び、決定ボタンを押す。

数のとき：選んだ数字が画面上に入力されます。

英またはカナのとき：入力できる文字が画面に表示されますので、希望の文字を選び、決定ボタンを押します。選んだ文字が画面上に入力されます。



- 3 手順 2 を繰り返し、入力する。

- 4 入力が終わったら「完了」を選び、決定ボタンを押す。

## 記号を入力するには

- 1 キーボードの記号ボタンを選択し、決定ボタンを押す。

入力できる記号が表示されます。

**2** ↑/↓/←/→ ボタンで希望の記号を選び、決定ボタンを押す。

選んだ記号が入力されます。

**3** 手順 1、2 を繰り返し、入力する。

**4** 入力が終わったら「完了」を選び、決定ボタンを押す。

**IP アドレス入力時にドットを入力するには**

▶ ボタン、またはドットボタンを選んで決定ボタンを押します。

**1 文字分のあきを作るには**

空白ボタンを選んで決定ボタンを押します。

**入力をまちがえたら**

最後に入力した文字や数字を消すには、一文字削除ボタンを選んで決定ボタンを押します。

**入力した文字をすべて消すには**

中止ボタンを選んで決定ボタンを押します。

リモコンの F3 ボタンを押しても、すべての文字を消すことができます。

# 2 章

## 登録と設定

### — 管理者用

この章では、システムの管理者が行う登録と設定の全般について説明しています。管理者の方がお読みください。

## システムを設定する

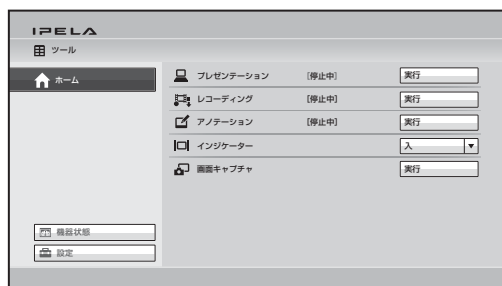
接続をする前に、設定メニューを使って自分側の端末をあらかじめ設定しておいてください。

ここでは、設定メニューの表示のしかたと、どんなメニューがあるかを紹介します。

### 設定メニューを表示する

- 1 リモコンのツールボタンを押す。または、**↑/↓/←/→** ボタンでホームメニューの「ツール」を選び、決定ボタンを押す。

ツールメニューが表示されます。



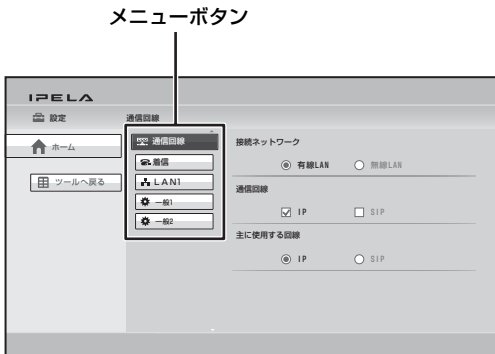
## 2 リモコンの $\blacktriangleleft/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ ボタンで「設定」を選び、決定ボタンを押す。

設定メニューが表示されます。

### 設定メニューから選べるメニュー

設定メニューは、設定内容により、以下のような設定メニューに分類されています。設定項目が多いメニューは、複数のページに分かれている場合もあります。該当するメニューボタンを選んで設定を行ってください。

工場出荷時は、よく使われる設定のメニューボタンが表示されています。リモコンの F4 ボタンを押すとすべての設定メニューボタンが表示されます。もう一度 F4 ボタンを押すと、よく使われる設定の表示に戻ります。



各設定メニューの説明は、以下のページをご覧ください。

通信回線設定メニュー (51 ページ)

無線セキュリティ設定メニュー (51 ページ)

発信設定メニュー (52 ページ)

着信設定メニュー (53 ページ)

通信モード設定メニュー (53 ページ)

音声設定メニュー (55 ページ)

映像設定メニュー (58 ページ)

LAN 設定メニュー (58 ページ)

QoS 設定メニュー (61 ページ)

TOS 設定メニュー (63 ページ)

SIP 設定メニュー (64 ページ)

アノテーション設定メニュー (64 ページ)

一般設定メニュー (65 ページ)

ホーム画面設定メニュー (68 ページ)



管理者設定メニュー（69 ページ）

暗号化設定メニュー（75 ページ）

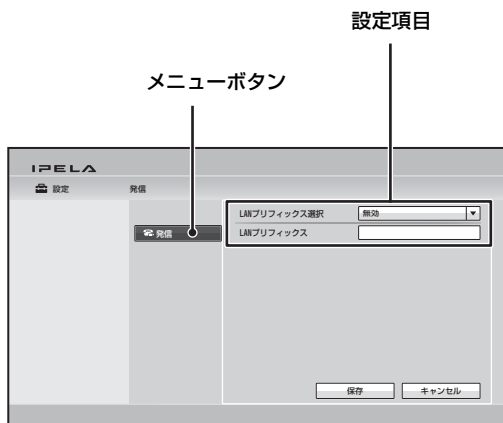
共有アドレス帳設定メニュー（76 ページ）

### ご注意

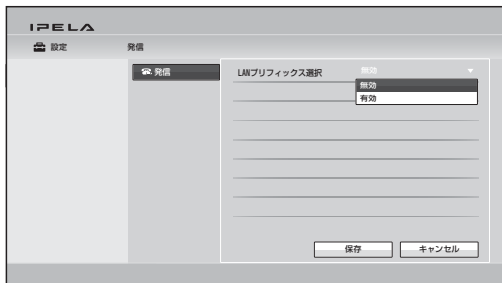
- ・無線セキュリティ設定メニューは、別売のワイヤレスモジュール PCSA-WXC1 がインストールされていて、「接続ネットワーク」で「無線 LAN」が選択されている場合のみ表示されます。
  - ・各メニューの設定項目には、Web 機能でのみ使用できるものがあります。
  - ・Web 機能上では、各メニューおよび選択肢は英語でのみ表示されます。
- ◆Web 機能について詳しくは、「6 章 Web 機能」（165 ページ）をご覧ください。

### 3 リモコンの $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ ボタンで設定したいメニューボタンを選び、決定ボタンまたは $\rightarrow$ ボタンを押す。

選んだメニューの設定ができるようになります。



### 4 リモコンの $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ ボタンで設定項目を選び、決定ボタンを押す。



## 5 リストから項目を選択する、または入力欄に入力する。

◆各設定項目については、51 ページ～76 ページをご覧ください。

## 6 選択または入力が終わったら、リモコンの **▲/▼/◀/▶** ボタンで「保存」を選び、決定ボタンを押す。

設定が保存され、設定メニューに戻ります。

### 設定を中止するには

リモコンの **▲/▼/◀/▶** ボタンで「キャンセル」を選び、決定ボタンを押してください。または、リモコンの戻るボタンを押してください。

### 左側の階層に戻るには

リモコンの **◀** ボタン、または戻るボタンを押してください。

## 通信回線設定メニュー

相手との接続に使用する回線インターフェースを設定します。

### 通信回線

#### 通信回線

##### 接続ネットワーク

有線または無線のどちらかでネットワークに接続するかを選びます。

**有線 LAN**：ネットワークに有線で接続する場合。

**無線 LAN**：ネットワークに無線で接続する場合。

##### ご注意

- ・「接続ネットワーク」は別売のワイヤレスモジュール PCSA-WXC1 がインストールされている場合にのみ表示されます。
- ・有線 LAN と無線 LAN を同時に使用することはできません。どちらか一方を選択してください。

##### 通信回線

使用する回線インターフェースを IP、SIP から選びます。複数の回線インターフェースを選択できます。

##### 主に使用する回線

主に使用する回線インターフェースを 1 つ、IP、SIP から選びます。

## 無線セキュリティ設定メニュー

無線 LAN 接続のための設定を行います。

##### ご注意

- ・このメニューは、通信回線設定メニューの「接続ネットワーク」を「無

線 LAN」に設定した場合のみ表示され、設定が可能です。

- ・無線ルーターが 802.11b/g/n に対応していない場合、本機との無線接続ができないことがあります。

### 無線セキュリティ

#### 無線セキュリティ

##### ティ

##### 無線 LAN

接続できる SSID がリスト表示されます。それぞれの SSID の認証方式または暗号化方式、チャンネル、信号強度が確認できます。

**SSID**：接続できる無線ルーターの SSID が表示されます。

**セキュリティ**：各 SSID の認証方式または暗号化方式が表示されます。

**チャンネル**：各 SSID の無線チャンネルが表示されます。

**シグナル**：各 SSID の信号強度が表示されます。表示される数値は推定値です。この数値が小さいと、接続が途切れやすくなります。

- ◆信号強度を改善する方法について詳しくは「信号強度が不足している場合の対処」(94 ページ)をご覧ください。

##### 更新

「無線 LAN」の SSID リストを最新の状態に更新します。

##### ご注意

通信中に SSID リストを更新すると、映像や音声途切れることがあります。

##### WPS

クリックすると別のウィンドウが開き、WPS による無線ネットワーク接続を行います。

WPSは無線ルーターとの接続を安全かつ容易に行うための仕組みです。本機では、ボタン方式またはPINコード方式のいずれかの方法で無線ルーターとの接続ができます。

#### ご注意

無線ルーターとの接続を行う前に、接続したい無線ルーターがWPSに対応しているかどうかをあらかじめ確認してください。

◆WPSによる無線ルーターとの接続について詳しくは、「LAN—無線LANによる接続」(90ページ)をご覧ください。

#### SSID

「無線LAN」のSSIDリスト上で選択しているSSIDの名称が表示されます。

#### セキュリティ

無線ルーターと接続する際の認証方式または暗号化方式を設定します。

**None (非推奨)**：暗号化せずに無線接続する場合。暗号化せずに通信すると、通信内容を第三者に見られる恐れがあります。この設定を使うことは推奨していません。

**WEP (非推奨)**：WEPキー(暗号化キー)を使って無線接続する場合。WEPはセキュリティが脆弱なため、通信内容を第三者に見られる恐れがあります。この設定を使うことは推奨していません。

**WPA/WPA2**：WPA/WPA2による認証を使って無線接続する場合。この設定では「パスフレーズ」の入力が必要です。

#### パスフレーズ

接続したいSSIDで設定されているパスフレーズを入力します。

#### ご注意

各SSIDのパスフレーズはネットワーク管理者にお問い合わせください。

#### 発信設定メニュー

発信時の属性などを設定します。

 発信

発信

#### LANプリフィックス選択

IP接続による発信時にLANプリフィックスを有効にするか無効にするかを選びます。

**無効**：プリフィックスを無効にします。

**有効**：プリフィックスを有効にします。

#### LANプリフィックス

IP接続による発信時に、この欄に入力した内容がIPアドレスの前に付加されます。LANプリフィックス選択の設定で使用するかしないかを選択します。

#### 詳細設定 (Web機能のみ)

「詳細設定」ボタンをモニター画面に表示するかどうかを選びます。

「詳細設定」ボタンを「入」にした場合は、モニター画面に「詳細設定」ボタンが表示され、発信の詳細設定をすることができます。

**切**：「詳細設定」ボタンを表示しない場合。

**入**：「詳細設定」ボタンを表示する場合。

## 着信設定メニュー

着信時の設定をします。

 着信

着信

### 自動着信

自動着信するかどうかなを選びます。

**入：**自動着信するとき。相手から呼び出しを受けると、自動的に回線がつながります。

**切：**手動着信するとき。相手から呼び出しを受けると、呼び出し音が鳴ります。「応答しますか？」のメッセージ画面で「OK」を選ぶと、回線がつながります。

### 着信時マイク

相手から呼び出しを受けて接続したとき、相手にこちらの音声を送信するかどうかなを選びます。

**入：**着信時、こちらの音声を送信する場合。

**切：**着信時、こちらの音声を送信しない場合。

◆詳しくは、「着信時の音声の送信をカットする—着信時マイクオフ」(126 ページ)をご覧ください。

### 不明着信拒否

アドレス帳に登録されていない相手からの着信を拒否するかどうかなを選びます。

**切：**着信を拒否しない場合。

**LAN：**LAN からの着信を拒否する場合。

## 通信モード設定メニュー

通信モードの設定をします。

### ご注意

通信モード設定メニューで設定できる項目は、通信回線設定メニューの回線インターフェースの設定や、通信モード設定メニューの「送信／受信 個別設定」の設定によって異なります。設定できる項目のみが画面に表示されます。

また、「通信モード2」ページ以降のページ数も、設定項目の増減に伴って変化します。

 通信モード

IP

IP 接続時の通信モードを設定します。

### 送信／受信 個別設定 (Web 機能のみ)

送信時と受信時の IP 接続の設定を個別にするかどうかなを選びます。

**切：**送信時、受信時とも同じ設定で通信する場合。

**入：**送信／受信のそれぞれに異なる設定をする場合。

 通信モード

IP：モード

### 通信ビットレート

1 地点あたりの通信ビットレートを選択します。

IP の「送信／受信 個別設定」を「入」にしてあるときは、送信／受信のそれぞれに異なった設定ができます。

128Kbps、384Kbps、512Kbps、768Kbps、1Mbps、2Mbps、3Mbps、4Mbps、その他を選択できます。

## 音声方式

音声の圧縮方式を選びます。

IPの「送信／受信 個別設定」を「入」にしてあるときは、送信／受信のそれぞれに異なった設定ができます。

G.711、G.722、G.728、MPEG4 (MPEG4 AAC) から複数の方式を選択できます。

### ご注意

相手側のシステムが本機で選んだ音声方式をサポートしていない場合は、自動的にG.711方式に切り換わります。

## H.239 レート割合

本機でH.239プレゼンテーション送信をする際は、カメラ映像とH.239プレゼンテーションデータで送信に使用する帯域幅を分け合っています。この項目では、全帯域幅のうち、H.239プレゼンテーションデータの送信に使用する帯域の割合を選びます。

**2/3**：全帯域幅のうち、2/3をH.239プレゼンテーションデータの送信に使用する場合。

**1/2**：全帯域幅のうち、1/2をH.239プレゼンテーションデータの送信に使用する場合。

**1/3**：全帯域幅のうち、1/3をH.239プレゼンテーションデータの送信に使用する場合。

## 映像サイズ

送受信する映像サイズを選択します。

IPの「送信／受信 個別設定」を「入」にしてあるときは、送信／受信のそれぞれに異なった設定ができます。

1080、720、W4CIF、W432P、WCIF、4CIF、CIF、QCIF、自動が選択できます。

### ご注意

HDアップグレードソフトウェアPCSA-RXC1をインストールしている場合のみ「1080」を選択できます。「映像サイズ」を「1080」にすると、プログレッシブ形式の解像度1920×1080の映像を毎秒最大60フレームで送受信できます。

## 映像方式

送受信する映像の圧縮方式を選びます。

IPの「送信／受信 個別設定」を「入」にしてあるときは、送信／受信のそれぞれに異なった設定ができます。

H.263+、H.264を選択できます。

## 映像フレーム数

送受信する映像のフレーム数を選びます。

IPの「送信／受信 個別設定」を「入」にしてあるときは、送信／受信のそれぞれに異なった設定ができます。

**15fps**：最大15フレーム／秒で送信する場合。

**30fps**：最大30フレーム／秒で送信する場合。

**60fps**：最大60フレーム／秒で送信する場合。

**自動**：自動的にフレーム数を切り換える場合。

### ご注意

HDアップグレードソフトウェアPCSA-RXC1をインストールし、プログレッシブ形式の解像度1920×1080の映像を送受信している場合は、毎秒最大60フレームでの送受信になります。

SIP 接続時の通信モードを設定します。

### 通信ビットレート

1 地点あたりの通信ビットレートを選択します。

128Kbps、384Kbps、512Kbps、768Kbps、1Mbps、2Mbps、3Mbps、4Mbps、その他を選択できます。

### 音声方式

音声の圧縮方式を選びます。  
G.728、G.722、G.711 を選択できます。

#### ご注意

相手側のシステムが本機で選んだ音声方式をサポートしていない場合は、自動的に G.711 方式に切り換わります。

### 映像サイズ

送受信する映像サイズを選択します。  
720、W4CIF、W432P、WCIF、4CIF、CIF、QCIF、自動が選択できます。

### 映像方式

送受信する映像の圧縮方式を選びます。  
H.263+、H.264、MPEG4 を選択できます。

### 映像フレーム数

送受信する映像のフレーム数を選びます。

**15fps** : 最大 15 フレーム／秒で送信する場合。

**30fps** : 最大 30 フレーム／秒で送信する場合。

**60fps** : 最大 60 フレーム／秒で送信する場合。

**自動** : 自動的にフレーム数を切り換える場合。

音声に関する設定をします。

### 音声入力

どこから音声を入力するかを選びます。

**MIC** : マイクの音声を入力する場合。

**AUX** : 外部機器の音声を入力する場合。

**MIC + AUX** : マイクと外部機器の両方の音声を入力する場合。

**USB** : USB 音声機器からの音声を入力する場合。USB 音声機器が接続されている場合のみ選択できます。

**USB+AUX** : USB 音声機器と外部機器の両方の音声を入力する場合。

USB 音声機器が接続されている場合のみ選択できます。

### 入力選択 (MIC 系)

入力するマイクや外部機器を選びます。

**MIC** : MIC 端子に接続したマイクロホン (付属) を使用する場合。

### 入力選択 (AUX 系)

入力する外部機器を選びます。

**HDMI-IN(PC)** : HDMI IN (PC) 端子に接続した外部機器の音声を入力する場合。

### エコーキャンセラー

内部のエコーキャンセラーを使用するかどうかを選びます。

**入** : 内部のエコーキャンセラーを使用する場合。

**切** : 内部のエコーキャンセラーを使用しない場合。

## 音声出力

利用する音声の出力先に合わせて、エコーキャンセラーを十分に機能させるための設定です。

USB 音声機器が接続されている場合のみ表示されます。

**HDMI**：HDMI OUT 端子から音声を出力する場合。

**USB**：USB 音声機器からの音声を出力する場合。

### ご注意

- ・この項目の設定に関わらず、音声は HDMI OUT 端子、USB 端子の両方から出力されます。ただし、実際に使用できるのはどちらか一方の出力のみです。
- ・「音声出力」を誤って設定すると、エコーキャンセラーが正しく機能しない場合があります。

## リップシンク

発言者の唇の動きと音声を同期させるリップシンク機能を使用するかどうかを選びます。

**自動**：リップシンク機能を使用する場合。

**切**：リップシンク機能を使用しない場合。

### ご注意

- ・QoS 設定メニューの「最適レート制御 (ARC)」、「パケット再送要求 (ARQ)」または「前方誤り訂正 (FEC)」が「入」のときは、「リップシンク」を「切」にできません。
- ・「リップシンク」が「切」のときは、QoS 設定メニューの「最適レート制御 (ARC)」、「パケット再送要求 (ARQ)」または「前方誤り訂正 (FEC)」は切り換えができません。

## AUX 入力のローカルモニター出力

HDMI IN (PC) 端子から入力した音声を、システムの音声出力から出力するかどうかを選びます。

**入**：音声出力から出力する場合。

**切**：音声出力から出力しない場合。

## 音声入力遅延設定

映像と音声を合わせるために音声入力の遅延量を設定します。

**既定値 - 100ms**：デフォルト - 100ms の遅延量を使用する場合。

**既定値 - 50ms**：デフォルト - 50ms の遅延量を使用する場合。

**既定値**：デフォルトの遅延量を使用する場合。

**既定値 + 50ms**：デフォルト + 50ms の遅延量を使用する場合。

**既定値 + 100ms**：デフォルト + 100ms の遅延量を使用する場合。

**ユーザー設定**：ユーザーが設定した遅延量を使用する場合。

## 音声入力遅延量

「音声入力遅延設定」が「ユーザー設定」のとき、映像と音声を合わせるために音声入力の遅延量を設定します。

## 音声出力遅延設定

映像と音声を合わせるために音声出力の遅延量を設定します。

**既定値 - 100ms**：デフォルト - 100ms の遅延量を使用する場合。

**既定値 - 50ms**：デフォルト - 50ms の遅延量を使用する場合。

**既定値**：デフォルトの遅延量を使用する場合。



**既定値 + 50ms**：デフォルト + 50ms  
の遅延量を使用する場合。

**既定値 + 100ms**：デフォルト +  
100ms の遅延量を使用する場合。

**ユーザー設定**：ユーザーが設定した遅  
延量を使用する場合。

## 音声出力遅延量

「音声出力遅延設定」が「ユーザー設  
定」のとき、映像と音声を合わせるた  
めに音声出力の遅延量を設定します。

## マイク收音範囲・音質

使用環境に応じたマイクの收音範囲と  
音声の設定ができます。

### ご注意

各設定の收音範囲は目安であり、マイク  
の設置位置や設置環境により、異なり  
ます。

**近距離・自然**：マイクから近距離（半  
径 1.5 m 未満）の音声を收音する場  
合に選択します。收音される音声は  
より自然な音質となります。

**バランス**：マイクから中距離（半径  
3 m 未満）の音質を收音する場合に  
選択します。收音範囲と音質のバラ  
ンスを取った調整です。

**広範囲・クリア**：「バランス」より收音  
範囲を広げたい場合を選択します。  
收音される音質はよりクリアな音質  
となります。

**手動設定**：「マイクノイズ抑圧」と「マ  
イクゲイン自動調整」を手動で設定  
する場合に選択します。

## マイクノイズ抑圧

「マイク收音範囲・音質」が「手動設  
定」にされている場合のみ、マイクノ  
イズ抑圧を設定します。

「強」、「中」、「弱」から選択でき  
ます。「強」を選択すると、ノイズの抑  
圧量を

強くすることにより、よりクリアな音  
質となります。「弱」を選択すると、ノ  
イズの抑圧量を抑えることにより、よ  
り自然な音質となります。

## マイクゲイン自動調整

「マイク收音範囲・音質」が「手動設  
定」にされている場合のみ、マイクゲ  
イン自動調整を設定します。

「強」、「中」、「弱」から選択でき  
ます。「強」を選択すると、收音範囲を  
広げる効果があります。「弱」を選択  
すると、近距離重視の收音範囲とな  
ります。

音声3

効果音

## ビーブ音

リモコンのボタンを押したときに出  
るビーブ音の音量と、ビーブ音を出力  
するかどうかを選びます。

大、中、小、切から選択できます。

## 効果音

本機起動時や接続開始時または切断  
時に出る効果音の音量と、効果音を  
出力するかどうかを選びます。

大、中、小、切から選択できます。

## 発信音

発信時のリングバックトーンや話し  
中のビジートーンの音量と、これら  
を出力するかどうかを選びます。

大、中、小、切から選択できます。

## 着信音

着信時のリングアートの音量と、リ  
ンガートーンを出力するかどうかを  
選びます。

大、中、小、切から選択できます。

## 映像設定メニュー

映像の入出力に関する設定をします。

映像1

### 基本設定

#### ビデオ入力

入力する映像を選びます。

**カメラ**：本体カメラの映像を入力する場合。

**HDMI-IN(PC)**：HDMI IN (PC) 端子に接続した外部機器の映像を入力する場合。

#### 周波数

映像入出力の周波数「50 Hz」または「60 Hz」を選びます。


#### ご注意

工場出荷時は、「周波数」は「60Hz」に設定されています。映像入出力機器が「50Hz」の周波数に対応していない場合に「50Hz」に設定すると、映像が出力されなかったり、モニターにメニューが表示されなくなりますのでご注意ください。

#### ヒント

「周波数」の設定変更を有効にするには、本機を再起動する必要があります。手で再起動を行ってください。誤って設定すると、再起動後、モニターに映像が表示されなくなります。この場合は、本体の電源スイッチとリモコンのボタンを使って正しい「周波数」に設定し直してください。

本機の再起動が完了して2分以上経過してから、

1 本体の  (電源) スイッチを押す。


2 5秒以内に、設定したい「周波数」に応じ、リモコンのボタンを次のように押す。

**60 Hz**：入力切替ボタン (1回)

→ 1 ボタン (3回)

**50 Hz**：入力切替ボタン (1回)

→ 2 ボタン (3回)

これで「周波数」の設定が変更され、本機がシャットダウンします。再度本体の  (電源) スイッチを押して起動してください。

映像2

### ビデオ入力選択名

選択したビデオ入力を表わす名前を12文字以内で設定します。

#### ビデオ入力選択名 (カメラ)

「ビデオ入力」で「カメラ」を選択した場合の名前。

#### ビデオ入力選択名 (HDMI-IN(PC))

「ビデオ入力」で「HDMI-IN(PC)」を選択した場合の名前。

## LAN 設定メニュー

LAN に関する設定をします。

◆ 詳しい設定については、ネットワーク担当者などにご相談ください。

LAN

### 基本設定：LAN

#### ホストネーム

ホスト名を30文字以内で入力します。

#### DHCP モード

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol、動的ホスト構成プロトコル) を使用するかどうかを設定します。

**自動**：IP アドレスとネットワークマスク、ゲートウェイアドレス、DNS アドレスを自動的に取得する場合。

**切**：DHCP を「切」に設定する場合。この場合は、IP アドレスとネットワークマスク、ゲートウェイアドレス、DNS アドレスを入力してください。

### プリフィックス長

IPv6 の IP アドレスのプリフィックス長を 0 ～ 128 の範囲で設定します。

### IP アドレス

IP アドレスを入力します。

### ネットワークマスク

ネットワークマスクを入力します。

### ゲートウェイアドレス

デフォルトゲートウェイアドレスを入力します。

### DNS プライマリ

DNS (Domain Name System) プライマリサーバーのアドレスを入力します。

### DNS セカンダリ

DNS セカンダリサーバーのアドレスを入力します。

### LAN モード (Web 機能のみ)

LAN 接続時のインターフェースのタイプと通信モードを選びます。

**自動**：インターフェースのタイプと通信モードを自動的に認識させる場合。

**1000Mbps**：1000BASE-T で接続する場合。

**100Mbps Full Duplex**：100BASE-TX、全二重モードで接続する場合。

**100Mbps Half Duplex**：100BASE-TX、半二重モードで接続する場合。

**10Mbps Full Duplex**：10BASE-T、全二重モードで接続する場合。

**10Mbps Half Duplex**：10BASE-T、半二重モードで接続する場合。

---


 LAN

PPPoE

### PPPoE

PPPoE を使用して LAN 接続するかどうかを選択します。

**切**：PPPoE を使用しない場合。

**入**：PPPoE を使用して  (LAN) 端子経由で LAN 接続をする場合。

#### ご注意

各ページの画面下部に PPPoE の登録状況が表示されます。

### ユーザー名

PPPoE を使用して LAN 接続するときのユーザー名を入力します。

### パスワード

PPPoE を使用して LAN 接続するときのパスワードを入力します。

### 固定 IP

固定 IP アドレスを使用して PPPoE 接続するかどうかを選択します。

**切**：固定 IP アドレスを使用しない場合。

**入**：固定 IP アドレスを使用して PPPoE 接続する場合。

### 固定 IP アドレス

「固定 IP」が「入」のとき、固定 IP アドレスを入力します。

## DNS

PPPoE 接続する場合、DNS サーバーを自分で設定するか自動取得するかを選びます。

**自動取得：**DNS サーバーを自動取得する場合。

**設定する：**DNS サーバーを自分で設定する場合。

## DNS プライマリ

DNS プライマリアドレスを入力します。

## DNS セカンダリ

DNS セカンダリアドレスを入力します。



## NAT 設定

### NAT モード

LAN 上の複数のコンピューターがひとつの IP アドレスを共有できる NAT (Network Address Translation) を使用したローカルネットワークに本機を接続するかどうかを選びます。

**自動：**NAT を使用しているかどうかを自動判別して設定を自動で行う場合。UPnP ルーターを使用している場合のみ有効です。

**入：**NAT のネットワークで使用する場合。

**切：**NAT を使用しない場合。

## WAN IP アドレス

WAN (Wide Area Network) の IP アドレスを入力します。



## ゲートキーパー

### 使用

アクセスをコントロールするゲートキーパーを使用するかどうかを設定し

ます。ゲートキーパーを使用すると、IP アドレスを使った発信の他に、ユーザー名やユーザー番号を使った発信が可能になります。

**自動：**自動的にゲートキーパーを探し、使用する場合。

**入：**ゲートキーパーを使用する場合。

**切：**ゲートキーパーを使用しない場合。

## ゲートキーパーアドレス

「ゲートキーパー使用」を「入」にしたときに使用するゲートキーパーのアドレスを入力します。

## ユーザー名

ゲートキーパーに登録するユーザー名 (H.323 エイリアス) を入力します。

## ユーザー番号

ゲートキーパーに登録するユーザー番号 (E.164 ナンバー) を入力します。

## H.460

H.460 を使用してファイアウォールを越え、別のネットワーク上にある端末と接続するかどうかを選びます。

**入：**H.460 に準拠したファイアウォールを越える接続を行う場合。

**切：**ファイアウォールを越える接続を行わない場合。



## 使用ポート番号、

## RTP/RTCP 設定

### Q.931

Q.931 ポート番号を入力します。

### H.245

H.245 ポート番号を入力します。

## RTP/RTCP

RTP/RTCP ポート番号を入力します。

## MTU サイズ

MTU のサイズを入力します。

---

## LAN (Web 機能のみ)

### SNMP (Web 機能のみ)

#### SNMP サービス

SNMP (Simple Network Management Protocol) エージェントのサービスを有効にするかどうかを設定します。

**入:** SNMP エージェントのサービスを有効にする場合。

**切:** SNMP エージェントのサービスを無効にする場合。

#### トラップ送信先

トラップを送信する SNMP マネージャーのアドレスを入力します。

#### コミュニティ名

SNMP マネージャーが管理するコミュニティ名を 24 文字以内の英数字と記号で入力します。デフォルトでは、「public」と入力されています。

#### ご注意

「コミュニティ名」はデフォルト値から変更して使用してください。また、「public」「private」などの一般的な名称は使わず、推測されにくい名称にしてください。

#### 機器の説明

この機器についての説明を入力します。デフォルトでは、「Videoconference Device」と入力されています。この項目は変更できません。

## 設置場所

この機器を設置している場所を 30 文字以内の英数字と記号で入力します。

## 管理者名

この機器の管理者についての情報を 30 文字以内で入力します。

---

## QoS 設定メニュー

通信の状態を最適に保つための機能を設定します。

#### ご注意

- 音声設定メニューの「リップシンク」が「切」に設定されているときは、QoS 設定メニューの「最適レート制御 (ARC)」、「パケット再送要求 (ARQ)」、「前方誤り訂正 (FEC)」は切り換えができません。
- QoS 設定メニューの「最適レート制御 (ARC)」、「パケット再送要求 (ARQ)」、「前方誤り訂正 (FEC)」のいずれかが「入」のときは、音声設定メニューの「リップシンク」を「切」にできません。
- SIP 接続時は、QoS 機能はご利用できません。

---

## QoS QoS1

### 基本設定

#### 最適レート制御 (ARC)

LAN の使用帯域を常に最適化するかどうかを選びます。

**入:** 最適化する場合。

**切:** 最適化しない場合。

#### 自動帯域検出

自動帯域検出機能を使用するかどうかを選びます。

**入：**自動帯域検出機能を使用する場合。

**切：**自動帯域検出機能を使用しない場合。

## TCP ポート番号

固定で使用する TCP ポート番号を入力します。

## UDP ポート番号

固定で使用する UDP ポート番号を入力します。

◆使用ポート番号について詳しくは、「PCSC-XC1 使用ポート一覧」(196 ページ)をご覧ください。

## パケット再送要求 (ARQ)

通信中にパケットをロスした場合に、再送要求するかどうかを選びます。

**入：**パケット再送を要求する場合。

**切：**パケット再送を要求しない場合。

## ARQ バッファリング時間

パケット再送要求 (ARQ) に使用するバッファのサイズを設定します。

300ms、150ms、80ms、自動、指定値を選択できます。

「指定値」を選択すると、任意のバッファリング時間を入力できます。

## ARQ バッファリング時間

「ARQ バッファリング時間」で「指定値」を選択したとき、任意のバッファリング時間 (50ms ~ 999ms) を入力します。

## 前方誤り訂正 (FEC)

誤り訂正符号をつけるかどうかを選びます。

**入：**誤り訂正符号をつける場合。

**切：**誤り訂正符号をつけない場合。

**自動：**通信相手の前方誤り訂正 (FEC)

の設定に応じて、誤り訂正符号をつけるかつかないかを自動的に切り換える場合。

## 前方誤り訂正冗長度

前方誤り訂正 (FEC) 時に使用するパケットの冗長度を設定します。

8、4、2、自動を選択できます。

「自動」以外を設定した場合、通信レートが守られないことがあります。

## 音声 2 重送信

ネットワークの状況により音声途切れた場合に、自動的に音声を二重送信するかどうかを選びます。

**入：**音声二重送信する場合。

**切：**音声二重送信をしない場合。

**00S QoS2**

**リオーダー・**

## シェーピング

### リオーダー

パケットロスの原因となるリオーダー (パケット着順不正) を補正するかどうかを選びます。リオーダーを補正するとなめらかな映像・音声を得られます。

**入：**リオーダーを補正する場合。

**切：**リオーダーを補正しない場合。

### リオーダー・バッファ

リオーダー・バッファを設定します。自動、1、2、指定値を選択できます。

### リオーダー・バッファ値

リオーダー・バッファの値を入力します。1 ~ 5 の値を指定できます。

## シェーピング

IP パケットの転送速度を調整するシェーピングを使用するかどうかを選びます。

**入**：シェーピングを使用する場合。

**切**：シェーピングを使用しない場合。

## TOS 設定メニュー

TOS TOS

TOS

### TOS 種別

TOS (Type of Service) Field の設定を行うデータの種別を選びます。

**ビデオ**：映像データの TOS Field を設定する場合。

**オーディオ**：音声データの TOS Field を設定する場合。

**データ**：カメラコントロール信号などの TOS Field を設定する場合。

**プレゼンテーション**：プレゼンテーション用の HDMI (PC) データの TOS Field を設定する場合。

### TOS

「TOS 種別」で選択したデータの TOS (Type of Service) Field の定義方法を選びます。

**切**：TOS Field の定義をしない場合。

**IP Precedence**：TOS Field を IP Precedence に定義する場合。

**DSCP**：TOS Field を DSCP (Differentiated Services Code Point) に定義する場合。  
0～63を入力します。

### Precedence

IP Precedence 値 (0～7) を入力します。

## 遅延

TOS Field の Low Delay のビットを指定するかどうかを選択します。

**入**：TOS Field の Low Delay のビットを指定する場合。

**切**：TOS Field の Low Delay のビットを指定しない場合。

## スループット

TOS Field の High Throughput のビットを指定するかどうかを選択します。

**入**：TOS Field の High Throughput のビットを指定する場合。

**切**：TOS Field の High Throughput のビットを指定しない場合。

## 信頼性

TOS Field の Reliability のビットを指定するかどうかを選択します。

**入**：TOS Field の Reliability のビットを指定する場合。

**切**：TOS Field の Reliability のビットを指定しない場合。

## コスト

TOS Field の Minimum Cost のビットを指定するかどうかを選択します。

**入**：TOS Field の Minimum Cost のビットを指定する場合。

**切**：TOS Field の Minimum Cost のビットを指定しない場合。

## DSCP

DSCP 値を入力します。

「TOS」が「DSCP」の場合のみ表示されます。

## SIP 設定メニュー

IP 電話などを接続し、SIP (Session Initiation Protocol) を利用して接続を行うときに設定します。



### 基本設定

#### SIP サーバー使用

SIP サーバーを使用するかどうかを選択びます。

**入:** SIP サーバーを使用する場合。

**切:** SIP サーバーを使用しない場合。

#### トランスポートプロトコル

SIP で使用するプロトコルを選択します。

**TCP:** TCP (Transmission Control Protocol) を使用する場合。

**UDP:** UDP (User Datagram Protocol) を使用する場合。工場出荷時はこちらが選択されています。

#### ポート番号

SIP で使用するポート番号を入力します。

#### SIP ドメイン

SIP ドメイン名を入力します。

#### 登録ユーザー名

SIP サーバーに登録する端末のユーザー名を 39 文字以内の半角英数字と記号で入力します。

#### パスワード

SIP サーバーに登録する端末のパスワードを 39 文字以内の半角英数字と記号で入力します。

#### SIP サーバーアドレス

SIP サーバーのアドレスを入力します。

## SIP サーバーポート

SIP サーバーと通信するときに使用するポート番号を入力します。

## アノテーション設定メニュー

ペンタブレットを使って画面に文字や絵を描くアノテーション機能に関する設定を行います。

### ご注意

本機前面の USB 端子には、小さな USB デバイスを差し込まないでください。端子からデバイスを取りはずせなくなる可能性がありますので、背面の USB 端子をご利用ください。

### アノテーション

### アノテーション

#### 利用

アノテーション機能を利用するかどうかを選択びます。

**入:** アノテーション機能を利用する場合。

**切:** アノテーション機能を利用しない場合。

#### 色

タブレットペンで描く色を選択びます。黒、赤、青、緑、黄、橙、紫、白から選択できます。

#### 太さ

タブレットペンで描く線の太さを選択びます。太、中、細から選択できます。



## 一般設定メニュー

一般1

### 機器設定

#### 端末名

相手に通知する本機の名前を 30 文字以内で入力します。

#### スタンバイモード

一定時間操作しないときに本機をスタンバイモードにするかどうかを選びます。

**入：**スタンバイモードにする場合。

**切：**スタンバイモードにしない場合。

#### スタンバイ時間

スタンバイモードに入るまでの時間を設定します。1～99 分の間で設定できます。

◆スタンバイモードについて詳しくは、「スタンバイモードについて」(27 ページ)をご覧ください。

#### 会議終了後のリスト登録

コミュニケーション終了後に相手をアドレス帳に登録するかどうかを選びます。

**切：**アドレス帳に登録しない場合。

**入：**コミュニケーション終了後、相手がアドレス帳に登録されていなければ、「この相手をリストに登録しますか？」のメッセージが表示され、「OK」を選ぶとリスト編集メニューが表示されます。

#### カメラコントロール受信

一時的に相手側からのカメラコントロールコマンドを拒否することができます。

**入：**カメラコントロールコマンドを受信する場合。

**切：**カメラコントロールコマンドを拒否する場合。

#### 言語設定 /Language

画面に表示されるメッセージの言語を選びます。以下の言語が選べます。

日本語 /Japanese、英語 /English、フランス語 /French、ドイツ語 /German、スペイン語 /Spanish、イタリア語 /Italian、簡体中国語 /Chinese、ポルトガル語 /PORT、繁体中国語 /Chinese、韓国語 /Korean、オランダ語 /Dutch、デンマーク語 /Danish、スウェーデン語 /Swed、フィンランド語 /Finn、ポーランド語 /Polish、ロシア語 /Russian、アラビア語 /Arabic、タイ語 /Thai、ノルウェー語 /Norwegian、トルコ語 /Turkish、ウェールズ語 /Welsh、チェコ語 /Czech、ハンガリー語 /Hungarian

一般2

### 日時設定

#### NTP

NTP により、サーバーから時刻情報を取得する場合は「入」にします。

**入：**サーバーから時刻情報を取得する場合。

**切：**サーバーから時刻情報を取得しない場合。

#### プライマリー NTP サーバー

時刻情報を取得するプライマリー NTP サーバーのアドレスを入力します。

## セカンダリー NTP サーバー

時刻情報を取得するセカンダリー NTP サーバーのアドレスを入力します。

## タイムゾーン

本機を使用する国／地域を選びます。

## 日時表示形式

モニター画面に表示する日時表示の形式を選びます。

「年／月／日」、「月／日／年」、「日／月／年」、「年-月-日」、「日.月.年」のいずれかを選びます。

## 年月日

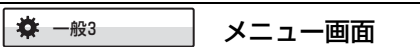
現在の年月日を入力します。

## 時間

現在の時刻を入力します。

## 時刻更新

「NTP」が「入」のとき、「実行」ボタンを選んで決定ボタンを押すと、現在時刻が更新されます。



ツールメニュー、設定メニューの画面に表示させる項目を設定します。

## 通信中時間表示

**切：**通信経過時間も現在時刻も表示させない場合。

**経過時間：**通信中、通信経過時間を表示させる場合。

**現在時刻：**通信中も現在時刻を表示させる場合。

## 端末名表示

**切：**端末名を表示しない場合。

**常時表示：**常に端末名を表示する場合。

**一定時間表示：**一定時間、接続地点の端末名を表示する場合。

## ガイドンス表示

**入：**ガイドンス（操作説明）を表示する場合。

**切：**ガイドンス（操作説明）を表示しない場合。

## インジケータ表示

**入：**通信中表示されるインジケータ（プレゼンテーションやカメラコントロールなど）を表示する場合。

**切：**通信中表示されるインジケータを表示しない場合。

### ご注意

この設定に関わらず、マイクオフのインジケータは常に表示されます。

## 接続時の通信モード表示

**入：**接続時の通信モードを表示する場合。

**切：**接続時の通信モードを表示しない場合。

## ソフトキーボード表示

**入：**ソフトキーボードを表示する場合。

**切：**ソフトキーボードを表示しない場合。

◆ソフトキーボードについては、「ソフトキーボードで文字や数字を入力する」(44ページ)をご覧ください。

## メニュー透過度

背景の映像や画像の上に重なるメニューの透過度を設定します。高、中、低から選択できます。

## クションキー

リモコンの各ファンクションボタンに割り当てる機能を設定します。

### ご注意

- ・通信中に「通信中のファンクションキー」を設定することはできません。通信を始める前に設定してください。
- ・ツールメニュー（142 ページ）の「インジケーター」を「切」に設定して使用している場合は、通信中にファンクションボタンを押して機能の入/切や設定の変更を行っても、該当するインジケーターが表示されません。

## F1

F1 ボタンを押したときに使用する機能を選びます。

**相手／自分：** ボタンを押すたびに自分側カメラと相手側カメラを切り換えます。

**カメラ：** 自分側の映像をカメラの映像に切り換えます。

**HDMI-IN(PC)：** 自分側の映像を HDMI IN (PC) 端子に接続した機器の映像に切り換えます。

**音声入力切替：** 音声入力の設定を切り換えます。音声設定メニューの「音声入力」の設定を変更するのと同じ働きをします。

「音声入力」で設定されている選択肢を起点として、ボタンを押すたびに「音声入力」のドロップダウンリストの表示順に音声入力切り替わります。

### ご注意

ファンクションボタンで変更した音声入力の設定は会議中のみ有効です。「音声入力」の設定は変更されません。

- ◆「音声入力」の設定について詳しくは、「音声入力」（55 ページ）をご覧ください。

**レコーディング 実行 / 停止：** ボタンを押すたびにレコーディングの実行 / 停止を行います。

**何もしない：** ボタンに機能を割り当てません。

### ご注意

「F1」を「相手／自分」以外に設定しても、「ビデオ入力」メニューや「レイアウト」メニューが表示されている間は F1 ボタンの機能は「相手／自分」に固定されます。その他、操作に便利のように F1 ～ F4 ボタンの機能が自動的に固定される場合があります。この場合には、ガイダンス欄に表示されます。

## F2

F2 ボタンを押したときに使用する機能を選びます。

選択できる内容は F1 と同じです。

## F3

F3 ボタンを押したときに使用する機能を選びます。

選択できる内容は F1 と同じです。

## F4

F4 ボタンを押したときに使用する機能を選びます。

選択できる内容は F1 と同じです。

## ホーム画面設定メニュー

### 🏠 ホーム画面1

#### ホーム画面 1

ホームメニューに表示させる項目を選びます。

#### 📌 ご注意

通信中は、設定できない項目もあります。

#### 日時表示

**入：**ホームメニューに現在の日時を表示する場合。

**切：**現在の日時を表示しない場合。

#### 自端末名

**入：**ホームメニューに自分側の端末名を表示する場合。

**切：**自分側の端末名を表示しない場合。

#### 番号表示

ホームメニューに表示する、自分側のIPやユーザー番号を選びます。

**SIP：ユーザー名：**SIPサーバーに登録したユーザー名を表示する場合。

**SIP：アドレス：**SIPアドレスを表示する場合。

**GK：ユーザー名：**ゲートキーパー使用時、ゲートキーパーに登録したユーザー名を表示する場合。

**GK：ユーザー番号：**ゲートキーパー使用時、ゲートキーパーに登録したユーザー番号を表示する場合。

**NAT：アドレス：**NATを使用したネットワークに接続しているとき、NATアドレスを表示する場合。

**IP：アドレス：**IPアドレスを表示する場合。

**表示しない：**IPやユーザー番号を何も表示しない場合。

#### 端末状態

**入：**ホームメニューに自分側の端末状態を表示する場合。

**切：**自分側の端末状態を表示しない場合。

#### 異常時メッセージ

**入：**ホームメニューに異常時のメッセージを表示する場合。

**切：**異常時のメッセージを表示しない場合。

### 🏠 ホーム画面2

#### ホーム画面 2

ホームメニューに表示させるメニューボタンを選びます。

#### 接続ボタン表示

ホームメニューに表示させる接続用のボタンを選びます。

**かんたん表示：**「接続」ボタンのみを表示する場合。

**個別表示：**「アドレス帳」ボタン、「履歴」ボタン、「詳細接続」ボタンをそれぞれの入/切の設定に応じて表示/非表示する場合。

**切：**接続用のボタンを表示しない場合。

#### アドレス帳ボタン

**入：**「アドレス帳」ボタンを表示する場合。

**切：**「アドレス帳」ボタンを表示しない場合。

#### 履歴ボタン

**入：**「履歴」ボタンを表示する場合。

**切：**「履歴」ボタンを表示しない場合。

## 詳細接続ボタン

入：「詳細接続」ボタンを表示する場合。

切：「詳細接続」ボタンを表示しない場合。

## カメラボタン

入：「カメラ」ボタンを表示する場合。

切：「カメラ」ボタンを表示しない場合。

## ツールボタン

切：「ツール」ボタンを表示しない場合。

入：「ツール」ボタンを表示する場合。

## ワンタッチダイヤル


入：ワンタッチダイヤルボタンを表示する場合。

切：ワンタッチダイヤルボタンを表示しない場合。

## ダイレクトダイヤル

切：ダイレクトダイヤル用の番号入力欄と「発信」ボタンを表示しない場合。

入：ダイレクトダイヤル用の番号入力欄と「発信」ボタンを表示する場合。

 ホーム画面3

## ホーム画面 3

ホームメニューに表示させるインジケータ（状態表示）を選びます。

## ビデオ入力表示

入：現在選択されているビデオ入力名を表示する場合。

切：ビデオ入力名を表示しない場合。

## オーディオ入力表示

入：現在選択されているオーディオ入力を表示する場合。

切：オーディオ入力を表示しない場合。

## オーディオレベルメーター

入：オーディオレベルメーター（現在のオーディオ入力レベル）を表示する場合。

切：オーディオレベルメーターを表示しない場合。

## ボリューム

入：音量調節をしたとき、一定時間、ボリューム（音量）を表示する場合。

切：ボリューム（音量）を表示しない場合。

## LAN 状態表示

入：現在の LAN の状態を表示する場合。

切：LAN の状態を表示しない場合。

## 管理者設定メニュー

システムの管理者が使用するメニューです。

 管理者1

## パスワード

このメニューでパスワードを登録することで、本機および Web ページから設定メニューやアドレス帳を変更するためにアクセスできるユーザーを制限することができます。

## ご注意

未設定のパスワードがあると、だれでもそのユーザー名でアクセスすることができます。ネットワーク上の意図せぬ第三者からのアクセスを防ぐにはすべてのパスワードを設定してください。

- ◆ Web ページの認証で各パスワードを使用した場合について詳しくは、「6 章 Web 機能」をご覧ください。

## 管理者用パスワード

管理者用のパスワードを 39 文字以内の半角英数字と記号で登録します。

管理者用パスワードを登録すると、管理者用設定メニューにアクセスするときにパスワードの入力を求められます。また、複数のパスワードが登録されているときは、上位パスワードとして使用できます。例えば、アドレス帳変更パスワード、設定保存パスワード、管理者用パスワードを登録しているときは、アドレス帳や設定の変更をするときに管理者用パスワードを使用することもできます。

### ご注意

- ・ 設定またはアドレス帳の変更時に、管理者用パスワードを一度入力すると、設定メニューまたはアドレス帳から別の画面に移動しない限り、パスワードを再入力せずに設定を変更できます。また、設定メニューまたはアドレス帳から HOME 画面に戻っても、約 2 分間は、パスワードを再入力せずに設定を変更できる状態が継続します。管理者用設定メニューにアクセスした場合も同様です。
- ・ 管理者用パスワードを登録しただけでは、設定変更やアドレス帳変更についてはパスワードで保護されません。必ず管理者用パスワードとともにアドレス帳変更パスワードや設定保存パスワードも登録してください。
- ・ ほかのパスワードを登録しても、管理者用パスワードが空白のままだと、パスワードの入力なしで Web ページから

の変更や接続ができます。ご注意ください。

- ・ 管理者用パスワードは必ず控えてください。万一、管理者用パスワードを忘れた場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。この場合、本機を初期化して修理することになり、本機に保存されていたアドレス帳や履歴、各種設定データは失われます。

## アドレス帳変更パスワード

アドレス帳を変更するときのパスワードを 39 文字以内の半角英数字と記号で登録します。

### ご注意

アドレス帳の変更時に、アドレス帳変更パスワードを一度入力すると、アドレス帳から別の画面に移動しない限り、パスワードを再入力せずに設定を変更できます。また、アドレス帳から HOME 画面に戻っても、約 2 分間は、パスワードを再入力せずに設定を変更できる状態が継続します。

## 設定保存パスワード

設定を保存するときのパスワードを 39 文字以内の半角英数字と記号で登録します。

### ご注意

設定の変更時に、設定保存パスワードを一度入力すると、設定メニューから別の画面に移動しない限り、パスワードを再入力せずに設定を変更できます。また、設定メニューから HOME 画面に戻っても、約 2 分間は、パスワードを再入力せずに設定を変更できる状態が継続します。

## リモートアクセス・パスワード

Web ページにアクセスするときのパスワードを 39 文字以内の半角英数字と記号で登録します。

管理者2

### レコーディング

#### レコーディング

映像・音声の USB メモリーへのレコーディングを許可するかどうかを選びます。

**許可**：レコーディングを許可する場合。

**禁止**：レコーディングを許可しない場合。

#### ご注意

本機前面の USB 端子には、小さな USB デバイスを差し込まないでください。端子からデバイスを取りはずせなくなる可能性がありますので、背面の USB 端子をご利用ください。

#### ビデオ

レコーディングのビデオのレートを選びます。

**512Kbps**：512Kbps でレコーディングを行う場合。

**1Mbps**：1Mbps でレコーディングを行う場合。

管理者3

### アクセス許可

#### ご注意

使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者からアクセスされる可能性があります。「Web モニター」、「Web アクセス」、「Telnet アクセス」、「SSH アクセス」を「入」または「許可」の設定に変更すると、以下の確認画面が表示されます。

外部から本機にアクセスする機能をお使いになる場合には、ネットワーク上の意図せぬ第三者からアクセスされる可能性がありますので、管理者設定メニューの「パスワード」ページですべてのパスワードを設定してください。

確認

キャンセル

設定を変更するには、「確認」を選択して管理者設定メニューの「パスワード」ページ（69 ページ）ですべてのパスワードを設定してください。「キャンセル」を選択すると、設定は変更されません。

#### Web モニター

Web からの通信状態監視機能（JPEG 画像の自動更新）を許可するかどうかを選びます。

**入**：Web からの通信状態監視機能を許可する場合。

**切**：Web からの通信状態監視機能を許可しない場合。

#### Web アクセス

Web から本機へのアクセスを許可するかどうかを選びます。

**許可**：Web からのアクセスを許可する場合。

**禁止**：Web からのアクセスを許可しない場合。

#### Telnet アクセス

Telnet から本機へのアクセスを許可するかどうかを選びます。

**許可**：Telnet からのアクセスを許可する場合。

**禁止**：Telnet からのアクセスを許可しない場合。

#### SSH アクセス

SSH（Secure Shell）から本機へのアクセスを許可するかどうかを選びます。

**許可**：SSH からのアクセスを許可する場合。

**禁止**：SSH からのアクセスを許可しない場合。

管理 4

## その他

### 履歴の利用

通信履歴を表示して発信などに利用するかどうかを選びます。

**入**：履歴を表示する場合。

**切**：履歴を表示しない場合。

### 設定の保存

各種設定のデータを USB メモリーに保存します。USB メモリーの各種設定のデータは上書きされます。

#### ご注意

- ・アドレス帳、履歴のデータは保存されません。
- ・本機前面の USB 端子には、小さな USB デバイスを差し込まないでください。端子からデバイスを取りはずせなくなる可能性がありますので、背面の USB 端子をご利用ください。

### 設定のロード

各種設定のデータを USB メモリーからロードします。本体の各種設定のデータは上書きされます。

#### ご注意

- ・設定の保存およびロードは、元のデータを保存した端末とバージョンが同じ場合に使用してください。保存した端末とロードした端末のバージョンが異なる場合は、正常に認識されないことがあります。

- ・本機前面の USB 端子には、小さな USB デバイスを差し込まないでください。端子からデバイスを取りはずせなくなる可能性がありますので、背面の USB 端子をご利用ください。

### 設定の初期化

すべての設定を工場出荷時の設定に戻します。

実行後は、本機が自動的に再起動します。

#### ご注意

- ・初期化を実行すると、管理者用パスワードを含むすべてのパスワード、固定 IP アドレスの設定などが消去されます。必要な設定情報は、あらかじめ「設定の保存」を使用してバックアップしておいてください。
- ・初期化を実行して再起動したあとは、初期設定ウィザードが表示されます。

◆初期設定ウィザードについて詳しくは、「設置直後の設定 - 初期設定ウィザード」(30 ページ)をご覧ください。

### AMX デバイスディスクカバリー

AMX デバイスディスクカバリー情報を定期的にネットワーク上に送出するかどうかを選びます。

**切**：本機能を無効にする場合。

**入**：本機能を有効にする場合。

なお、AMX が本機とシリアル接続されている場合、AMX デバイスディスクカバリー情報はシリアルにて出力されます。

AMX は本システムを管理できる外部コントロールシステムです。本機から送出された AMX デバイスディスクカバ



リー情報を受けると、自動的に本機をシステムの管理下におきます。

## ホップ数

送出するデータのホップ数を0～255の間で入力します。

## インターネットプロトコル

**IPv4**：現在一般的に使用されているインターネットプロトコル IPv4

(Internet Protocol Version 4) を使用する場合。

**IPv6**：次世代のインターネットプロトコル IPv6 を使用する場合。

### ご注意

「インターネットプロトコル」を「IPv6」に設定した場合、本機の機能が一部制限されます。また、管理者設定メニューも一部分表示されなくなります。

◆詳しくは、「IPv6 使用時の制限」(82 ページ) をご覧ください。

管理者5

## アドレス帳

### ご注意

本機前面の USB 端子には、小さな USB デバイスを差し込まないでください。端子からデバイスを取りはずせなくなる可能性がありますので、背面の USB 端子をご利用ください。

## アドレス帳の保存

アドレス帳のデータを USB メモリーに保存します。USB メモリーのデータは上書きされます。

## アドレス帳のロード

アドレス帳のデータを USB メモリーからロードします。本体のアドレス帳のデータは上書きされます。

### ご注意

アドレス帳の保存およびロードは、元のデータを保存した端末とバージョンが同じ場合に使用してください。保存した端末とロードした端末のバージョンが異なる場合は、正常に認識されないことがあります。

## アドレス帳の消去

本体のアドレス帳を消去します。

## 自動発信

USB メモリーを挿入したときに、USB メモリーに作成したプライベートアドレス帳の指定した相手に自動発信するかどうかを選びます。

**入**：自動発信する場合。

**切**：自動発信しない場合。

◆詳しくは「プライベートアドレス帳の相手の1つに自動発信するには」(123 ページ) をご覧ください。

## プライベートアドレス帳の作成

USB メモリーに、空のプライベートアドレス帳のフォルダとファイルを作成します。

◆詳しくは、「プライベートアドレス帳を作成する」(121 ページ) をご覧ください。

## プライベートアドレス帳の削除

USB メモリーの中のプライベートアドレス帳を削除します。

## プライベートアドレス帳への複製

本機に登録してあるアドレス帳のデータを USB メモリーの中のプライベートアドレス帳にコピーします。

管理者6

## ソフトウェアオ

### プション画面

追加したいソフトウェアオプションのキーを「ソフトウェアオプション」1～8の入力欄に入力します。

- ◆ソフトウェアオプションの追加のしかたについて詳しくは、「ソフトウェアオプションを追加する」(96 ページ)をご覧ください。

## [管理者 7] 設定許可 1 Admin: Set 1 (Web 機能のみ)

それぞれの設定を保存するときに「設定保存」パスワードが必要かどうかを選びます。

### 通信回線

**有効**：通信回線設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。

**無効**：通信回線設定をパスワードなしで保存する場合。

### 発信

**有効**：発信設定を保存するときに「設定保存パスワード」を要求する場合。

**無効**：発信設定をパスワードなしで保存する場合。

### 着信

**有効**：着信設定を保存するときに「設定保存パスワード」を要求する場合。

**無効**：着信設定をパスワードなしで保存する場合。

### IP 通信モード

**有効**：IP 通信モード設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。

**無効**：IP 通信モード設定をパスワードなしで保存する場合。

### SIP 通信モード

**有効**：SIP 通信モード設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。

**無効**：SIP 通信モード設定をパスワードなしで保存する場合。

## [管理者 8] 設定許可 2 Admin: Set2 (Web 機能のみ)

### 音声

**有効**：音声設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。

**無効**：音声設定をパスワードなしで保存する場合。

### 映像

**有効**：映像設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。

**無効**：映像設定をパスワードなしで保存する場合。

### LAN

**有効**：LAN 設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。

**無効**：LAN 設定をパスワードなしで保存する場合。

## QoS

**有効**：QoS 設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。

**無効**：QoS 設定をパスワードなしで保存する場合。

## TOS

**有効**：TOS 設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。

**無効**：TOS 設定をパスワードなしで保存する場合。

## SIP

**有効**：SIP 設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。

**無効**：SIP 設定をパスワードなしで保存する場合。

---

## [管理者 9] 設定許可 3 Admin: Set3 (Web 機能のみ)

### 一般

**有効**：一般設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。

**無効**：一般設定をパスワードなしで保存する場合。

### ホーム画面

**有効**：ホーム画面設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。

**無効**：ホーム画面設定をパスワードなしで保存する場合。

### 管理者

**有効**：管理者設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。

**無効**：管理者設定をパスワードなしで保存する場合。

## アノテーション

**有効**：アノテーション設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。

**無効**：アノテーション設定をパスワードなしで保存する場合。

## カメラ

**有効**：カメラ設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。

**無効**：カメラ設定をパスワードなしで保存する場合。

## 暗号化

**有効**：暗号化設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。

**無効**：暗号化設定をパスワードなしで保存する場合。

## 共有アドレス帳

**有効**：共有アドレス帳設定を保存するときに「設定保存」パスワードを要求する場合。

**無効**：共有アドレス帳設定をパスワードなしで保存する場合。

## 暗号化設定メニュー

暗号化機能を使った接続を行うときに設定します。

暗号化機能を使うと、機密性の高い接続を行うことが可能です。

◆暗号化接続について詳しくは、5章をご覧ください。

## 暗号化モード

暗号化機能を使用するかどうかを選びます。

**切**：暗号化機能を使用しない場合。

**接続性優先**：標準暗号化接続ができる相手とは暗号化接続します。標準暗号化接続ができない相手、または標準暗号化機能がオフになっている相手とは、暗号化せずに接続します。

**暗号化優先**：標準暗号化接続ができる相手とのみ、接続します。

## 共有アドレス帳設定メニュー

サーバー上にある共有アドレス帳を使用する場合に設定します。

◆共有アドレス帳について詳しくは、「共有アドレス帳を使用する」(123 ページ)をご覧ください。

## SPB モード

共有アドレス帳を管理するサーバーを使用するかどうかを選択します。

**入**：共有アドレス帳を管理するサーバーを使用する場合。

**切**：共有アドレス帳を管理するサーバーを使用しない場合。

## SPB サーバ・アドレス

共有アドレス帳を管理するサーバーの IP アドレスを入力します。

## SPB サーバ・パスワード

共有アドレス帳を管理するサーバーのパスワードを入力します。

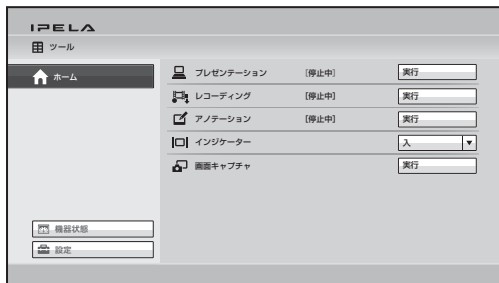
# 機器状態を表示する

機器状態メニューを使って、本機や接続機器のバージョン、通信モード、回線品質などさまざまな情報を表示することができます。

## 機器状態を表示する

- 1 リモコンのツールボタンを押す、または  $\blacktriangle/\blacktriangledown/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$  ボタンでホームメニューの「ツール」を選び、決定ボタンを押す。

ツールメニューが表示されます。



- 2 リモコンの  $\blacktriangle/\blacktriangledown/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$  ボタンで「機器状態」を選び、決定ボタンを押す。

機器状態メニューが表示されます。



## 機器状態メニューから表示できる情報画面

- 端末の情報 (79 ページ)
- 周辺機器の状態 (79 ページ)
- 通信モードの状態 (80 ページ)
- LAN 回線の状態 (80 ページ)
- ネットワーク導通確認 (81 ページ)

**3** リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで表示したい情報を選び、決定ボタンを押す。

選んだ情報画面が表示されます。

## 端末の情報

本機のバージョンや接続されている専用別売機器のバージョン、使用しているソフトウェアオプションなどを表示します。

### ホストバージョン

本機のソフトウェアバージョンを表示します。

### ソフトウェアオプション

インストールされているオプションのソフトウェアの種類を表示します。

### オプション I/F

接続されている別売機器を表示します。

**なし**：別売機器は接続されていません。

**無線 LAN**：別売のワイヤレスモジュール PCSA-WXC1 に同梱されている USB 無線 LAN モジュールが挿入されています。

**タブレット**：アノテーション機能で使用するペンタブレットが接続されています。

### ホストネーム

ホスト名を表示します。

### LAN Selected

有線ネットワークと無線ネットワークのどちらが選択されているかを表示します。

### SSID

無線 LAN 使用時にのみ表示されます。接続できる無線ルーターの SSID が表示されます。

## IP アドレス

LAN の IP アドレスを表示します。

## MAC アドレス

LAN の MAC アドレスを表示します。

### ご注意

- ・別売のワイヤレスモジュール PCSA-WXC1 に同梱されている USB 無線 LAN モジュールを本機に挿入している場合でも、有線 LAN の MAC アドレスが表示されます。
- ・無線 LAN 使用時には、無線 LAN の MAC アドレスも表示されます。

## シリアルナンバー

シリアル番号を表示します。

## 周辺機器の状態

### ビデオ入力

入力ビデオ名を表示します。

### 音声入力 (MIC 系)

MIC 系の入力オーディオ名を表示します。

### 音声入力 (AUX 系)

AUX 系の入力オーディオ名を表示します。

### ビデオ出力

設定されている解像度と周波数を表示します。

### 音声出力

設定されている音声出力を表示します。

### LAN モード (LAN)

LAN の LAN モードを表示します。

## ゲートキーパー

ゲートキーパーの状態を表示します。  
ゲートキーパー要求、ゲートキーパー確認、ゲートキーパー拒否、登録要求、登録成功、登録失敗、登録拒否、登録タイムアウト、登録解除要求、登録解除確認

## 通信モードの状態

通信中は現在の通信状態、非通信時は前回通信時の通信状態を表示します。  
使用している回線インターフェースに応じて、LAN 回線状態、LAN 通信状態も表示されます。

## 通信モードの状態

現在の通信状態を表示します。2 地点以上接続されている場合は、画面下部の「次へ」を選択すると次のページが表示されます。  
送信欄と受信欄に分かれている項目では（送信）欄には、自分側が設定している状態が、（受信）欄には自分側が受信している状態が表示されます。

## 相手端末名

相手の端末名を表示します。

## 相手アドレス

相手のアドレスを表示します。

## 音声符号化方式

現在の音声符号化方式を表示します。

## 映像符号化方式

現在の映像符号化方式を表示します。  
H.264 High Profile での通信時には「H.264 HP」と表示され、H.264

Baseline Profile での通信時には「H.264」と表示されます。

## ご注意

実際の通信に使用される音声符号化方式と映像符号化方式は、接続先のシステムの状態により、本機で設定した方式と異なる場合があります。

## 映像フレームレート

動画のフレームレートをリアルタイムで表示します。

## 回線レート

接続されている回線の数と通信中の伝送レートをリアルタイムで表示します。

## 回線 I/F

使用している回線インターフェースを表示します。

## 遠隔カメラ制御

双方のカメラを操作できる状態になっているかどうかを表示します。

## H239

H.239 プレゼンテーションが使える状態になっているかどうかを表示します。

## チェックコード

暗号化チェックコードを表示します。

## LAN 回線の状態

LAN 回線の状態を表示します。

## ビットレート—送信

送信時の伝送レートが、オーディオ（音声）、ビデオ（映像）、H.239（プレゼンテーション）の種別ごとに表示されます。



## ビットレート—受信

受信時の伝送レートが、オーディオ（音声）、ビデオ（映像）、H.239（プレゼンテーション）の種別ごとに表示されます。

## パケット数—ロスパケット数

相手からの伝送中にネットワーク上で欠落したパケット数が、オーディオ（音声）、ビデオ（映像）、H.239（プレゼンテーション）の種別ごとに表示されます。

## パケット数—復元パケット数

ロスパケット数のうち本機の QoS 機能で復元されたパケット数が、オーディオ（音声）、ビデオ（映像）、H.239（プレゼンテーション）の種別ごとに表示されます。

## パケット数—受信パケット数

通信中に受信したパケット数が、オーディオ（音声）、ビデオ（映像）、H.239（プレゼンテーション）の種別ごとに表示されます。

## ネットワーク導通確認

ネットワークの導通確認を行い、その結果を表示します。

画面下部の「測定開始」を選ぶと導通確認を始めます。

◆詳しくは、「ネットワーク導通確認について」（95 ページ）をご覧ください。

## 相手の IP アドレス

ネットワークの導通を確認したい相手の IP アドレスを入力します。

## 回線種別

LAN： 品 端子に接続したネットワークの導通確認をする場合。

## ゲートウェイ

デフォルトゲートウェイの確認結果を表示します。

## ping

到達性の確認結果および、パケットロス率、RTT（往復遅延時間）、H.323 通信（H.323 での通信が可能かどうか）の確認結果を表示します。

## トレースルート

ホップ数（相手に到達するまでに経由するルーター数）、Total RTT（往復遅延時間）の確認結果を表示します。

## 測定開始

この項目を選ぶと、ネットワーク導通確認が始まります。

## 戻る

この項目を選ぶと、機器状態メニューへ戻ります。

## 有線 LAN / 無線 LAN の制限

無線 LAN を使用するには、ワイヤレスモジュール PCSA-WXC1（別売）に同梱されている USB 無線 LAN モジュールが必要です。ワイヤレスモジュール PCSA-WXC1 を本機にインストールし、USB 無線 LAN モジュールを本機背面の USB 端子に差すことによって、無線 LAN による通信が可能になります。

無線 LAN を使用する場合は、通信回線設定メニューの「接続ネットワーク」で「無線 LAN」を選択してください。有線 LAN を使用する場合は、通信回線設定メニューの「接続ネットワーク」で「有線 LAN」を選択してください。

### ご注意

- ・有線 LAN と無線 LAN を同時に使用することはできません。どちらか一方を選択してください。
- ・別売のワイヤレスモジュール PCSA-WXC1 に同梱されている USB 無線 LAN モジュールを本機に挿入する際は、本機背面の USB 端子を使用してください。
- ・USB 無線 LAN モジュールの挿抜は、本機の電源をオフにした状態で行ってください。
- ・無線 LAN では PPPoE に対応していません。
- ・無線 LAN では IPv6 に対応していません。

## IPv6 使用時の制限

インターネットプロトコル IPv6 を使う場合は、次のように本機の機能が制限されます。

### IPv6 で使えない機能

- ・SNMP
- ・NTP
- ・共有アドレス帳
- ・TOS
- ・ネットワーク導通確認
- ・AMX デバイスディスカバリー
- ・PPPoE
- ・NAT
- ・SIP
- ・無線 LAN 接続

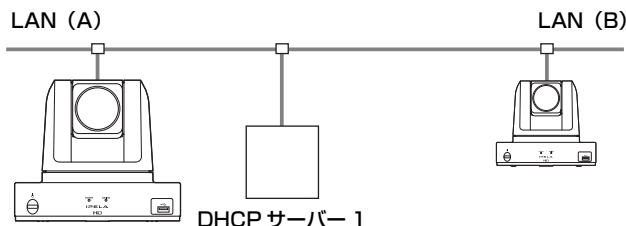
# ネットワーク構成ごとの設定方法

ここでは、さまざまなネットワークで使用する際の本機の設定方法を、使用するネットワーク構成ごとに説明します。

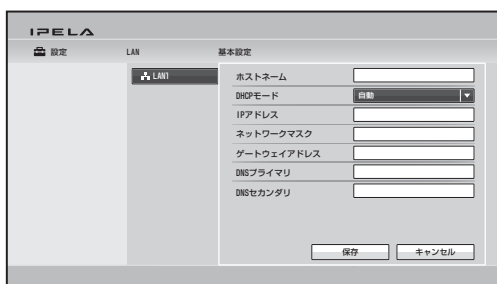
- ◆LAN 設定メニューについて詳しくは、「LAN 設定メニュー」(58 ページ)をご覧ください。
- ◆詳しい設定については、ネットワーク担当者などにご相談ください。

## LAN—DHCP を使用しての接続

### 構成例



LAN 設定メニューの「基本設定」ページで「DHCP モード」を「自動」にします。



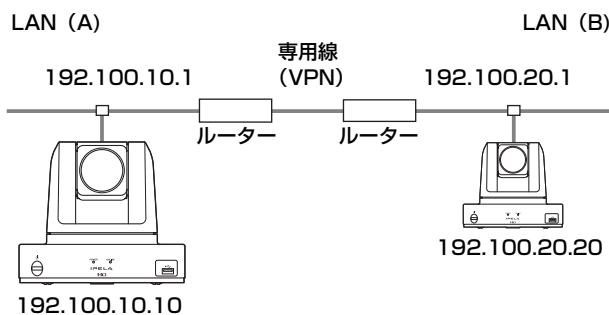
IP アドレスがホームメニューに表示されていれば、正しく設定できています。

### 接続するには

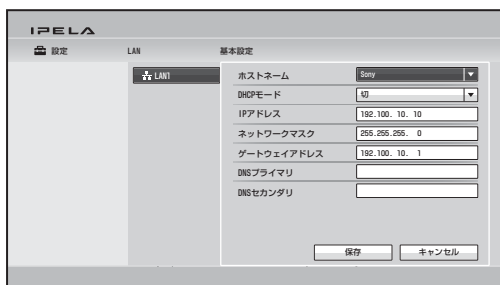
「回線種別」で「IP」を選択し、相手側の IP アドレスを入力して、ダイヤルします。

## LAN—ルーターを介しての接続

### 構成例



LAN 設定メニューの「基本設定」ページで「ホストネーム」に任意の名称を、「IP アドレス」、「ネットワークマスク」、「ゲートウェイアドレス」にそれぞれ適切な値を入力します。



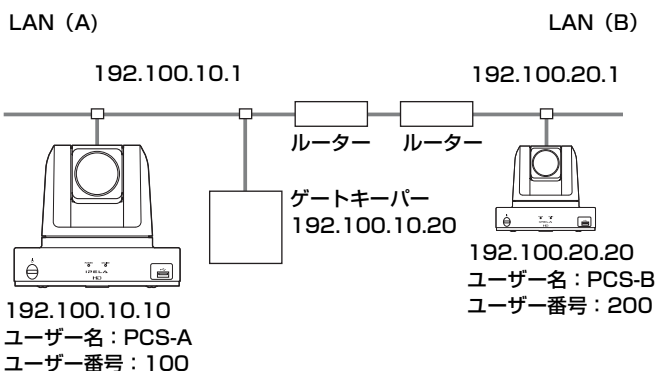
設定した IP アドレスが、ホームメニューに表示されていれば、正しく設定できています。

### 接続するには

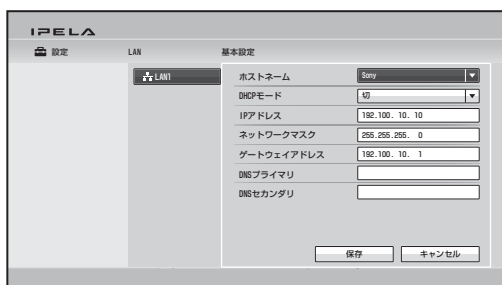
「回線種別」で「IP」を選択し、相手側の IP アドレスを入力して、ダイヤルします。

# LAN—ゲートキーパーを介しての接続

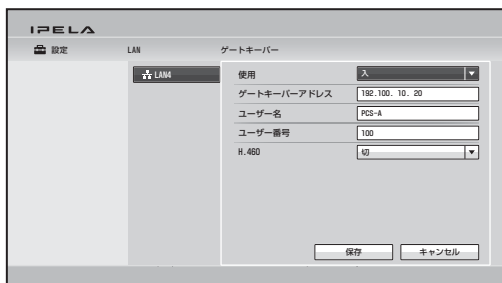
## 構成例



- 1 LAN 設定メニューの「基本設定」ページで「ホストネーム」に任意の名称を、「IP アドレス」、「ネットワークマスク」、「ゲートウェイアドレス」にそれぞれ適切な値を入力する。



- 2 LAN 設定メニューの「ゲートキーパー」ページで「使用」を「入」にし、「ゲートキーパーアドレス」、「ユーザー名」、「ユーザー番号」にそれぞれ適切な値を入力する。



設定した IP アドレスがホームメニューに表示されます。

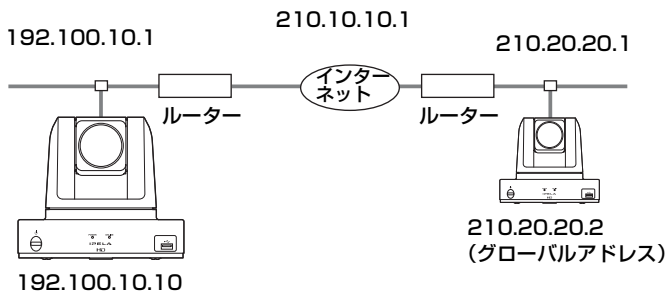
## 接続するには

「回線種別」で「IP」を選択し、相手側で設定した「ユーザー名」または「ユーザー番号」を入力して、ダイヤルします。

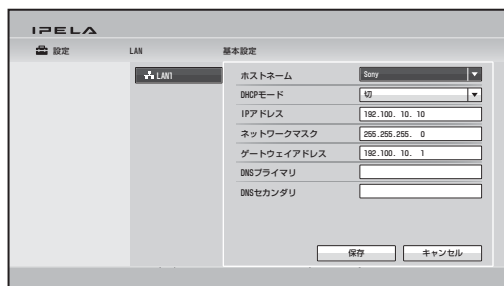
## LAN—NAT 環境での接続

NAT を使用すると、LAN 上の複数のコンピューターが1つの IP アドレスを共有できます。ここでは、NAT 環境とグローバル IP 環境とのビジュアルコミュニケーションのための設定を説明します。

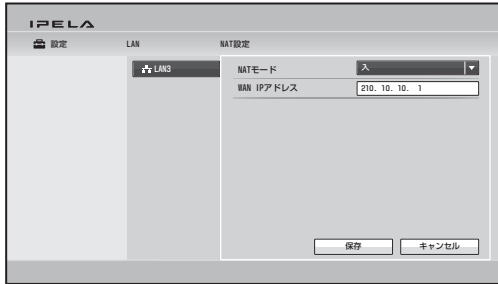
### 構成例



- 1 LAN 設定メニューの「基本設定」ページで「ホストネーム」に任意の名称を、「IP アドレス」、「ネットワークマスク」、「ゲートウェイアドレス」にそれぞれ適切な値を入力する。



## 2 LAN 設定メニューの「NAT 設定」ページで「NAT モード」を「入」、 「WAN IP アドレス」に適切な値を入力する。



ホームメニューに設定した WAN IP アドレスが表示されていれば、正しく設定できています。

ホームメニューに NAT アドレスを表示させるには、ホーム画面設定メニューの「ホーム画面 1」ページ（68 ページ）で「番号表示」を「NAT：アドレス」に設定する必要があります。

## 3 相手側で、LAN 設定メニューの「基本設定」ページと同様に設定する。

### ご注意

相手側は NAT 環境ではないので、LAN 設定メニューの「NAT 設定」ページと同じ設定を行う必要はありません。

---

### 接続するには

「回線種別」で「IP」を選択し、相手側の IP アドレスを入力して、ダイヤルします。

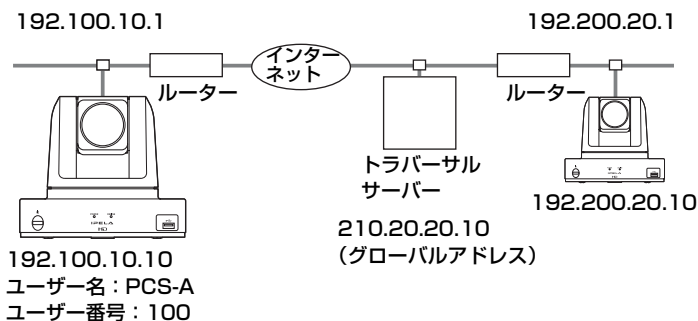
### ご注意

NAT 環境で本機を使用する場合、本機から相手側（グローバル IP）への発信は可能ですが、相手側から本機への発信はルーターの設定を行う必要があります。ルーターの設定について詳しくは、ネットワーク担当者などにご相談ください。

### LAN—H.460 を使用したファイアウォール越えでの接続

H.460 を使用すると、ファイアウォールを越え、別のネットワーク上にある端末と接続することができます。

## 構成例



- 1 LAN 設定メニューの「基本設定」ページで「ホストネーム」に任意の名称を、「IP アドレス」、「ネットワークマスク」、「ゲートウェイアドレス」にそれぞれ適切な値を入力する。

IPELA

設定 LAN 基本設定

LAN1

ホストネーム Sony

DHCPモード Off

IPアドレス 192.100.10.10

ネットワークマスク 255.255.255.0

ゲートウェイアドレス 192.100.10.1

DNSプライマリ

DNSセカンダリ

保存 キャンセル

- 2 LAN 設定メニューの「ゲートキーパー」ページで「H.460」を「入」に設定する。また、「使用」を「入」にし、「ゲートキーパーアドレス」に適切な値を入力する。

IPELA

設定 LAN ゲートキーパー

LAN4

使用 入

ゲートキーパーアドレス 210.20.20.10

ユーザー名 PCS-A

ユーザー番号 100

H.460 入

保存 キャンセル

設定した IP アドレスがホームメニューに表示されます。



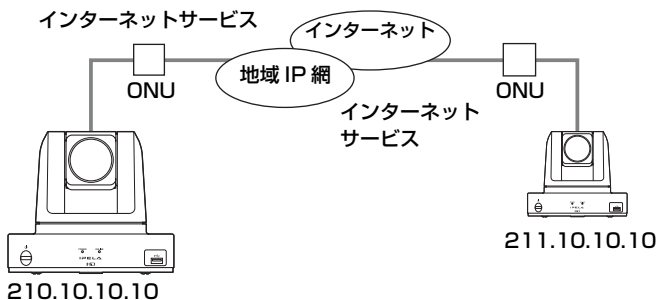
## 接続するには

「回線種別」で「IP」を選択し、相手側の IP アドレスを入力して、ダイヤルします。

## LAN—PPPoE による接続

PPPoE を使用すると、ルーターを使用せずに、インターネットサービスプロバイダーのサービスを利用できます。

### 構成例



- 1 LAN 設定メニューの「PPPoE」ページで「PPPoE」を「入」にし、「ユーザー名」、「パスワード」にそれぞれプロバイダーから取得したものを入力する。

The screenshot shows the IP E.LA configuration interface. The 'LAN' tab is selected, and the 'PPPoE' page is active. The 'LAN2' interface is selected. The configuration fields are as follows:

Field	Value
PPPoE	入
ユーザー名	Sony@aaa.ne.jp
パスワード	abcdefg
固定IP	入
固定IPアドレス	210.10.10.10
DNS	自動取得
DNSプライマリ	
DNSセカンダリ	

Buttons: 保存 (Save), キャンセル (Cancel)

- 2 プロバイダーから固定 IP を取得している場合は、「固定 IP」を「入」にし、「固定 IP アドレス」に取得した IP アドレスを入力する。

ホームメニューに設定した IP アドレスが表示されていれば、正しく設定できています。

### ご注意

プロバイダーによって固定の DNS サーバアドレスが指定されている場合は、「DNS」を「設定する」にし、指定されたアドレスを「DNS プライマリ」、「DNS セカンダリ」に入力してください。

## 3 相手側も同様に設定する。

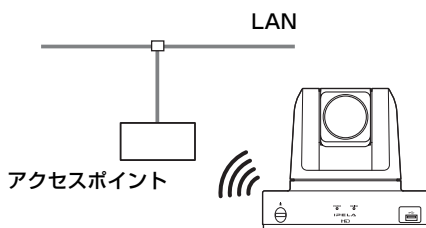
### 接続するには

「回線種別」で「IP」を選択し、相手側の IP アドレスを入力して、ダイヤルします。

### LAN—無線 LAN による接続

別売のワイヤレスモジュール PCSA-WXC1 を本機にインストールすることにより、無線接続ができます。

### 構成例



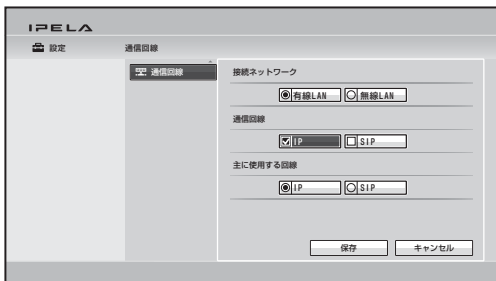
### ご注意

- ・無線ルーターが 802.11b/g/n に対応していない場合、本機との無線接続ができないことがあります。
- ・有線 LAN と無線 LAN を同時に使用することはできません。どちらか一方を選択してください。
- ・別売のワイヤレスモジュール PCSA-WXC1 に同梱されている USB 無線 LAN モジュールを本機に挿入する際は、本機背面の USB 端子を使用してください。
- ・USB 無線 LAN モジュールの挿抜は、本機の電源をオフにした状態で行ってください。

## 無線接続の設定をするには

無線接続の設定は、WPS のボタン方式、WPS の PIN コード方式、手動での接続設定のいずれかの方法で行います。

どの方法で設定する場合も、あらかじめ、通信回線設定メニューの「接続ネットワーク」で「無線 LAN」を選択しておいてください。



### ご注意

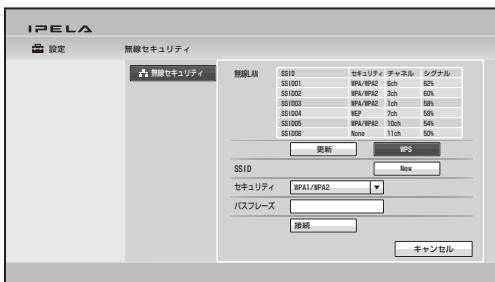
「接続ネットワーク」は別売のワイヤレスモジュール PCSA-WXC1 がインストールされている場合にのみ表示されます。

## WPS のボタン方式で設定するには

無線ルーターの WPS ボタンを押すことで、本機にアクセスポイントの情報を送って接続する方法です。

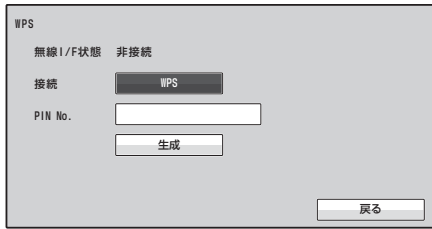
◆無線ルーターが WPS のボタン方式での接続に対応しているかどうかについては、無線ルーターの取扱説明書をご覧ください。

- 1 無線ルーターの WPS ボタンを押す。
- 2 本機の無線セキュリティ設定メニューで「WPS」ボタンをクリックする。



「WPS」ウィンドウが表示されます。

### 3 「WPS」 ウィンドウの「WPS」 ボタンをクリックする。



無線ルーターと本機の接続設定が自動に行われます。接続までは最長で2分掛かります。

「無線 I/F 状態」の表示が「接続済」に変わったら接続完了です。

「接続が確立できません」というメッセージが表示された場合は、無線ルーターとの接続ができていません。無線ルーターの WPS 機能が有効になっていることを確認した上で、再度設定を行ってください。再度設定を行っても接続できない場合は、手動で接続設定を行ってください。

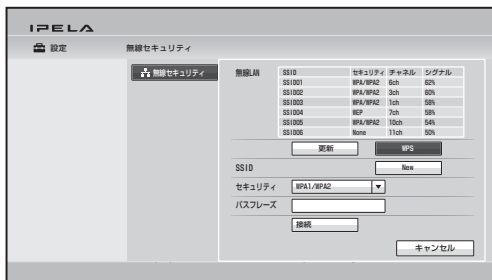
- ◆手動での接続設定について詳しくは、「手動で接続設定をするには」(93 ページ)をご覧ください。

### WPS の PIN コード方式で設定するには

本機で生成した PIN コードを無線ルーター側で入力することで、無線ルーターから本機にアクセスポイントの情報を送って接続する方法です。

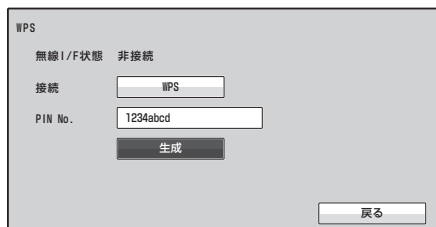
- ◆無線ルーターが WPS の PIN コード方式での接続に対応しているかどうかについては、無線ルーターの取扱説明書をご覧ください。

### 1 本機の無線セキュリティ設定メニューで「WPS」ボタンをクリックする。



「WPS」ウィンドウが表示されます。

## 2 「WPS」ウィンドウの「生成」ボタンをクリックする。



「PIN No.」欄に生成された PIN コード（8 桁）が表示されます。

## 3 無線ルーターに PIN コードを入力する。

◆無線ルーターへの PIN コードの入力方法については、無線ルーターの取扱説明書をご覧ください。

## 4 「WPS」ウィンドウの「WPS」ボタンをクリックする。

無線ルーターと本機の接続設定が自動に行われます。接続までは最長で 2 分掛かります。

「無線 I/F 状態」の表示が「接続済」に変わったら接続完了です。

「接続が確立できません」というメッセージが表示された場合は、無線ルーターとの接続ができていません。無線ルーターの WPS 機能が有効になっていることを確認した上で、再度設定を行ってください。再度設定を行っても接続できない場合は、手動で接続設定を行ってください。

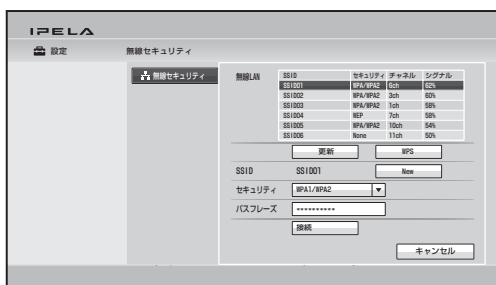
◆手動での接続設定について詳しくは、「手動で接続設定をするには」（93 ページ）をご覧ください。

### 手動で接続設定をするには

無線ルーターで設定したアクセスポイントの情報を本機に直接入力して接続する方法です。この方法で接続するには、アクセスポイントの SSID、暗号化方式、パスワードなどの情報が必要です。

◆アクセスポイントの情報については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

無線セキュリティ設定メニューのSSID リストから接続したいアクセスポイントを選択し、「セキュリティ」、「パスワード」を入力したら、「接続」ボタンをクリックします。



アクセスポイントによってはSSIDをネットワーク上に公開していないことがあります。

SSIDを公開していないアクセスポイントは、SSIDリストに表示されません。

SSIDを公開していないアクセスポイントに接続したい場合は、「New」ボタンをクリックし、表示されたウィンドウでSSIDを入力してください。

---

## 信号強度が不足している場合の対処

無線ルーターからの信号を本機が受信する際、信号強度が不足していると接続が途切れやすくなります。

無線セキュリティ設定メニューのSSIDリストを確認し、接続したいSSIDの「シグナル」欄の数値が60%を下回っている場合は、以下の対処を行って改善してください。

- ・本機の設置場所を変える。
- ・無線ルーターのアンテナの向きを変える（本機側に向ける）。
- ・無線ルーターの設置場所を変える。

対処後は、SSIDリストを更新して信号強度が改善されているかどうか確認してください。

---

## 接続するには

「回線種別」で「IP」を選択し、相手側のIPアドレスを入力して、ダイヤルします。

# ネットワーク導通確認について

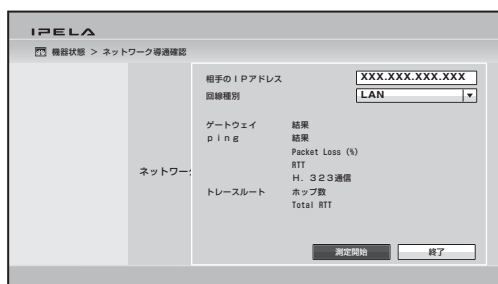
相手と接続する前に、通信がスムーズにできるようにあらかじめネットワークの導通を確認しておくことができます。

- ◆ ネットワーク導通確認にはネットワークに関する知識が必要です。ネットワーク担当者またはお買い上げ店にご相談ください。
- ◆ 確認結果について不明な点は、ネットワーク担当者またはお買い上げ店にご相談ください。

## ネットワーク導通確認を始めるには

本機側（導通確認を行う側）の機器状態メニューの「ネットワーク導通確認」メニューを表示し、各項目を設定します。

「測定開始」を選ぶと、ネットワーク導通確認が始まります。



- ◆ 「ネットワーク導通確認」メニューの表示のしかたは、「機器状態を表示する」(77 ページ) をご覧ください。

### ご注意

ネットワーク導通確認中は、通信を含む他の機能は使用できません。確認が終わると「ネットワーク導通確認」メニューに結果が表示されます。

# ソフトウェアオプションを追加する

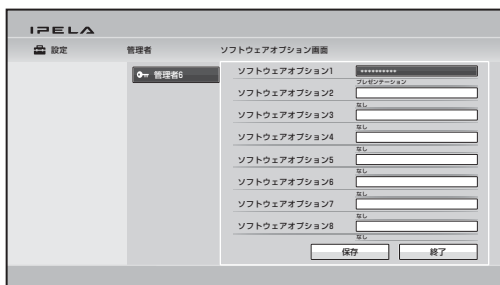
ソフトウェアオプションは、管理者設定メニューまたは Web ページから追加することができます。

管理者設定メニューからソフトウェアオプションを追加するには

**1 管理者設定メニューの「ソフトウェアオプション画面 1（管理者 6）」ページを表示する。**

**2 追加したいソフトウェアオプションのキーを入力する。**

入力したキーが正しいものと本機に認識された場合は、入力欄の下にそのソフトウェアオプションの名称が表示されます。また、認識されると、入力したソフトウェアオプションキーは\*の表示に切り替わります。



◆ソフトウェアオプションキーについては販売店にお問い合わせください。

## ご注意

- ・ソフトウェアオプションは最大で8つ登録できます。
- ・ソフトウェアオプションキーが本機に認識された後は、ソフトウェアオプションキーを消すことはできません。
- ・本機のソフトウェアをバージョンアップした場合も、ソフトウェアオプションのインストール記録は保持されます。

Web ページからソフトウェアオプションを追加するには

**1 PC の Web ブラウザから本機にアクセスします。**

◆本機へのアクセス方法は6章「Web 機能」をご覧ください。

**2 Web ページ上部の「Setup」をクリックする。**

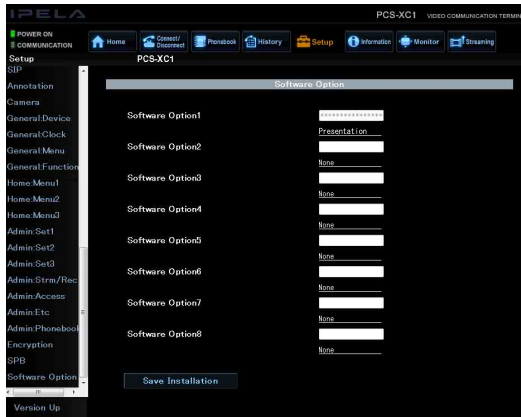


### 3 左側に表示される「Software Option」をクリックする。

Software Option 画面が表示されます。

### 4 追加したいソフトウェアオプションのキーを入力する。

入力したキーが正しいものと本機に認識された場合は、入力欄の下にそのソフトウェアオプションの名称が表示されます。また、認識されると、入力したソフトウェアオプションキーは\*の表示に切り替わります。



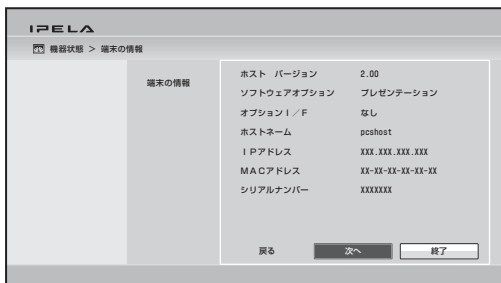
◆ソフトウェアオプションキーについては販売店にお問い合わせください。

#### ご注意

- ソフトウェアオプションは最大で8つ登録できます。
- ソフトウェアオプションキーが本機に認識された後は、ソフトウェアオプションキーを消すことはできません。
- システムログ、設定ファイルにもソフトウェアオプションキーは表示されません。
- 本機のソフトウェアをバージョンアップした場合も、ソフトウェアオプションのインストール記録は保持されます。

## ソフトウェアオプションが正しくインストールされたことを確認するには

機器状態メニューの「端末の情報」ページ、「ソフトウェアオプション」にインストールされたソフトウェアが表示されます。



◆詳しくは、「端末の情報」(79 ページ)をご覧ください。

# 3章

## 基本的な接続

この章では、管理者が2章のシステムの登録と設定をすませていることを前提に、基本的な接続のしかたを説明します。

この章では、LANまたはSIPを使って接続する2地点間のコミュニケーションのしかたを説明します。

◆別売の機器を使った接続を行うには、4章をご覧ください。

◆暗号化接続を行うには、5章をご覧ください。

---

### 自分側から接続を始める

自分側から接続するときは、接続する相手にダイヤルします。相手とつながると、通常の電話で音声による会話を行うのと同じように、映像と音声によるコミュニケーションが始まります。

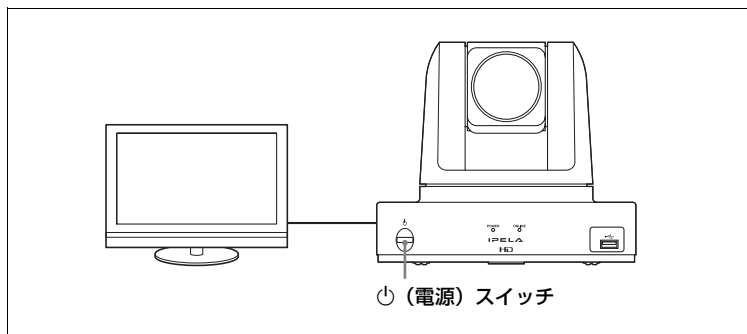
まず、相手呼び出す方法を説明します。

次の方法で相手呼び出すことができます。ホームメニューの設定や接続する状況によって便利な方法をご利用ください。

- ・接続メニューで相手呼び出す（100ページ）
- ・直接、相手の番号を入力して呼び出す（ダイレクトダイヤル）（102ページ）
- ・ワンタッチダイヤルボタンから相手呼び出す（103ページ）
- ・通信履歴から相手呼び出す（104ページ）
- ・アドレス帳に登録している相手呼び出す（106ページ）
- ・詳細接続メニューを設定して、アドレス帳に登録していない相手呼び出す（108ページ）

## 電源を入れる

- 1 モニター用テレビの電源を入れる。
- 2 使用するその他の機器の電源を入れる。
- 3 本機の  $\text{⏻}$ （電源）スイッチを押して電源を入れる。



電源が入ると POWER ランプが点灯します。

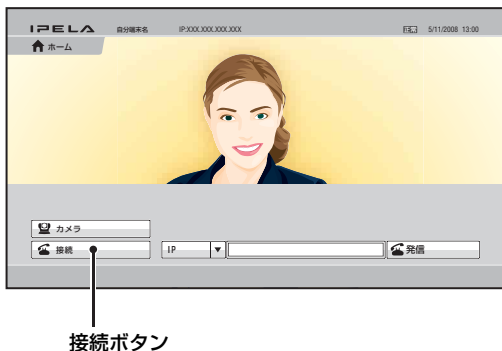
モニター用テレビにはホームメニューが表示され、自分側のカメラが写している映像も表示されます。

### で注意

電源が入ると、カメラが動作テストを行います。指を挟まないようご注意ください。

## 接続メニューで相手呼び出す

ホームメニューで「接続」ボタンが表示されているときにこの方法が利用できます。



- 1 リモコンの ↑/↓/←/→ ボタンでホームメニューの「接続」を選び、決定ボタンを押す。**

接続メニューが表示されます。



- 2 リモコンの ↑/↓/←/→ ボタンで相手の呼び出し方を選び、決定ボタンを押す。**

選んだ呼び出し方に応じて、画面が切り替わります。

**番号を入力する：**詳細接続メニューが画面に表示されます。

◆引き続き、「アドレス帳に登録していない相手呼び出す」(108 ページ) をご覧ください。

**アドレス帳から選ぶ：**アドレス帳が画面に表示されます。

◆引き続き、「アドレス帳に登録している相手呼び出す」(106 ページ) をご覧ください。

**履歴から選ぶ：**通信履歴が画面に表示されます。

◆引き続き、「通信履歴から相手呼び出す」(104 ページ) をご覧ください。

## 直接、相手の番号を入力して呼び出す（ダイレクトダイヤル）

ホーム画面設定メニューの「ダイレクトダイヤル」が「入」に設定してあるとき、ホームメニューにダイレクトダイヤル用の番号入力欄や「発信」ボタンが表示され、ダイレクトダイヤル機能を使うことができます。



- 1 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンでホームメニューの「回線種別」を選び、決定ボタンを押す。
- 2 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで回線の種類を選び、決定ボタンを押す。  
IP：品(LAN) 端子に接続した LAN を介して接続する場合。
- 3 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで番号入力欄を選び、決定ボタンを押す。
- 4 リモコンの数字ボタンで相手の IP アドレスを入力し、決定ボタンを押す。

### ご注意

通信回線設定メニューの「通信回線」で「SIP」にチェックマークをつけているときは、回線種別で「SIP」が選択できます。

### ヒント

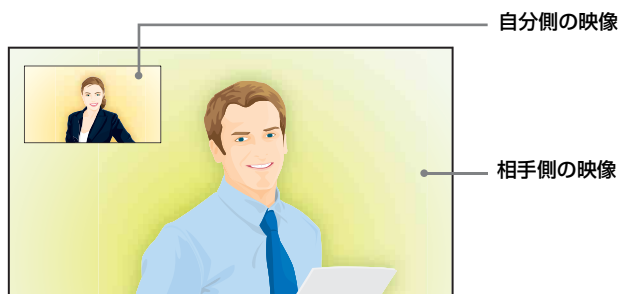
SIP の場合、相手を指定するときのアドレスには以下のような形式があります。

- ・ 4000 (SIP サーバーから割り当てられた番号)
- ・ 4000@sip.com

・ 192.168.1.1 (IP アドレス、SIP サーバーを使用しない場合)

## 5 リモコンの接続 (☎) ボタンを押す。またはリモコンの ▲/▼/◀/▶ ボタンで「発信」を選び、決定ボタンを押す。

手順4で入力したIPアドレスまたは回線番号への接続が始まります。モニター画面に「発信中」と表示されます。相手側とつながると「接続しました」と表示され、相手側の映像がモニター画面に表示されます。これで相手とコミュニケーションを始めることができます。



### 相手につながる前にダイヤルを中止するには

モニター画面に「発信中」と表示されている間に、リモコンの切断 (☎) ボタン、または、リモコンの決定ボタンを押してください。

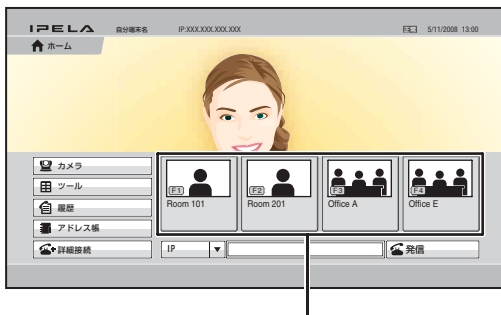
## ワンタッチダイヤルボタンから相手を呼び出す

ホーム画面設定メニューの「ワンタッチダイヤル」が「入」に設定してあるとき、ホームメニューにワンタッチダイヤルボタンが表示され、ワンタッチダイヤル機能を使うことができます。

◆ワンタッチダイヤルの登録のしかたは、「アドレス帳に相手を登録する」(114 ページ) をご覧ください。

1 ホームメニューを表示する。


2 リモコンの F1 ~ F4 ボタン (ファンクションボタン) で、呼び出したい相手が登録されてワンタッチダイヤルボタンの番号を選ぶ。または、リモコンの ▲/▼/◀/▶ ボタンでホームメニューのワンタッチダイヤルボタンを選択し、決定ボタンを押す。表示されるサブメニューから ▲/▼/◀/▶ ボタンを使って「接続」を選び、決定ボタンを押す。











ワンタッチダイヤルボタン

選んだ相手にダイヤルが始まります。モニター画面に「発信中」と表示されます。相手側とつながると「接続しました」と表示され、相手側の映像がモニター画面に表示されます。これで相手とコミュニケーションを始めることができます。

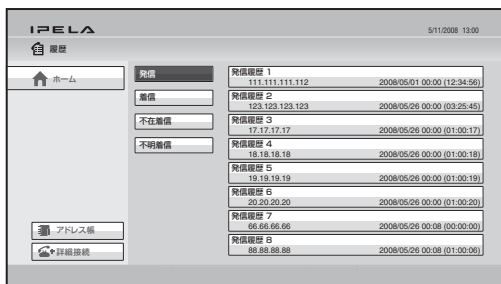
### 相手につながる前にダイヤルを中止するには

モニター画面に「発信中」と表示されている間に、リモコンの切断（) ボタン、または、リモコンの決定ボタンを押してください。

## 通信履歴から相手呼び出す

- 1 リモコンの  /  /  /  ボタンでホームメニューの「履歴」を選び、決定ボタンを押す。または、 /  /  /  ボタンと決定ボタンでホームメニューの「接続」ボタンを選び、表示される接続メニューの「履歴から選ぶ」を選ぶ。

履歴メニューが表示されます。



### ヒント

履歴メニューは、アドレス帳や詳細接続メニューの「履歴」を選んで表示することもできます。

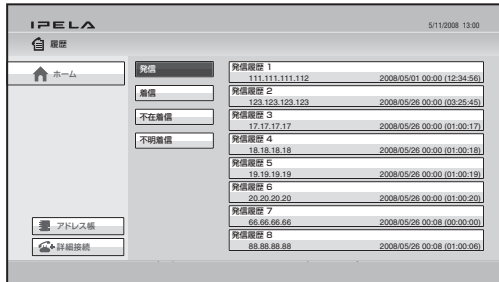


- 2 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで「発信」（発信履歴）、「着信」（着信履歴）、「不在着信」（不在時の着信履歴）、「不明着信」（不明着信拒否機能で着信拒否した履歴）のいずれかを選び、決定ボタンまたは **▶** ボタンを押す。

選んだ履歴が表示されます。

#### ご注意

「不明着信」から相手呼び出すことはできません。



- 3 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで呼び出したい相手を選ぶ。

- 4 リモコンの接続 (**☎**) ボタンを押す。または決定ボタンを押し、表示されるサブメニューから **↑/↓/←/→** ボタンを使って「接続」を選び、決定ボタンを押す。

選んだ相手にダイヤルが始まります。モニター画面に「発信中」と表示されます。相手側とつながると「接続しました」と表示され、相手側の映像がモニター画面に表示されます。これで相手とコミュニケーションを始めることができます。

#### ご注意

「不明着信」から相手呼び出すことはできません。

### 相手につながる前にダイヤルを中止するには

モニター画面に「発信中」と表示されている間に、リモコンの切断 (**☎**) ボタン、または、リモコンの決定ボタンを押してください。

#### ヒント

履歴のサブメニューでは次の操作ができます。

「キャンセル」：履歴の選択を中止します。

「編集」：アドレス帳のリスト編集メニューが表示されます。

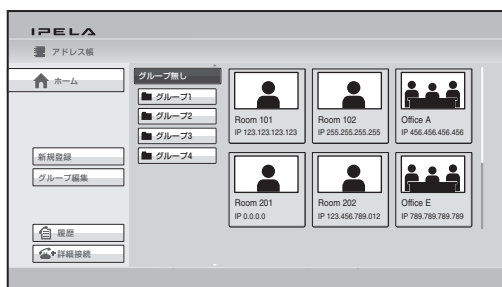
「削除」：選択した履歴を1件、削除します。


## アドレス帳に登録している相手呼び出す

◆アドレス帳への登録のしかたは、「アドレス帳に相手を登録する」(114ページ)をご覧ください。

- 1 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンでホームメニューの「アドレス帳」を選び、決定ボタンを押す。または、**↑/↓/←/→** ボタンと決定ボタンでホームメニューの「接続」ボタンを選び、表示される接続メニューの「アドレス帳から選ぶ」を選ぶ。

アドレス帳が表示されます。



- 2 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで呼び出したい相手が登録されているグループを選び、決定ボタンを押す。
- 3 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで呼び出したい相手を選ぶ。
- 4 リモコンの接続 (  ) ボタンを押す。または決定ボタンを押し、表示されるサブメニューから **↑/↓/←/→** ボタンで「接続」を選び、決定ボタンを押す。



選んだ相手にダイヤルが始まります。モニター画面に「発信中」と表示されます。相手側とつながると「接続しました」と表示され、相手側の映像がモニター画面に表示されます。これで相手とコミュニケーションを始めることができます。

## 相手につながる前にダイヤルを中止するには

モニター画面に「発信中」と表示されている間に、リモコンの切断 (⏏) ボタン、またはリモコンの決定ボタンを押してください。

## アドレス帳の表示方法を切り換えるには

リモコンの F1 ボタンを押すたびに、サムネイル表示と一覧表示に交互に切り替わります。

## アドレス帳の表示順を切り換えるには

リモコンの F2 ボタンを押すたびに、相手の名前がアスキーコード (アルファベット) 順と逆順に交互に切り替わります。

## 通信中にアドレス帳を表示するには

通信中にリモコンの # ボタンを押すと、アドレス帳が表示されます。

---

## プライベートアドレス帳から相手呼び出すには

### 1 プライベートアドレス帳が作成されている USB メモリーを USB 端子に差し込む。

アドレス帳の内容がプライベートアドレス帳に切り換わります。

#### ご注意

本機前面の USB 端子には、小さな USB デバイスを差し込まないでください。端子からデバイスを取りはずせなくなる可能性がありますので、背面の USB 端子をご利用ください。

### 2 ホームメニューの「プライベートアドレス帳」を選び、決定ボタンを押す。

### 3 リモコンの ↑/↓/←/→ ボタンでプライベートアドレス帳から呼び出したい相手を選ぶ。

### 4 リモコンの接続 (📶) ボタンを押す。または決定ボタンを押し、表示されるサブメニューから ↑/↓/←/→ ボタンで「接続」を選び、決定ボタンを押す。

選んだ相手にダイヤルされます。

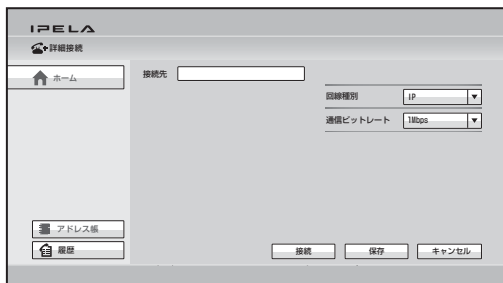
#### ヒント

プライベートアドレス帳の自動発信機能が「入」になっているときは、USB メモリーを差し込むだけで自動的にダイヤルが始まります。

## アドレス帳に登録していない相手呼び出す


- 1 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンでホームメニューの「詳細接続」を選び、決定ボタンを押す。または、**↑/↓/←/→** ボタンと決定ボタンでホームメニューの「接続」ボタンを選び、表示される接続メニューの「番号を入力する」を選ぶ。

詳細接続メニューが表示されます。



- 2 使用する回線種別を選ぶ。

リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで「回線種別」ボタンを選び、決定ボタンを押すと、選択項目が表示されます。**↑/↓/←/→** ボタンで使用する回線種別を選び、決定ボタンを押してください。

IP：  (LAN) 端子に接続した LAN を介して接続する場合。

### ご注意

通信回線設定メニューの「通信回線」で「SIP」にチェックマークをつけているときは、回線種別で「SIP」が選択できます。

- 3 使用する LAN を設定する。

- ① IP アドレス入力欄に相手の IP アドレスを入力する。

リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで IP アドレス入力欄を選び、決定ボタンを押します。その後、リモコンの数字ボタンまたはソフトキーボードで IP アドレスを入力し、決定ボタンを押します。  
DNS サーバー使用時はホスト名とドメイン名（例 host.domain）、ゲートキーパー使用時は相手側の LAN 設定メニューに登録してあるユーザー名やユーザー番号を IP アドレス入力欄に入力し、決定ボタンを押します。

## ヒント

- ・ 管理者設定メニューの「インターネットプロトコル」が「IPv4」に設定されている場合は、▶ ボタンまたはドットボタンで「.」（ドット）が入力できます。
- ・ 管理者設定メニューの「インターネットプロトコル」が「IPv6」に設定されている場合は、▶ ボタンまたはドットボタンで「:」（コロン）が入力できます。
- ・ 入力する文字をまちがえたときは、一文字削除ボタンで最後に入力した文字を消します。
- ・ 入力した IP アドレスを消去したいときは、リモコンの戻るボタンを押すか、ソフトキーボードの中止ボタンを選んでリモコンの決定ボタンを押します。

### ② 通信ビットレートを選択する。

リモコンの ▲/▼/◀/▶ ボタンで「通信ビットレート」を選び、決定ボタンを押すと、選択項目が表示されます。▲/▼/◀/▶ ボタンで選択項目を選び、決定ボタンを押します。

## 4 リモコンの接続 (☎) ボタンを押す。またはリモコンの ▲/▼/◀/▶ ボタンでメニュー下部の「接続」を選び、決定ボタンを押す。

手順3で入力した IP アドレスにダイヤルが始まります。モニター画面に「発信中」と表示されます。相手側とつながると「接続しました」と表示され、相手側の映像がモニター画面に表示されます。これで相手とコミュニケーションを始めることができます。

### 相手につながる前にダイヤルを中止するには

モニター画面に「発信中」と表示されている間に、リモコンの切断 (☎) ボタン、または、リモコンの決定ボタンを押してください。

### 入力した番号をアドレス帳に保存するには

IP アドレスを入力すると、メニュー下部に「保存」ボタンが表示されます。リモコンの ▲/▼/◀/▶ ボタンで「保存」を選び、決定ボタンを押してください。リスト編集メニューが表示されるので、入力した番号をアドレス帳に保存してください。

- ◆ リスト編集メニューについて詳しくは、「アドレス帳に相手を登録する」(114 ページ) をご覧ください。

## リダイヤルするには

詳細接続メニューを使用してダイヤルすると、次に詳細接続メニューを表示したときに、前回ダイヤルした番号がIPアドレス入力欄に入力された状態になっています。(リダイヤル機能)

### ご注意

下記の場合は、リダイヤル機能は働きません。

- ・電源を切ったり、スタンバイ状態にしたとき。
- ・IPアドレスを入力してもダイヤルしなかったとき。

## 相手から接続される

相手から呼び出しを受けたとき（着信）、手動着信に設定してあるか、自動着信に設定してあるかによって、操作の方法が異なります。

### ご注意

お買い上げ時には、手動着信に設定されています。

## 呼び出しの受け方（手動着信 / 自動着信）

### 手動着信

呼び出しを受けると、呼び出し音が鳴ります。回線をつなぐ操作をすることにより接続が始まります。

接続してよいか確認をしてから相手とつながることができます。

### 自動着信

相手からの呼び出しを自動的に受け、接続を始めます。

いちいち操作をする手間が省けますが、自動的につながってしまうので、準備をしていないときでも、自分側の様子がすぐに相手側に伝わってしまいます。

### ご注意

- ・ 本機の電源が入っていないと、着信できません。
- ・ モニター用テレビの電源が入っていることも確認してください。

◆着信方法の設定については、着信設定メニューの「自動着信」（53 ページ）をご覧ください。

## 相手から呼び出される

### 手動着信のときは

相手から呼び出しを受けると、呼び出し音が鳴り、モニター画面に「着信があります。応答しますか?」というメッセージが表示されません。

リモコンの **▲/▼/◀/▶** ボタンを押して「OK」を選び、決定ボタンを押してください。

回線の接続が始まります。

接続すると、相手の映像がモニター画面に映り、相手の音声も聞こえるようになります。この時点でこちらの映像と音声相手に送られます。

モニター画面には「接続しました」と表示されます。

これで相手とコミュニケーションを始めることができます。

### ヒント

通信中に音声やカメラを調節する方法は、125～134ページをご覧ください。

### 回線をつなぎたくないときは

リモコンの▲/▼/◀/▶ ボタンで「キャンセル」を選び、決定ボタンを押してください。呼び出し音が止まります。

---

### 自動着信のときは

相手から呼び出しを受けると、呼び出し音が鳴り、モニター画面に「着信中」と表示されます。

自動的に接続すると、相手の映像がモニター画面に映り、相手の音声も聞こえるようになります。この時点でこちらの映像と音声相手に送られます。

モニター画面には「接続しました」と表示されます。

これで相手とコミュニケーションを始めることができます。



### ヒント

通信中に音声やカメラを調節する方法は、125～134ページをご覧ください。



---

## 接続を終了する

- 1 リモコンの切断 (⏻) ボタンを押す。  
モニター画面に「切断しますか?」と表示されます。
- 2 リモコンの切断 (⏻) ボタンをもう一度押す。またはリモコンの  
⬆️/⬇️/⬅️/➡️ ボタンで「OK」を選び、決定ボタンを押す。  
これで、回線が切れます。

### ご注意

回線を切っても、本機の電源は入ったままです。

### 回線を切らないときは

リモコンの ⬆️/⬇️/⬅️/➡️ ボタンで「キャンセル」を選び、決定ボタンを押してください。

---

## 接続していた相手をアドレス帳に登録するには

一般設定メニューの「機器設定」ページで「会議終了後のリスト登録」が「入」に設定されていれば、通信終了後に相手がアドレス帳に登録されていない場合、「この相手をリストに登録しますか?」のメッセージが表示されます。「OK」を選ぶとリスト編集メニューが表示されます。

### ご注意

「会議終了後のリスト登録」が「切」になっていると、このメッセージは表示されません。

- ◆ 詳しくは、一般設定メニューの「会議終了後のリスト登録」(65 ページ)をご覧ください。

# アドレス帳に相手を登録する

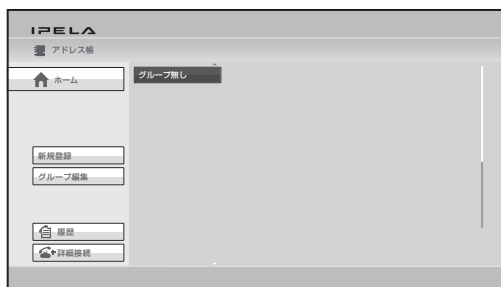
アドレス帳に相手の電話番号や IP アドレスなどを登録しておくことで、簡単にダイヤルすることができます。本機のアドレス帳には 1000 件までの相手を登録できます。各リストに静止画（相手の写真など）を登録しておくこともできます。

また、本機のアドレス帳とは別に、USB メモリーにプライベートアドレス帳を作ることもできます。

## 新しい相手を登録する

- 1 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンでホームメニューの「アドレス帳」を選び、決定ボタンを押す。または、**↑/↓/←/→** ボタンと決定ボタンでホームメニューの「接続」ボタンを選び、表示される接続メニューの「アドレス帳から選ぶ」を選ぶ。

アドレス帳が表示されます。



### ヒント

アドレス帳は、履歴メニューや詳細接続メニューから「アドレス帳」を選んで表示することもできます。

- 2 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで「新規登録」を選び、決定ボタンを押す。

リスト編集メニューが表示されます。



### 3 リスト編集メニューの各項目を設定する。

リモコンの ▲/▼/◀/▶ ボタンと決定ボタンで設定項目を選びます。

入力するときは、リモコンの数字ボタンまたはソフトキーボードを使って入力し、決定ボタンを押します。

選択するときは、▲/▼/◀/▶ ボタンで選択項目を選び、決定ボタンを押します。

#### 名前

相手の名前を入力します。

半角 39 文字以内のカナ、英数字、記号で入力できます。

#### グループ選択

アドレス帳のグループを選びます。

#### 接続先

「回線種別」の選択に応じ、相手の IP アドレスや回線番号を入力します。

**回線種別で「IP」を選んだとき：**相手の IP アドレスを入力します。

DNS サーバー使用時はホスト名とドメイン名（例 host.domain）、ゲートキーパー使用時はユーザー名やユーザー番号（60 ページ）を入力してください。

**回線種別で「SIP」を選んだとき：**相手の IP アドレスや SIP サーバーから割り当てられた番号を入力します。

SIP で相手を指定するときのアドレスには以下のような形式があります。

- ・ 4000 (SIP サーバーから割り当てられた番号)
- ・ 4000@sip.com
- ・ 192.168.1.1 (IP アドレス、SIP サーバーを使用しない場合)

## アイコン／画像

アドレス帳に表示するアイコンまたは USB メモリーの静止画を選びます。

### ご注意

静止画が保存されている USB メモリーが本機に挿入されていないときは、静止画を選ぶことはできません。

## ワンタッチ指定

ホームメニューにワンタッチダイヤルボタンを作成するかどうかを選びます。

ファンクションキーの番号を F1、F2、F3、F4 から選択します。

## 回線種別

相手との接続に使用する回線インターフェースを選びます。IP、SIP から選択します。この設定により、リスト編集画面の設定項目が切り替わります。

### ご注意

通信回線設定メニューの「通信回線」で「SIP」にチェックマークをつけているときは、回線種別で「SIP」が選択できます。

## 通信ビットレート

「回線種別」で「IP」を選択したとき、通信ビットレートを選びます。

## 自動発信

プライベートアドレス帳（121 ページ）のときのみ設定します。「入」にすると、USB メモリーを入れるだけでこのリストの相手に自動発信します。

## 4 リモコンの ↑/↓/←/→ ボタンで「保存」を選び、決定ボタンを押す。

設定した内容が登録されます。

### ご注意

アドレス帳に登録していない相手との接続終了時には、その相手をアドレス帳に登録できます。そのとき、「名前」には IP アドレスまたは回線番号が表示されますので、必要に応じて変更してください。

## 発信の詳細を設定するには

発信設定メニューの「詳細設定」を「入」に設定しているときは、リスト編集メニュー下部に「詳細設定」ボタンが表示されます。リモコンの▲/▼/◀/▶ボタンで「詳細設定」を選び、決定ボタンを押すと、発信の詳細設定メニューが表示され、他の設定を変更することができます。

### ご注意

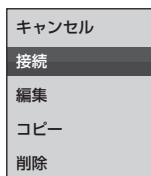
- ・発信設定メニューの「詳細設定」は、本機上では設定できません。Web機能でのみ設定できます。
- ・リスト編集メニューの「詳細設定」で設定した内容は発信設定メニューで設定した内容よりも優先されます。

## アドレス帳を編集する

アドレス帳に登録してある電話番号やIPアドレス、名前、設定を編集することができます。

- 1 アドレス帳を表示する。
- 2 リモコンの▲/▼/◀/▶ボタンで修正したい相手を選び、決定ボタンを押す。

サブメニューが表示されます。



- 3 リモコンの▲/▼/◀/▶ボタンで「編集」を選び、決定ボタンを押す。  
リスト編集メニューが表示されます。
- 4 IPアドレス、名前、設定を修正する。
- 5 リモコンの▲/▼/◀/▶ボタンで「保存」を選び、決定ボタンを押す。  
登録内容の修正が完了します。

## アドレス帳を 1 件コピーする

- 1 アドレス帳を表示する。
- 2 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンでコピーしたい相手を選び、決定ボタンを押す。  
サブメニューが表示されます。
- 3 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで「コピー」を選び、決定ボタンを押す。  
選んだ相手がコピーされ、元の名前のうしろに「-2」が追加されます。設定はすでにコピーされているので、変更したい項目だけ修正して使用することができます。

## 登録した相手を削除する

- 1 アドレス帳を表示する。
- 2 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで削除したい相手を選び、決定ボタンを押す。  
サブメニューが表示されます。
- 3 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで「削除」を選び、決定ボタンを押す。  
「リストを削除しますか？」という確認のメッセージが表示されます。
- 4 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで「OK」を選び、決定ボタンを押す。  
選んだ相手が削除されます。

### 削除を中止するとき

手順 4 で「キャンセル」を選び、決定ボタンを押す。

## アドレス帳にグループを作る（グループ編集）

アドレス帳にグループを作り、登録した相手をグループ分けすることができます。

---

### 新しいグループを登録するには

- 1 アドレス帳を表示する。

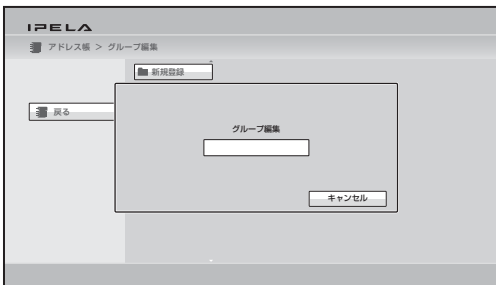
**2** リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで「グループ編集」を選び、決定ボタンを押す。

アドレス帳>グループ編集メニューが表示されます。



**3** リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで「新規登録」を選び、決定ボタンを押す。

グループ名入力メニューが表示されます。



**4** リモコンの数字ボタンまたはソフトキーボードを使ってグループ名を入力し、決定ボタンを押す。

カタカナ、英数字、記号で入力できます。

**5** リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで「保存」を選び、決定ボタンを押す。

登録したグループのボタンが表示されます。



- 6 リモコンの  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  ボタンで「戻る」を選び、決定ボタンを押す。

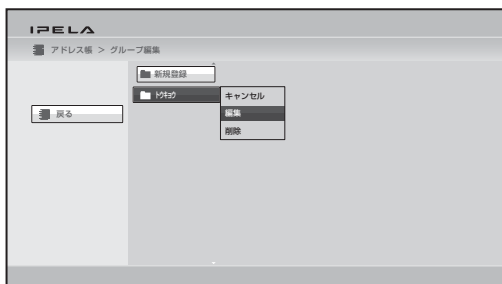
アドレス帳に戻ります。

---

## グループ名を変更するには

- 1 アドレス帳>グループ編集メニューを表示し、リモコンの  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  ボタンで名前を変更したいグループボタンを選び、決定ボタンを押す。

サブメニューが表示されます。



- 2 リモコンの  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  ボタンでサブメニューから「編集」を選び、決定ボタンを押す。

グループ名の入力メニューが表示されます。

- 3 リモコンの数字ボタンまたはソフトキーボードを使ってグループ名を変更し、決定ボタンを押す。

- 4 リモコンの  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  ボタンで「保存」を選び、決定ボタンを押す。



グループ名が変更されたボタンがアドレス帳＞グループ編集メニューに表示されます。

#### **ヒント**

グループ編集のサブメニューでは、次の操作もできます。

「キャンセル」：グループボタンの選択を中止します。

「削除」：グループに1件も登録されていない場合、そのグループを削除します。

#### **ご注意**

相手が登録されているグループボタンは削除できません。

## プライベートアドレス帳を作成する

USB メモリーに自分専用のアドレス帳（プライベートアドレス帳）を作成することができます。一度作成すると、本機に USB メモリーを入れるだけでプライベートアドレス帳に切り換わります。また、USB メモリーを入れるだけでプライベートアドレス帳に登録した相手の1つに自動発信させることもできます。

#### **ご注意**

本機前面の USB 端子には、小さな USB デバイスを差し込まないでください。端子からデバイスを取りはずせなくなる可能性がありますので、背面の USB 端子をご利用ください。

---

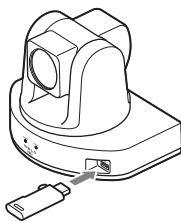
## プライベートアドレス帳に相手を登録するには

### 1 プライベートアドレス帳を記憶させたい USB メモリーを USB 端子に差し込む。

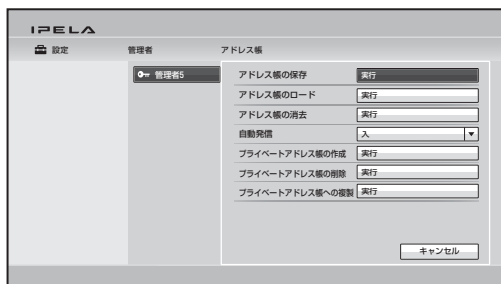
USB メモリーの上面に書いてある矢印の向きに差し込んでください。

#### **ご注意**

本機前面の USB 端子には、小さな USB デバイスを差し込まないでください。端子からデバイスを取りはずせなくなる可能性がありますので、背面の USB 端子をご利用ください。



## 2 管理者設定メニューの「アドレス帳」ページを表示する。



◆メニューの表示のしかたは、「設定メニューを表示する」(47 ページ)をご覧ください。

## 3 「プライベートアドレス帳の作成」を選ぶ。

USB メモリーに空の「プライベートアドレス帳」フォルダと空のファイルが作成されます。

## 4 相手を新規登録する。

登録のしかたは、本体のアドレス帳の場合と同じです。「新しい相手を登録する」(114 ページ) の手順 2～4 をご覧ください。

プライベートアドレス帳の編集のしかたや、プライベートアドレス帳に登録した相手を削除したり、アドレス帳を 1 件コピーしたりする方法も、本体のアドレス帳の場合と同じです。プライベートアドレス帳を画面に表示した状態で、117 ページの操作をしてください。

---

### 本体のアドレス帳をプライベートアドレス帳として複製するには

プライベートアドレス帳を記憶させたい USB メモリーを USB 端子に差し込み、管理者設定メニューで「プライベートアドレス帳への複製」を選びます。本体に登録されているアドレス帳が USB メモリーに複製されます。

---

## USB メモリーからプライベートアドレス帳を削除するには

削除したいプライベートアドレス帳が登録されている USB メモリーを USB 端子に差し込み、管理者設定メニューで「プライベートアドレス帳の削除」を選びます。プライベートアドレス帳が USB メモリーから削除されます。

---

## プライベートアドレス帳の相手の 1 つに自動発信するには

管理者設定メニューで「自動発信」を「入」にして、リスト編集メニューで以下のように設定しておくことで USB メモリーを入れるだけでプライベートアドレス帳に登録した相手の 1 つに自動的に発信できます。

- 1 プライベートアドレス帳を表示する。
- 2 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで自動発信したい相手を選び、**決定ボタン**を押す。
- 3 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで「編集」を選び、**決定ボタン**を押す。  
リスト編集メニューが表示されます。
- 4 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンで「自動発信」の「入」を選び、**決定ボタン**を押す。  
設定が登録され、プライベートアドレス帳に「AUTO」と表示されます。

## 共有アドレス帳を使用する

共有アドレス帳機能を使用することで、サーバー上にあるアドレス帳を複数台のソニー製ビジュアルコミュニケーションシステムで使用できるようになります。

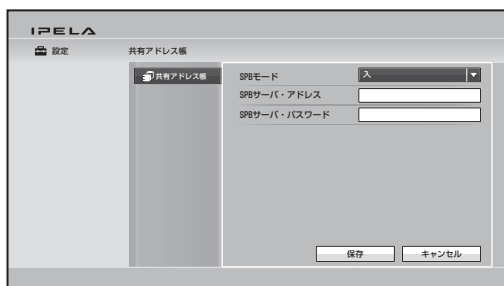
◆詳しい設定については、ネットワーク担当者などにご相談ください。

### ご注意

- 共有アドレス帳に登録された相手には通常のアドレス帳と同様に発信ができますが、登録された相手がマルチポイント接続リストの場合は発信できません。
- 共有アドレス帳へのリスト登録、変更、削除、および画像の貼り付けはできません。また、共有アドレス帳に登録された相手をプライベートアドレス帳にコピーすることはできません。

## 共有アドレス帳を使用するには

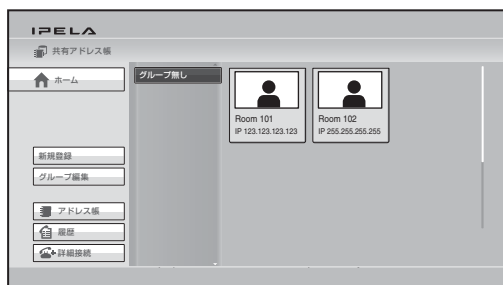
共有アドレス帳設定メニューで、「SPB モード」が「入」になっていることを確認し、「SPB サーバ・アドレス」、「SPB サーバ・パスワード」にそれぞれ適切な値を入力します。



「SPB モード」が「入」になっていると、メニュー画面に「共有アドレス帳」メニューボタンが表示されます。

## 共有アドレス帳を表示するには

アドレス帳メニュー画面の「共有アドレス帳」を選び、決定ボタンを押すと、共有アドレス帳に切り換わります。



共有アドレス帳からアドレス帳に切り換えるには、メニュー画面の「アドレス帳」を選び、決定ボタンを押します。

共有アドレス帳に登録された相手への発信方法は、アドレス帳と同様です。発信方法について詳しくは、「アドレス帳に登録している相手呼び出す」(106 ページ)をご覧ください。

# 音声を調節する

## 受信音量を調節する

相手から送られてくる音声の音量を調節することができます。

リモコンの音量+ボタンを押すと音量が大きくなり、音量-ボタンを押すと小さくなります。

音量+/-ボタンを押すと、モニター画面に音量調節バーが表示されます。一定時間操作しないと、音量調節バーはモニター画面から消えます。



### ご注意


- ・あらかじめモニター側の主音量を設定しておいてください。
- ・音量を大きくしすぎると音がはずんだり、ハウリングが起こることがあります。その場合は音量を小さくしてください。

## 音声の送信を一時的にカットするーマイクミュート機能

通信中にこちらから相手に送る音声を一時的にカットすることができます。

リモコンのマイク オン/オフボタンを押します。

マイク オン/オフボタンを1回押すと、相手に送られる音声がかットされ、相手に聞こえなくなります。自分側のモニター画面に

 NEAR インジケーターが表示されます。

相手側のモニター画面には  FAR インジケーターが表示され、音声を送信されていないことを示します。


### 音声の送信を再開するときは

もう1回マイク オン/オフボタンを押します。

自分側のモニター画面から  NEAR インジケーター、相手側のモニター画面から  FAR インジケーターが消えます。

## 着信時の音声の送信をカットする－着信時マイクオフ


相手から呼び出しを受けたとき、こちら側の音声相手に送信されないように設定することができます。

着信設定メニューの「着信時マイク」を「切」に設定しておく、着信時、映像のみ相手に送信されます。モニター画面に  インジケーターが表示されます。

◆設定については、着信設定メニューの「着信時マイク」(53 ページ) をご覧ください。

### 相手に音声を送信するには

リモコンのマイクオン / オフボタンを押します。

モニター画面から  インジケーターが消えます。

## 送信する映像と音声の時間差を調整する－リップシンク機能

コミュニケーションを行う際に、音だけが早く届き、その後で映像が届くことがあります。その結果、映像の口の動きと音声一致せず、対話がスムーズに運ばなくなることがあります。

リップシンク機能を使うと、相手に届く映像と音声ほぼ一致するように自動的に調整されます。ただし、映像に合わせて音声も遅れて届くようになりますことがあります。

音声設定メニューの「基本設定 1」ページで「リップシンク」を「自動」に設定しておく、リップシンク機能が動作します。

◆設定については、音声設定メニューの「リップシンク」(56 ページ) をご覧ください。

### ご注意

相手から送られてくる映像と音声にリップシンク機能による調整が必要な場合は、相手側に、リップシンク機能を使うよう依頼してください。

## エコーを軽減する－エコーキャンセラー

本機には、音声の伝送時に発生するエコーを消すエコーキャンセラー機能があります。

音声設定メニューの「基本設定 1」ページで「エコーキャンセラー」を「入」に設定しておく、内蔵のエコーキャンセラーが動作します。

# カメラを調節する

相手に送っている自分側のカメラの映像を希望の状態に調節することができます。

また、通信中に相手側のカメラを操作して、送られてくる映像を調節することもできます。

## アングルとズームを調整する

カメラのアングルとズームを調整して、モニター画面に映す映像を決めます。

- 1 リモコンのカメラボタンを押す、またはリモコンの  $\downarrow/\uparrow/\leftarrow/\rightarrow$  ボタンでホームメニューの「カメラ」ボタンを選び、決定ボタンを押す。

カメラメニューが表示されます。



- 2 調整したいカメラを選ぶ。

通信中は、リモコンの F1 ボタンを押すたびに自分側カメラと相手側カメラが切り替わります。

- 3 リモコンの  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  ボタンで「カメラ調整」を選び、決定ボタンを押す。

カメラ調整メニューが表示されます。



パン・チルト表示    ズーム表示

#### 4 リモコンの↑/↓/←/→ボタンで写したい部分がスクリーンに表示されるよう、カメラアングルを調整する。

選んだカメラがパン・チルトし、子画面またはフルスクリーンに調整された画像が映ります。

#### 5 リモコンのズームボタンを押して、ズームを調整する。

T ボタンを押すと画像が大きくなり、W ボタンを押すと小さくなります。

◆デジタルズームの設定について詳しくは、「デジタルズームを設定するには」(133 ページ)をご覧ください。

### 相手側カメラを操作するには

- ・通信中のカメラ遠隔操作方式が H.281 でない場合、相手側のカメラを操作することはできません。相手側のカメラを操作できない場合は、相手のカメラの遠隔操作方式をご確認ください。
- ・自分側と相手側から同時に同じカメラを操作すると、正常に動作しない場合があります。

### 画像の明るさ（輝度）を調整する

通常、画像の明るさ（輝度）は、自動的に調整されますが、手動で調整することもできます。

通常は自動調整にしておいてください。最適な明るさが得られます。

---

### 輝度を手動調整するには

- 1 リモコンのカメラボタンを押す、またはリモコンの↑/↓/←/→ボタンでホームメニューの「カメラ」ボタンを選び、決定ボタンを押す。



カメラメニューが表示されます。

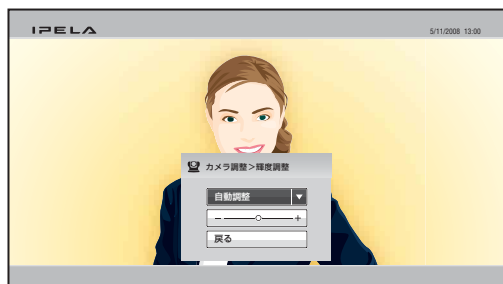


## 2 調整したいカメラを選ぶ。

通信中は、リモコンの F1 ボタンを押すたびに自分側カメラと相手側カメラが切り替わります。

## 3 リモコンの ↑/↓/←/→ ボタンで「輝度調整」を選び、決定ボタンを押す。

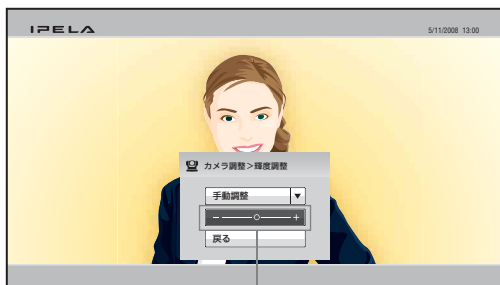
輝度調整メニューが表示されます。



## 4 決定ボタンを押す。

## 5 リモコンの ↑/↓/←/→ ボタンで「手動調整」を選び、決定ボタンを押す。

輝度調整バーが選択されます。



輝度調整バー

## 6 リモコンの ↑/↓/←/→ ボタンを押して、画面の明るさを調整する。

➡ ボタンを押すと画面が明るくなり、⬅ ボタンを押すと画面が暗くなります。

## プリセット機能を使う

自分側カメラまたは相手側カメラのアンクルとズームをプリセット登録できます。一度プリセット登録しておくと、その設定を簡単に呼び出してカメラを移動できます。

自分側カメラは100件、相手側カメラは6件までのプリセット登録ができます。

---

## プリセット登録するには

### 1 リモコンのカメラボタンを押す、またはリモコンの ↑/↓/←/→ ボタンでホームメニューの「カメラ」ボタンを選び、決定ボタンを押す。

カメラメニューが表示されます。



## 2 アングルとズームをプリセットしたいカメラを選ぶ。

通信中は、リモコンの F1 ボタンを押すたびに自分側カメラと相手側カメラが切り替わります。

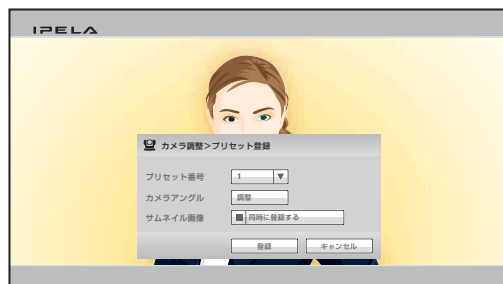
## 3 リモコンの $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ ボタンでカメラ調整メニューから「プリセット」を選び、決定ボタンを押す。

プリセット一覧メニューが表示されます。



## 4 リモコンの $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ ボタンで「新規登録」を選び、決定ボタンを押す。

プリセット登録メニューが表示されます。



## 5 リモコンの $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ ボタンで「プリセット番号」を選択し、リストから番号を選ぶ。

まだプリセット登録されていない番号だけが選択できます。

## 6 カメラのアングルとズームを調整したいときは、リモコンの $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ ボタンで「カメラアングル」の「調整」を選び、決定ボタンを押す。

カメラ調整メニューが表示されますので、ズームとアングルを調整します。

◆調整のしかたは、「アングルとズームを調整する」(127 ページ)をご覧ください。

**7 調整が終わったら、リモコンの戻るボタンまたは決定ボタンを押す。**

プリセット登録メニューに戻ります。

**8 サムネイルを登録したいときは、リモコンの  $\blacktriangle$ / $\blacktriangledown$ / $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$  ボタンで「サムネイル画像」を選び、決定ボタンを押して「同時に登録する」にチェックマークをつける。**

現在映っている画像が、サムネイルとして登録されます。

**9 リモコンの  $\blacktriangle$ / $\blacktriangledown$ / $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$  ボタンで「登録」を選び、決定ボタンを押す。**

プリセット登録が完了し、プリセット一覧画面にプリセットした番号が表示されます。

---

## プリセットした位置にカメラを移動するには

**1 リモコンのカメラボタンを押す、またはリモコンの  $\blacktriangle$ / $\blacktriangledown$ / $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$  ボタンでホームメニューの「カメラ」ボタンを選び、決定ボタンを押す。**

カメラメニューが表示されます。

**2 リモコンの  $\blacktriangle$ / $\blacktriangledown$ / $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$  ボタンでカメラメニューから「プリセット」を選び、決定ボタンを押す。**

プリセット一覧メニューが表示されます。



**3 リモコンの  $\blacktriangle$ / $\blacktriangledown$ / $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$  ボタンで呼び出したいプリセット番号を選び、決定ボタンを押す。**

プリセット番号 1～6 を呼び出すときは、リモコンの数字ボタン 1～6 を押して呼び出すこともできます。

サブメニューが表示されます。

#### 4 リモコンの $\blacktriangle$ / $\blacktriangledown$ / $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$ ボタンを押して「移動」を選び、決定ボタンを押す。

選んだプリセット位置にカメラが移動します。

#### ヒント

プリセット一覧メニューのサブメニューでは、次の操作もできます。

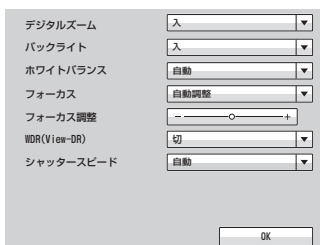
「キャンセル」：プリセット位置の選択を中止します。

「編集」：選択したプリセット位置を変更することができます。

「削除」：選択したプリセット位置を削除します。

## カメラ機能の詳細を設定する

カメラ調整メニューの「詳細」を選択すると、「詳細」メニューが表示されます。ここでは、カメラのさまざまな機能を設定できます。



### デジタルズームを設定するには

デジタルズーム機能を使うときは「デジタルズーム」を「入」にします。

### 逆光補正（バックライト）機能を使うには

背景が明るすぎて被写体が暗めになるときは、「バックライト」を「入」にします。逆光補正機能が働き、明るく写ります。

### ホワイトバランスを調整するには

「ホワイトバランス」で撮影場所に応じたホワイトバランス調整のかたを設定します。

**自動**：自動的にホワイトバランスを調整するとき。

**室内モード**：室内撮影に適したホワイトバランスにするとき。

**屋外モード**：屋外で撮影するのに適したホワイトバランスにするとき。

**ONE PUSH (ワン・プッシュ)**：画面中央に白い被写体を置き、ホワイトバランスを調整するとき。

---

### フォーカスを自動調整するには

「フォーカス」で「自動調整」を選択して、決定ボタンを押します。フォーカスが自動調整されます。

---

### フォーカスを手動調整するには

- 1 「フォーカス」で「手動調整」を選択する。
- 2 「フォーカス調整」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンでフォーカスを調整する。  
遠くにフォーカスを合わせるときは、**→** ボタンを押します。  
近くにフォーカスを合わせるときは、**←** ボタンを押します。

---

### ワイドダイナミックレンジ WDR(View-DR) を使用するには

ワイドダイナミックレンジ WDR(View-DR) では、同一撮影シーン内の暗い部分と明るい部分を判別し、暗い部分を明るくし、かつ、明るい部分の白とびを抑えます。

ワイドダイナミックレンジ WDR(View-DR) を使うときは、撮影場所などに応じて「WDR(View-DR)」で「弱」、「中」、「強」のどれかを選択します。ワイドダイナミックレンジ WDR(View-DR) を使わない場合は、「WDR(View-DR)」で「切」を選択します。

#### **で注意**

「WDR(View-DR)」を「弱」、「中」、「強」に設定する場合には、「輝度調整」を「自動調整」、「シャッタースピード」を「自動」に設定する必要があります。

---

### シャッタースピードを設定するには

シャッタースピードを自動調整するときには、「シャッタースピード」で「自動」を選択します。シャッタースピードを固定する場合は、「シャッタースピード」で「1/100」を選択します。

# 映像と音声を切り換える

モニター画面に表示する映像や、入力される映像や音声を切り換えることができます。

## 相手側と自分側の映像を切り換える

通信中、切り換えが可能なときは、リモコンのレイアウトボタンを押すと、モニター画面下部のガイダンス欄に「F1：相手と自分の画面を切り換える」と表示されます。

リモコンの F1 ボタンを押すたびに自分側と相手側の映像が切り替わります。

## 入力される映像を切り換える

### 1 リモコンの入力切換ボタンを押す。

ビデオ入力>自分側メニューが表示されます。



### 2 リモコンの ↑/↓/←/→ ボタンで、切り換えたい自分側システムの入力を選び、決定ボタンを押す。

選んだ機器の映像がモニター画面に映ります。

**CAMERA**：本体カメラの映像を選ぶとき

**HDMI-IN(PC)**：HDMI IN (PC) 端子に接続した機器の映像を選ぶとき

### 3 選んだ入力を記憶させたいときは、リモコンの ↑/↓/←/→ ボタンで「保存」を選び、決定ボタンを押す。

ビデオ入力メニューが消えます。

保存した入力切換情報は、本機の電源を切っても記憶されており、次に電源を入れたときにも選択されます。

## ビデオ入力メニューに表示する名前を変更するには

映像設定メニューの「ビデオ入力選択名」ページで各入力にお好きな名前を設定することができます。上記の手順2で入力を切り換えるとき、ビデオ入力メニューに設定した名前が表示されます。

例：Cameral、PC、None など

◆詳しくは、映像設定メニューの「ビデオ入力選択名」(58 ページ)をご覧ください。

## リモコンのファンクションボタン (F1 ~ F4) で入力映像を切り換える

一般設定メニューの「通信中のファンクションキー」でリモコンの F1 ~ F4 ボタンに映像入力 (カメラ、HDMI-IN(PC)) を割り当てておくと、F1 ~ F4 ボタンを押すだけで、すばやく映像入力を切り換えることができます。

◆詳しくは、一般設定メニューの「通信中のファンクションキー」(67 ページ)をご覧ください。

## 相手側に送る音声を切り換える

相手に送る音声をマイクか外部機器の音声に切り換えることができます。音声設定メニューの「音声入力」で設定します。

◆詳しくは、音声設定メニューの「音声入力」(55 ページ)をご覧ください。

## リモコンのファンクションボタン (F1 ~ F4) で音声入力を切り換える

一般設定メニューの「通信中のファンクションキー」でリモコンの F1 ~ F4 ボタンのひとつに「音声入力切替」を割り当てておくと、そのボタンを押すたびに相手に送る音声を切り換えることができます。

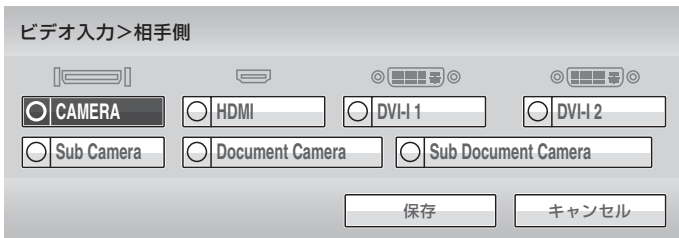
◆詳しくは、一般設定メニューの「通信中のファンクションキー」(67 ページ)をご覧ください。

## 相手側の映像を切り換える

通信中、相手側システムから出力される映像を切り換えることができます。

リモコンの入力切替ボタンを押してから F1 ボタンを押すと、ビデオ入力>相手側メニューが表示されます。





リモコンの **↑/↓/←/→** ボタンを押して、相手側システムに接続されている機器の映像を選び、決定ボタンを押します。選んだ映像が自分側システムに入力され、モニター画面に映ります。

#### **ご注意**

自分側システムから切り換えることができるのは、相手側システムから出力可能な映像のみです。

# モニター映像を切り換える

自分側の映像と相手側の映像を同時にモニター画面に表示することができます。自分側の様子が相手のモニターにどのように映っているかを確認するときなどに便利です。

## 1 リモコンのレイアウトボタンを押す。

レイアウトメニューが表示されます。



## 2 リモコンの ↑/↓/←/→ ボタンで画面パターンを選び、決定ボタンを押す。

次の8つの画面パターンから選択できます。

**Full**：相手側の映像を全画面表示するとき。

**PandP**：左に相手側の映像を大きく表示し、右に自分側の映像を小さく表示するとき。（本機にコンピューターを接続している場合は、右下にコンピューターの画面が表示されます。）

**Side by Side**：左に相手側の映像、右に自分側の映像を並べて表示するとき。

**PinP**：相手側の映像の中に自分側の映像を子画面で表示するとき。子画面の位置を5種類のパターンから選択できます。

### ご注意

多地点会議に参加中には、接続している親端末に対して自分側の映像の放送が行えます。

**自分を放送**：親端末に対して、自分側の映像の放送を要求します。

**放送終了**：元のモードに戻ります。

### 3 選んだ画面パターンを記憶させたいときは、リモコンの $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ ボタンで「保存」を選び、決定ボタンを押す。

レイアウトメニューが消えます。

---

### 相手側の映像と自分側の映像の位置を入れ換えるには

通信中、切り換えが可能なときは、リモコンのレイアウトボタンを押すと、モニター画面下部のガイダンス欄に「F1：相手と自分の画面を切り換える」と表示されます。リモコンの F1 ボタンを押すたびに相手側の映像と自分側の映像の位置が入れ替わります。

---

### コンピューター画像の受信中に、相手映像に切り換えるには

相手からコンピューター画像を受信中にリモコンのレイアウトボタンを押すと、モニター画面下部のガイダンス欄に「F2：画面を元に戻す」と表示されます。リモコンの F2 ボタンを押すと、相手映像に切り替わります。コンピューター画像に戻すには、もう一度 F2 ボタンを押します。

# 画像をキャプチャーする

ツールメニューの「画面キャプチャ」を使うと、モニター画面に表示されている画像をキャプチャーしてアドレス帳に表示することができます。キャプチャーした画像は USB メモリーに保存されます。

## 自分側の画像をキャプチャーするには

- 1 キャプチャーした画像を保存する USB メモリーを、本機の USB 端子に差し込む。

### で注意

本機前面の USB 端子には、小さな USB デバイスを差し込まないでください。端子からデバイスを取りはずせなくなる可能性がありますので、背面の USB 端子をご利用ください。

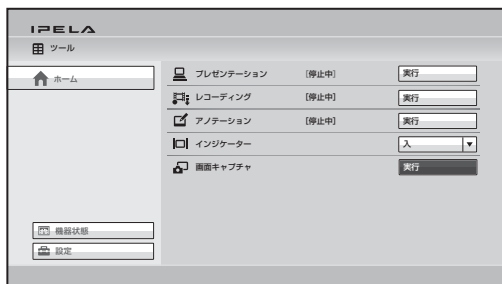
- 2 モニター画面にキャプチャーしたい画像を表示する。

◆カメラを調節する方法については、「カメラを調節する」(127 ページ)をご覧ください。

- 3 リモコンのツールボタンを押す、またはリモコンの  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  ボタンでホームメニューの「ツール」を選び、決定ボタンを押す。

ツールメニューが表示されます。

- 4 リモコンの  $\rightarrow$  ボタンを押し、 $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  ボタンで「画面キャプチャ」の「実行」を選び、決定ボタンを押す。



モニター画面に表示されている画像が USB メモリーに保存されます。

◆キャプチャーした画像をアドレス帳に表示する方法は、「アドレス帳に相手を登録する」(114 ページ)をご覧ください。





---

## 相手側の画像をキャプチャーするには

**1 通信中、モニター画面にキャプチャーしたい相手側の画像を表示する。**

◆通信中に相手のカメラを調節する方法については、「カメラを調節する」(127 ページ)をご覧ください。

**2 リモコンのツールボタンを押してツールメニューを表示する。**

**3 リモコンの /// ボタンで「画面キャプチャ」の「実行」を選び、決定ボタンを押す。**

相手側の画像が USB メモリーに保存されます。

# 4章

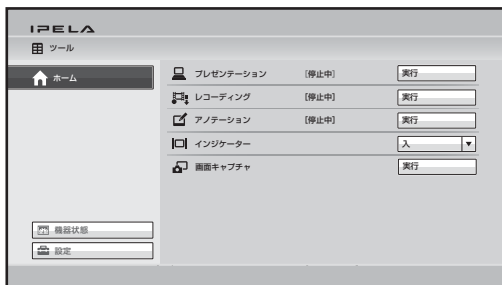
## いろいろな機器 を使った接続

この章では、本機に付属している構成機器以外に別売の機器をプラスしてできるいろいろな接続のしかたを説明します。

### ツールメニューを使う

リモコンのツールボタンを押すと、モニター画面にツールメニューが表示されます。

ツールメニューは、よく使う機能をワンタッチで実行できる便利なメニューです。



リモコンの **▶** ボタンを押してから、**▲/▼/◀/▶** ボタンでメニューの各項目を選び、決定ボタンを押すと、以下の機能が実行されます。

#### プレゼンテーション

リモコンの決定ボタンを押すと、本機に入力したコンピューターのHDMI画像を相手に送信します。送信中は「実行中」と表示され、メニュー項目が「停止」に変わります。「停止」を選んで決定ボタンを押すと、HDMI画像の送信が終了します。

◆プレゼンテーションについて詳しくは、「コンピューターの画像をプレゼンテーションに使う」(144ページ)をご覧ください。

## レコーディング

リモコンの決定ボタンを押すと、進行中のビジュアルコミュニケーションの映像・音声を USB メモリーに保存します。保存中は「実行中」と表示され、メニュー項目が「停止」に変わります。「停止」を選んで決定ボタンを押すと、レコーディングが終了します。

- ◆レコーディングについて詳しくは、「レコーディングする」(146 ページ)をご覧ください。

## アノテーション

リモコンの決定ボタンを押すと、アノテーション開始メニューが表示され、ペンタブレット（市販）を使って画面上に描いた文字や絵を映像に重ねて送信したり、ポインターを画面に表示したりすることができます（アノテーション機能）。アノテーション実行中は「実行中」と表示され、メニュー項目が「停止」に変わります。「停止」を選んで決定ボタンを押すと、アノテーションが終了します。

- ◆アノテーションについて詳しくは、「アノテーション機能を使う」(148 ページ)をご覧ください。

## インジケーター

リモコンの決定ボタンを押して ▲/▼/◀/▶ ボタンで「入」を選ぶと、モニター画面にプレゼンテーションやカメラコントロールなどのインジケーターが表示されます。「切」を選ぶとインジケーターが消えます。

### ご注意

この設定に関わらず、マイクオフのインジケーターは常に表示されます。

## 画面キャプチャ

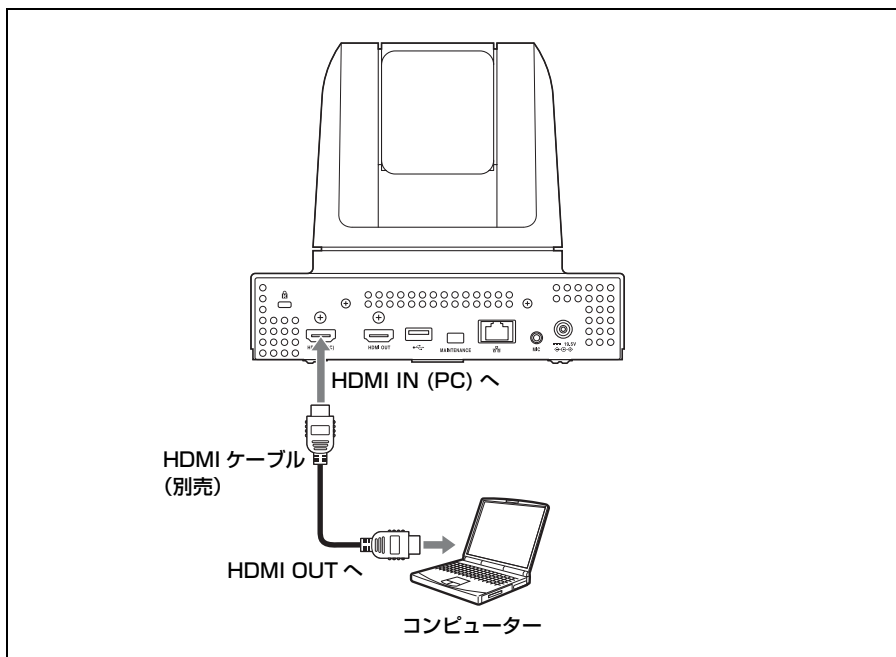
リモコンの決定ボタンを押すと、モニター画面の映像を USB メモリーに静止画として保存します（キャプチャー）。

- ◆キャプチャーについて詳しくは、「画像をキャプチャーする」(140 ページ)をご覧ください。

# コンピューターの画像をプレゼンテーションに使う

本機に入力したコンピューターなどの HDMI 画像をカメラ映像などと同時に相手に送信できます。

## コンピューターを接続する



### ヒント

コンピューターは、解像度を 1920 × 1080 にして使用することをお勧めします。その他の解像度で使用する場合、プレゼンテーション画面が小さく表示されることがあります。

## プレゼンテーションを行う

### プレゼンテーションモードを設定するには

本機に入力したコンピューターなどの HDMI 画像とカメラ映像などを同時に送信し、相手側で送信した画像を同時に見ることを、“H.239 に準拠したプレゼンテーションモード”でプレゼンテーションを行う



と言います。このモードを使用すると、カメラ映像とコンピューター画像を同時になめらかに再現できます。

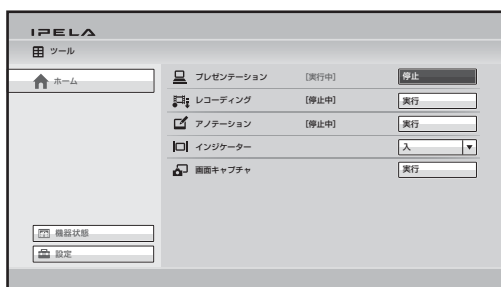
---

## プレゼンテーションを開始するには

- 1 リモコンのツールボタンを押してツールメニューを表示する。
- 2 リモコンの **▶** ボタンを押し、**▲/▼/◀/▶** ボタンで「プレゼンテーション」の「実行」を選ぶ。

コンピューター画像が相手に送信されます。

プレゼンテーション中は、ツールメニューに「プレゼンテーション [実行中]」と表示されます。



### ヒント

手順1、2の代わりに、リモコンのプレゼンテーションボタンを押しても、コンピューター画像が相手に送信されます。

---

## プレゼンテーションを停止するには

ツールメニューで「プレゼンテーション」の「停止」を選んで決定ボタンを押すと、コンピューター画像の送信が終了します。

または、リモコンのプレゼンテーションボタンを押しても、コンピューター画像の送信が終了します。

# レコーディングする

ビジュアルコミュニケーションの映像・音声を USB メモリーに保存することができます。保存したデータは、コンピューターで見ることができます。

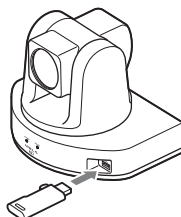
## ご注意

本機前面の USB 端子には、小さな USB デバイスを差し込まないでください。端子からデバイスを取りはずせなくなる可能性がありますので、背面の USB 端子をご利用ください。

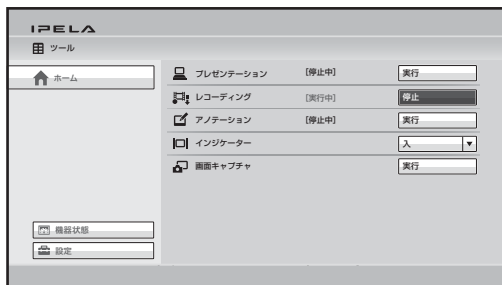
◆レコーディングの設定については、管理者設定メニューの「レコーディング」ページ (71 ページ) をご覧ください。

## レコーディングを開始するには

- 1 USB メモリーを USB 端子に入れる。



- 2 リモコンのツールボタンを押してツールメニューを表示する。
- 3 リモコンの **▶** ボタンを押し、**▲/▼/◀/▶** ボタンで「レコーディング」の「実行」を選び、決定ボタンを押す。  
「レコーディングを開始しますか?」というメッセージが表示されません。
- 4 リモコンの **▲/▼/◀/▶** ボタンで「OK」を選び、決定ボタンを押す。  
USB メモリーへのレコーディングを開始します。  
レコーディング中は、ツールメニューに「レコーディング [実行中]」と表示され、メニュー項目が「停止」に変わります。



## レコーディングを停止するには

- 1 ツールメニューで「レコーディング」の「停止」を選び、決定ボタンを押す。

「レコーディングを終了しますか?」というメッセージが表示されます。

- 2 リモコンの  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  ボタンで「OK」を選び、決定ボタンを押す。

USB メモリーへのレコーディングを停止します。

### ご注意

- ・レコーディング中に USB メモリーの残量が少なくなり、保存できなくなった場合、レコーディングは自動的に終了し、メッセージが表示されます。
- ・1回のレコーディングで、最大2ギガバイトまたは12時間まで保存ができます。レコーディング中にファイルが最大サイズに達した場合は、レコーディングが自動的に終了し、メッセージが表示されます。
- ・レコーディングされたファイルは、USB メモリービデオフォーマット対応製品で再生できるファイルと同じファイル名ですが、これらの製品で認識するディレクトリにファイルを移動しても再生はできません。

## リモコンのファンクションボタン (F1 ~ F4) でレコーディングを開始または停止するには

一般設定メニューの「通信中のファンクションキー」でリモコンの F1 ~ F4 ボタンのひとつに「レコーディング 実行 / 停止」を割り当てておくと、そのボタンを押すたびにレコーディングを開始または停止できます。

- ◆詳しくは、一般設定メニューの「通信中のファンクションキー」(67 ページ)をご覧ください。

# アノテーション機能を使う

相手と通信中、ペンタブレットを使って描いた文字や画をリアルタイムで送受信したり、カメラ映像や PC 映像をポインターで指し示したりできます。この機能をアノテーションと呼びます。

アノテーション機能には株式会社ワコム製のペンタブレットを使用できます。

◆対応製品について詳しくは、ソニーのホームページ (<http://www.sony.jp/pcs/>) をご覧ください。

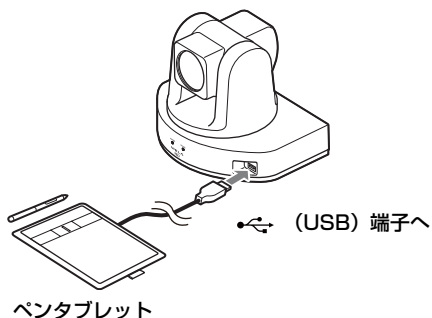
## ご注意

- ・ペンタブレットを使った通信ができるのは、PCS-XG80/XG80S/XG55/XG55S/XA80/XA55/XL55/G60/G60D/G60DP/XG100/XG77/XG100S/XG77S/XC1 同士の場合のみです。  
ソニー製の他のビジュアルコミュニケーションシステムとの通信にはペンタブレットは使用できません。
  - ・アノテーション機能を使用して描画した内容は、レコーディングされた映像には、表示されません。
  - ・本機前面の USB 端子には、小さな USB デバイスを差し込まないでください。端子からデバイスを取りはずせなくなる可能性がありますので、背面の USB 端子をご利用ください。
  - ・使用するペンタブレットにより、操作方法が異なる場合があります。
- ◆詳しくは、ソニーのホームページ (<http://www.sony.jp/pcs/>) をご覧ください。

## ペンタブレットを接続する

### 1 本機の電源を切る。

## 2 本機前面の USB 端子にペンタブレットを接続する。

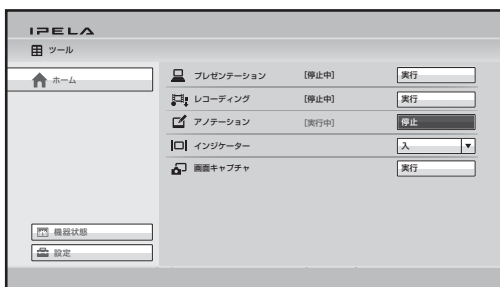


## 3 本機の $\text{\textcircled{I}}$ (電源) スイッチを押して、電源を入れる。

### 通信中にアノテーションを使う

アノテーションを開始するには

- 1 通信を始める。
- 2 リモコンのツールボタンを押して、ツールメニューを表示する。
- 3 リモコンの  $\rightarrow$  ボタンを押し、 $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  ボタンで「アノテーション」の「実行」を選び、決定ボタンを押す。



アノテーション開始メニューが表示されます。

**4 リモコンの ↑/↓/←/→ ボタンでアノテーションの「背景表示画面」を選び、決定ボタンを押す。**



**相手映像**：相手側の映像を背景にする場合。

**自分映像**：自分側の映像を背景にする場合。

**受信 PC 画像**：受信した相手側のコンピューター画像を背景にする場合。

**送信 PC 画像**：自分側のコンピューター画像を背景にする場合。

**ご注意**

- ・「受信 PC 画像」は、相手側のコンピューター画像を受信中のみ選択できます。
- ・「送信 PC 画像」は、自分側のコンピューター画像を送信中のみ選択できます。


**5 リモコンの ↑/↓/←/→ ボタンで「アノテーションモード」を選び、決定ボタンを押す。**

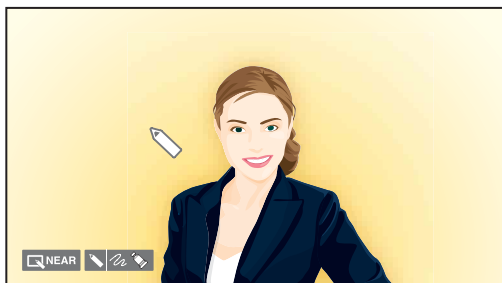
**ドローイング**：画面上に画や文字を描く場合。

**ポインティング**：画面上にポインターを表示する場合。

**6 リモコンの ↑/↓/←/→ ボタンで「開始」を選び、決定ボタンを押す。**

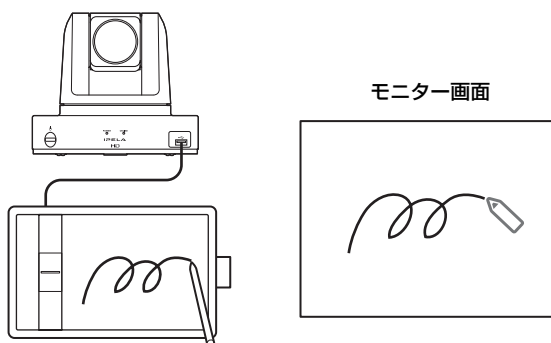
モニター画面の左下にアノテーションインジケータートと、**NEAR**（自分描画中）インジケータが表示されます。

ドローイングモードのときは、（ペン）が、ポインティングモードのときは （ポインター）が画面上に現れます。



## 7 タブレットに付属のペンを使って、文字や画を描く、またはポインターを画面上で動かす。

描いた内容がリアルタイムでモニター画面に表示されます。



◆タブレットやペンの使いかたについて詳しくは、ペンタブレットに付属の説明書をご覧ください。

---

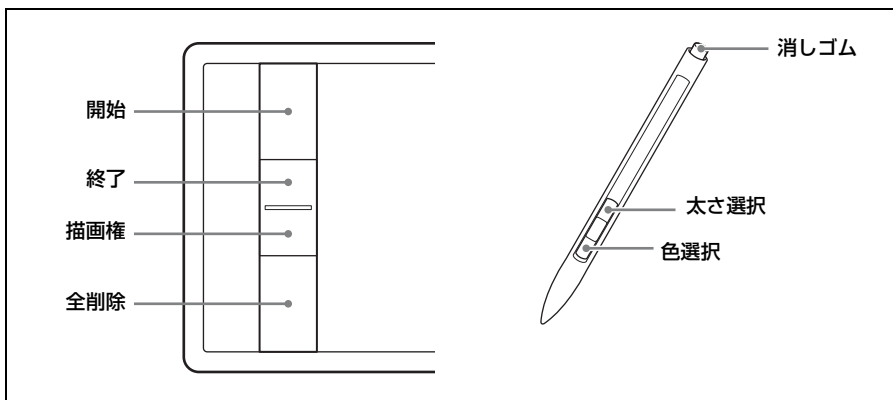
### ポインティング中に使える機能

ポインティングモードのときは、ポインターで画面を指し示すことができます。ポインターで画や文字を描くことはできません。

---

### ドローイング中に使える機能

タブレットのファンクションキーとペンのスイッチを使って操作します。



### ドローイングを開始するには

タブレットの一番上のキーを押します。

### ドローイングを終了するには

タブレットの上から2番目のキーを押します。

### 色を変更するには

ペンのサイドスイッチを押します。スイッチを押すたびに色が変わります。黒、赤、青、緑、黄、橙、紫、白が選択できます。

タッチ操作の場合は、1本目の指を操作面に置き、2本目の指でその右側をタップします。

### 線の太さを変更するには

ペンのセカンドサイドスイッチを押します。押すたびに線の太さが変わります。3種類の線の太さを選択できます。

タッチ操作の場合は、1本目の指を操作面に置き、2本目の指でその左側をタップします。

### 消しゴムで消すには

ペンのテールスイッチ（消しゴム）をタブレットにつけ、消したい文字や画の上で消す動作をします。ペンを動かした部分が消えます。

タッチ操作の場合は、2本の指の腹で操作します。


### 描いた文字や画をすべて消すには


タブレットの一番下のキーを押します。

### 描画権を取得するには

通常、アノテーションを開始した側に描画権があります。



相手側からアノテーションを開始した場合、自分側のモニター画面に「描画権取」ボタンが表示され、 (相手描画中) アイコンが表示されます。

描画権を自分に移したい場合は、タブレットの下から2番目のキーを押します。 (自分描画中) インジケーターが表示され、自分側で文字や画を描くことができますようになります。




---

## アノテーションで描いた内容を保存するには

- 1 アノテーションの内容を保存したいUSBメモリーを本機に挿入する。
- 2 リモコンのツールボタンを押してツールメニューを表示する。
- 3 ツールメニューで「画面キャプチャ」の「実行」を選ぶ。  
モニター画面に表示されているアノテーション画像が静止画としてUSBメモリーに保存されます。

---

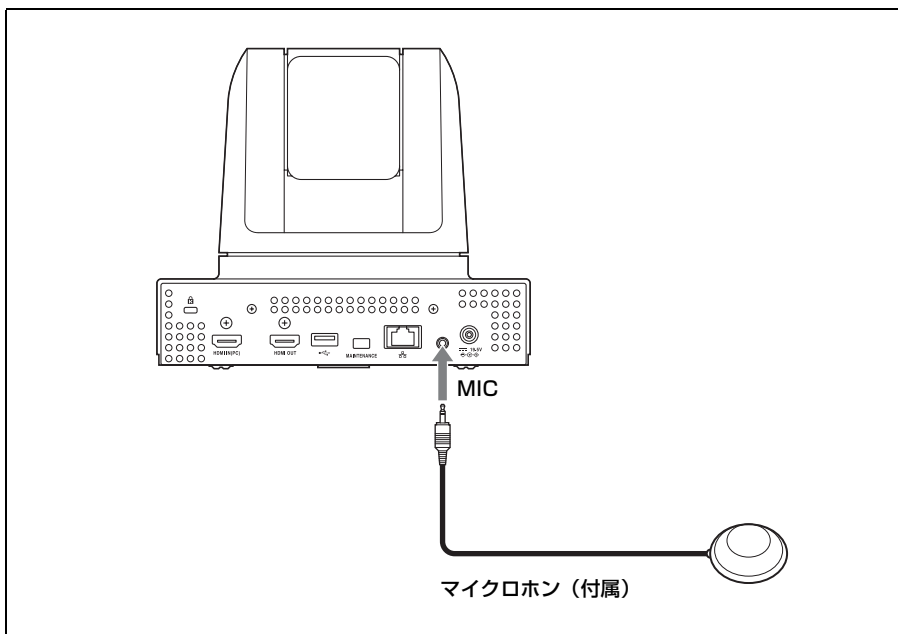
## アノテーションを終了するには

- 1 リモコンのツールボタンを押して、ツールメニューを表示する。
- 2 リモコンの  /  /  ボタンで「アノテーション」の「停止」を選び、決定ボタンを押す。  
アノテーションが終了します。  
アノテーションで描いた文字や画はコミュニケーション終了時に消去されます。

# マイクを使う

## マイクを接続するには

本機の MIC 端子にマイクを接続します。マイクの電源は、本機より供給されます。



## 接続したマイクを使うには

### マイクロホン (付属) を設置するときのご注意

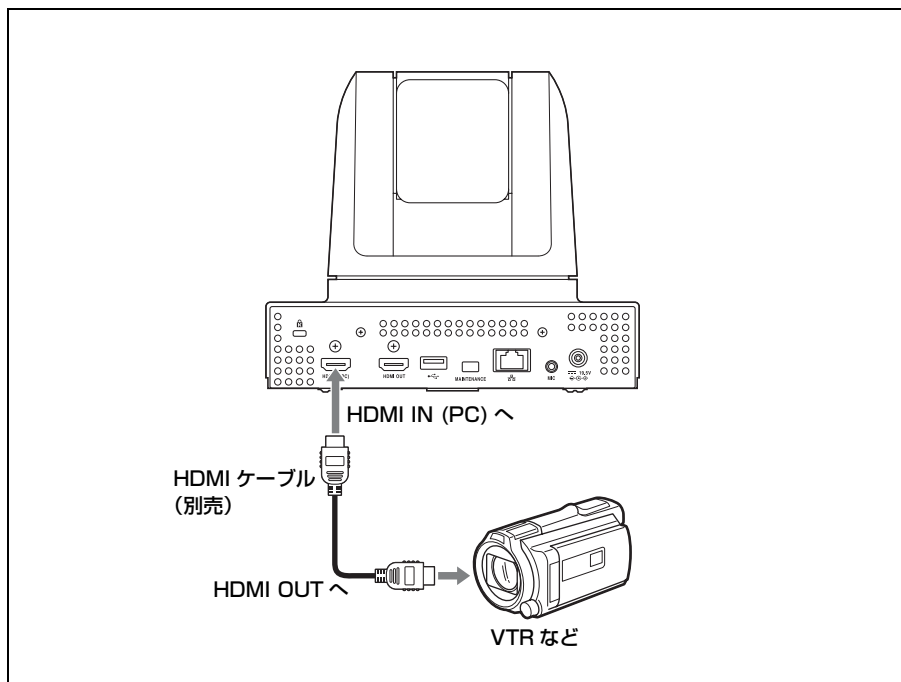
- ・参加者とマイクの間隔が 50 cm 程度になるように設置してください。
- ・できるだけ静かで、音が反響しにくい場所に設置してください。
- ・スピーカーは、マイクとの間に人が入らないように設置してください。
- ・ノイズの発生源となるような機器の近くには設置しないでください。
- ・マイクを紙などで覆ったり、マイクを手にとって動かしたりしないでください。ノイズとエコーが相手側へ一時的に大きく伝わる場合があります。その場合は、エコーがおさまるまでしばらくお待ちください。

## 外部映像機器からの映像・音声を使う

本機にハンディカムなどの外部映像機器を接続して、接続した機器からの映像や音声を相手に送信することができます。

### 入力用の外部映像機器を接続するには

本機には1系統の映像機器を接続できます。



## 外部映像機器からの映像・音声を入力するには

### 映像を入力するには

リモコンの入力切換ボタンを押してビデオ入力>自分側メニューを表示し、映像を入力したい機器を選びます。



リモコンの▲/▼/◀/▶ボタンで、各端子に接続した外部機器を選び、決定ボタンを押します。選んだ機器の映像に切り替わります。

**CAMERA**：本体カメラの映像

**HDMI-IN(PC)**：HDMI IN (PC) 端子に接続したカメラや映像機器の映像

選択した入力を保存するときは、リモコンの▲/▼/◀/▶ボタンで「保存」を選び、決定ボタンを押します。

### 音声を入力するには

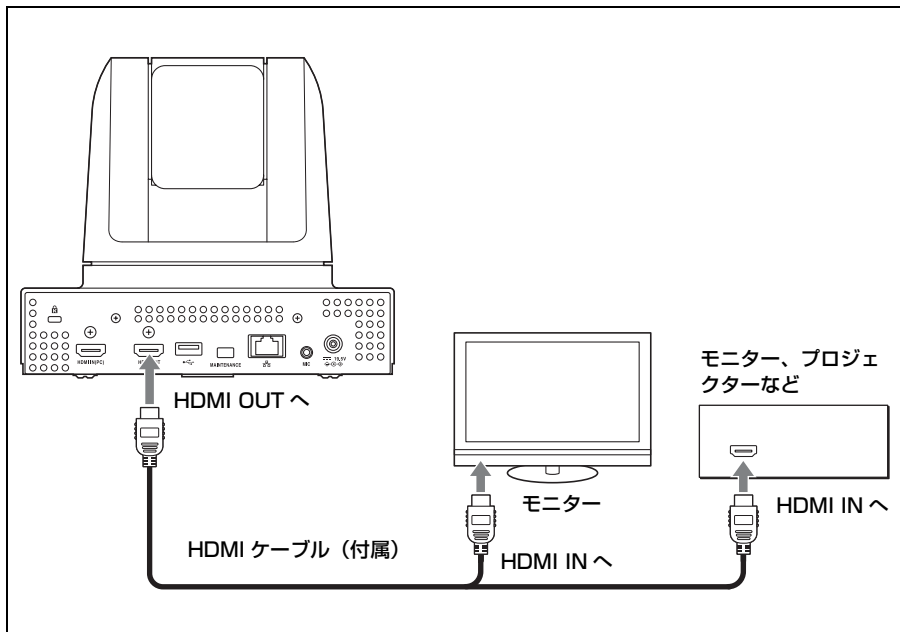
音声設定メニューの「基本設定 1」ページで「音声入力」を「AUX」または「MIC + AUX」に設定してください。(55 ページ)

「AUX」に設定すると、外部機器の音声だけが入力され、マイクは切れます。「MIC + AUX」に設定すると、マイクと外部機器の音声両方入力されます。

# モニターやプロジェクターに映像を出力する

本機にモニターやプロジェクターなどのディスプレイ機器を接続して、映像を見ることができます。

モニターやプロジェクターを接続するには



---

# トーン信号で相手のシステムを制御するー DTMF の送信

ダイヤル発信する際の各数字（0～9、#、\*）に割り当てられているトーン信号（二重トーン多重周波数）を送信することにより、相手側に接続されているシステムを遠隔制御することができます。

## 1 通信中にリモコンのトーン（\*）ボタンを押す。

モニター画面にDTMFメニューが表示されます。

## 2 リモコンの数字ボタン（0～9、#、\*）を押して、送信したい数字を選ぶ。

数字ボタンを押すと、トーン信号が相手に送られます。

## 3 終了するには、リモコンの決定ボタンを押す。

モニター画面のDTMFメニューが消えます。

### ご注意

DTMFメニューが出ている間は、マイクが自動的にオフになります。

# 外部から本機にアクセスする

本機は下記のような外部アクセスが可能です。いずれの場合も、詳しい内容については、お買い上げ店にご相談ください。

## ご注意

外部アクセスをご使用になる場合、使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者からアクセスされる可能性がありますので、管理者設定メニューの「パスワード」ページ（69 ページ）ですべてのパスワードを設定してください。

## Web ブラウザを使用する

Web ブラウザから本機にアクセスして、本機を操作したり、本機の設定を変更することができます。

Web ブラウザから本機にアクセスするには、管理者設定メニューの「アクセス許可」ページで「Web アクセス」を「許可」に設定してください。（71 ページ）

◆Web 操作について詳しくは、「6 章 Web 機能」（165 ページ）をご覧ください。

## Telnet を使用する

Telnet により、本機にアクセスして、本機を操作したり、本機の設定を変更することができます。

Telnet から本機にアクセスするには、管理者設定メニューの「アクセス許可」ページで「Telnet アクセス」を「許可」に設定してください。（71 ページ）

## SSH を使用する

SSH により、本機にアクセスして、本機を操作したり、本機の設定を変更することができます。

SSH から本機にアクセスするには、管理者設定メニューの「アクセス許可」ページで「SSH アクセス」を「許可」に設定してください。（71 ページ）

# 5 章

## 暗号化接続

機密性の高いコミュニケーションをしたい場合などに、映像や音声を暗号化して接続することができます。この接続のしかたを暗号化接続と呼びます。

この章では、暗号化接続のしかたを説明します。

本機は、ITU-T で規定された H.235 に準拠した標準の暗号化方式に対応しています。

### **ご注意**

一部の国／地域では暗号化機能を使用できません。



# 暗号化接続の準備

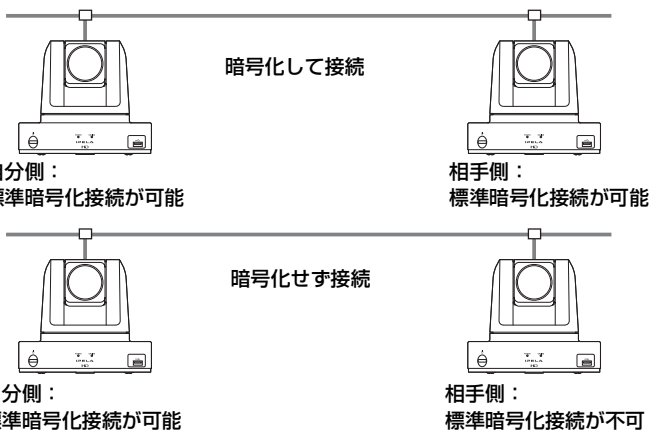
暗号化接続をするには、暗号化設定メニューの「暗号化モード」を設定する必要があります。

暗号化設定メニューの「暗号化モード」を「接続性優先」または「暗号化優先」にする。



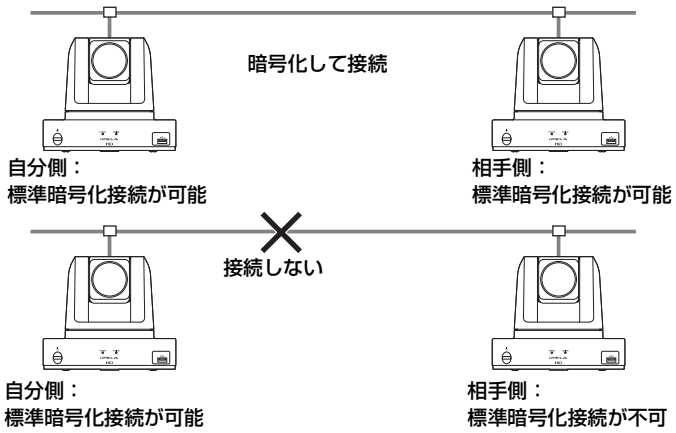
## 接続性優先

標準暗号化接続ができる相手とは暗号化接続します。標準暗号化接続ができない、またはオフになっている相手とは、暗号化せずに接続します。




## 暗号化優先

標準暗号化接続ができる相手とのみ、接続します。



## 暗号化接続を始める

通常の接続と同じ方法で、暗号化接続をする相手呼び出します。暗号化接続中、モニター画面には、暗号化接続アイコン  が表示されます。



### ご注意

アイコンが表示されていないときは、送受信データは暗号化されていません。アイコンが表示されていることを確認してから接続を始めてください。

### 暗号化接続ができない場合は

相手呼び出すと、以下のエラーメッセージが表示され、暗号化接続はできません。

エラーメッセージ	原因
「相手側は暗号化に対応していません。」	相手側システムが暗号化機能に対応していない。
「相手側の暗号化機能がオフになっています。」	相手側の暗号化機能がオフになっている。 または、相手側と暗号化通信方式の設定が違う。
「相手側の暗号化機能がオンになっています。」	相手側の暗号化機能がオンになっている。
「こちら側の暗号化機能がオフのため会議が開始できませんでした。」	自分側の「暗号化モード」が「切」になっている。
「相手側の暗号化機能がオフのため会議が開始できませんでした。」	相手側の暗号化機能がオフになっている。

エラーメッセージ	原因
「相手側と暗号化通信方式が異なるため会議が開始できませんでした。」	相手側と暗号化方式の設定が違う。
「SIP 接続を含んだ標準方式の暗号化会議はできません。」	相手側と SIP で接続している。

# 6 章

## Web 機能

この章は、本機上で動作する Web 機能をまとめたものです。  
Web 機能とは、PC 上の Web ブラウザ(Internet Explorer)から本機にアクセスし、本機のコントロール、設定変更を行う機能です。

Internet Explorer は Microsoft 社の製品です。バージョン 7.0 以上を使用してください。

### **ご注意**

Web 機能上では、各メニューおよび選択肢は英語でのみ表示されます。

---

# Web ページへのアクセス方法

Web ブラウザのアドレス欄に本機に設定されている IP アドレスを入力します。

例 IPv4 アドレスの場合

`http://xxx.xxx.xxx.xxx/`

(xxx.xxx.xxx.xxx は IPv4 アドレスを示す)

例 IPv6 アドレスの場合

`http://[xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx]/`

(xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx は IPv6 アドレスを示す)

## ご注意

ネットワークセグメント外部の Proxy が設定されている時は、本機の LAN 設定のゲートウェイアドレスを指定する必要があります。もしくは、Web ブラウザの Proxy 設定で NoProxy に指定してください。

# 認証ページの入力方法

Web ページにアクセスすると以下のような認証ページが表示されます。



ユーザー名入力欄からアクセスに必要なユーザー名を選び、パスワード入力欄にパスワードを入力し、OK ボタンをクリックします。

パスワードは、“\*”で表示されます。

ユーザー名、パスワードを正しく入力すると、Home メニュー画面が表示されます。

誤ったユーザー名、パスワードを入力すると、再度ユーザー名、パスワードをきいてきます。

3回誤った入力を行うと、エラーメッセージが画面に表示されます。

ユーザー名入力欄では下記のユーザー名を選ぶことができます。それぞれのパスワードを入力してください。

## [remote]

管理者設定のリモートアクセス・パスワードを入力します。

Phonebook、Setup の内容確認を行うことができます。

## [address]

管理者設定のアドレス帳変更パスワードを入力します。Phonebook の内容確認と変更・新規登録、Setup の内容確認を行うことができます。

## [sonypcs]

管理者設定の管理者用パスワードを入力します。Phonebook の内容確認と変更・新規登録、Setup の内容確認と変更を行うことができます。

## [setting]

管理者設定の設定保存パスワードを入力します。

Phonebook の内容確認と変更・新規登録、Setup の内容確認と管理者設定以外の Setup 変更を行うことができます。

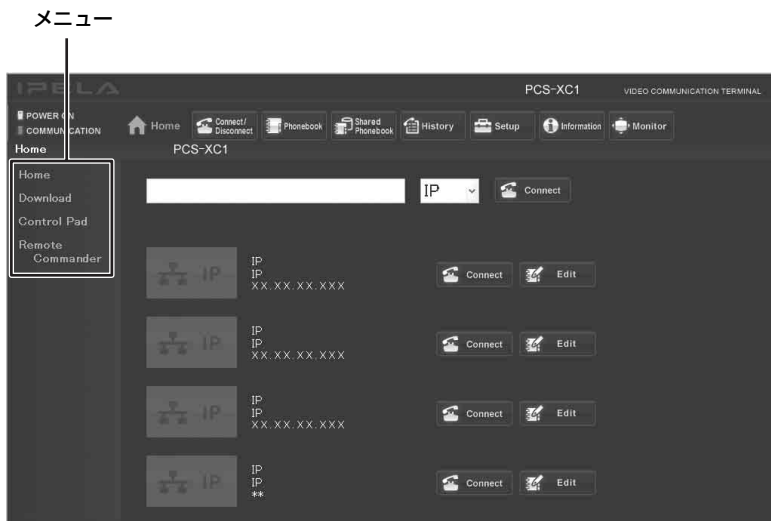
### **ご注意**

- ・パスワードが登録されていない時は、パスワード入力欄を空白で OK ボタンをクリックします。
- ・管理者用パスワード、アドレス帳変更パスワード、設定保存パスワード、リモートアクセス・パスワードは管理者設定メニューのパスワードページで登録します。
- ・Web ページにアクセスしパスワードを入力すると、Web ブラウザ自体を終了するまでその認証は有効です。つまり Web ページを閉じて Web ブラウザを終了しなければ、再度 Web ページにアクセスしたときに、認証なしでアクセスできます。
- ・使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者からアクセスされる可能性があります。セキュリティの面からすべてのパスワードを設定することを強く推奨します。管理者設定メニューの「パスワード」ページ (69 ページ) ですべてのパスワードを設定してください。



# メニューの選択

各画面の左側に表示されるメニューをクリックすると、それぞれのメニュー画面が表示されます。



## [Home]

相手の回線種別を選択し、番号入力欄にアドレスを入力して発信できます。また、この機器についての情報がアイコンで表示されます。

## [Download]

各種ログをダウンロードできます。

## [Control Pad]

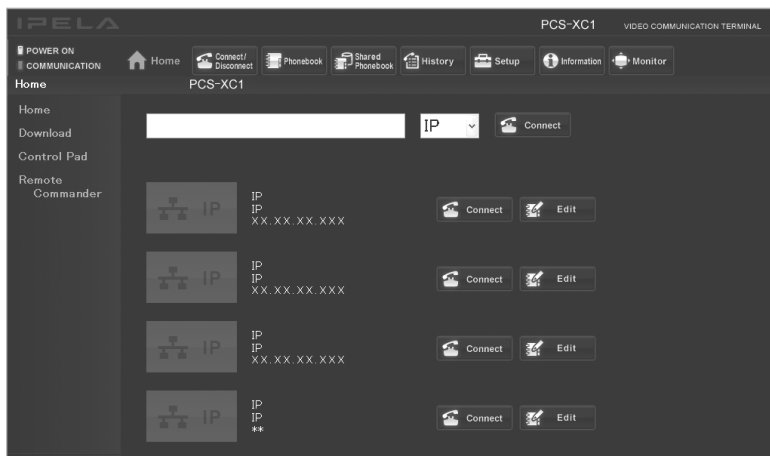
制御卓が画面に表示され、各種操作ができます。

## [Remote Commander]

本機に付属のリモートコマンドーの画像が表示され、同様の操作ができます。

# Home メニューの使いかた

左側のメニューの [Home] をクリックすると表示されます。また、認証ページで正しいパスワードを入力すると表示されます。

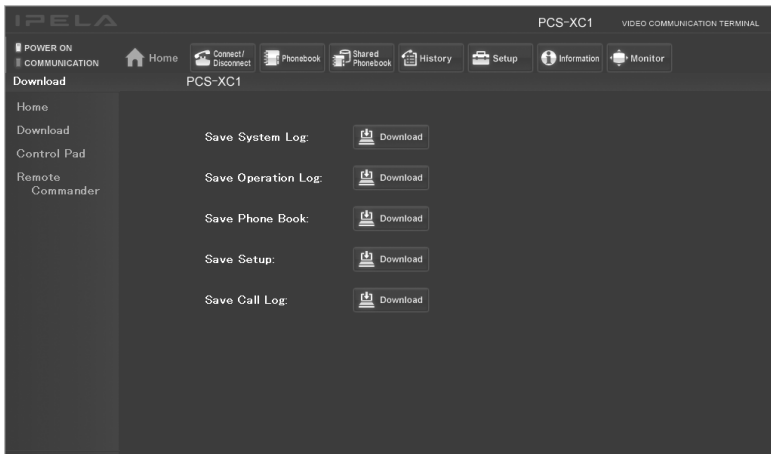


## 番号を入力して発信するには

- ① 回線種別（IP、SIP）を選ぶ。
- ② 番号入力欄に相手の回線番号またはアドレスを入力する。
- ③ [Connect] ボタンをクリックする。

# Download メニューの使いかた

左側のメニューの [Download] をクリックすると表示されます。各種 Log ファイルが表示できます。



表示したいログファイルを選び、[Download] ボタンをクリックすると別画面でログファイルが確認できます。

# Remote Commander メニューの使いかた

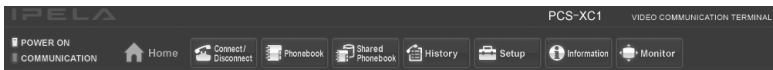
左側のメニューの[Remote Commander]をクリックするとリモートコマンダーの画像が表示されます。



それぞれのボタンをクリックすることにより、付属のリモコンと同様にカメラコントロール、ダイヤルなどの操作を行うことができます。

# 機能ボタンの選択

各画面上部に表示される機能ボタンをクリックすることで、それぞれのページを表示します。



## [Connect/Disconnect]

ダイレクトダイヤル発信と切断を行うことができます。

## [Phonebook]

アドレス帳の一覧表示を行うことができます。

アドレス帳から発信を行うことができます。

アドレス帳の新規登録、内容確認、編集を行うことができます。

プライベートアドレス帳の場合は、Phonebook ボタンが Private Phonebook ボタンに変わります。

## [Shared Phonebook]

共有アドレス帳が使用できます。

## [History]

発信、着信、不在着信履歴を表示できます。

表示した履歴から発信することができます。

不要になった履歴を削除できます。

## [Setup]

Setup の内容確認と変更を行うことができます。

## [Information]

端末の情報、周辺機器の状態、通信モードの状態を確認することができます。

また、ネットワーク導通確認や USB メモリーにあるレコーディングデータファイルを表示することもできます。

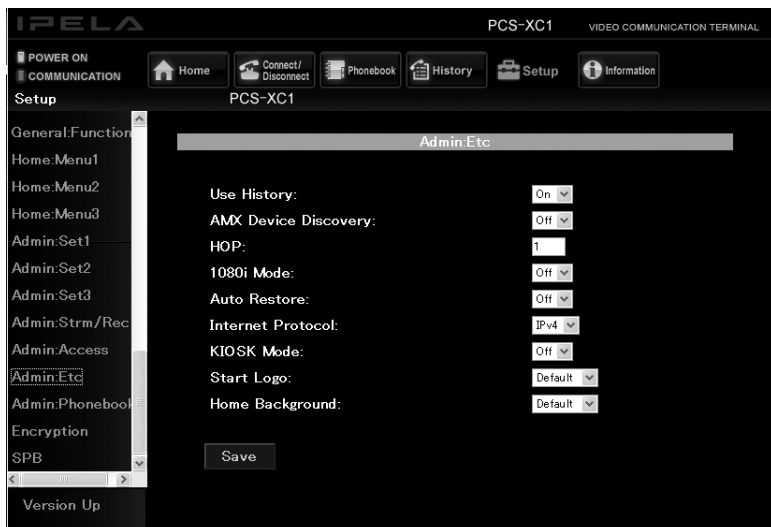
## [Monitor]

本機の映像をモニターすることができます。

## ご注意

管理者設定メニューの「アクセス許可」ページで「Web モニター」が「切」になっていると、映像のモニターはできません。

## KIOSK Mode の設定方法



ホームの背景画面、および起動中ロゴが選択できます。

## ご注意

- ・ KIOSK Mode の設定は、Web 機能から管理者用パスワードを入力してアクセスしたときのみ設定および変更が可能です。
- ・ KIOSK Mode の設定について詳しくは、本機の販売会社へご確認ください。

- ① 画面上部の Setup をクリックする。
- ② 左側に表示される Admin:Etc をクリックする。  
Admin:Etc 画面が表示されます。  
(ユーザー名: sonypcs で認証したときのみ設定変更ができます。)
- ③ KIOSK Mode を On にする。
- ④ Save ボタンをクリックする。  
SAVE 完了後、ページが再表示されます。

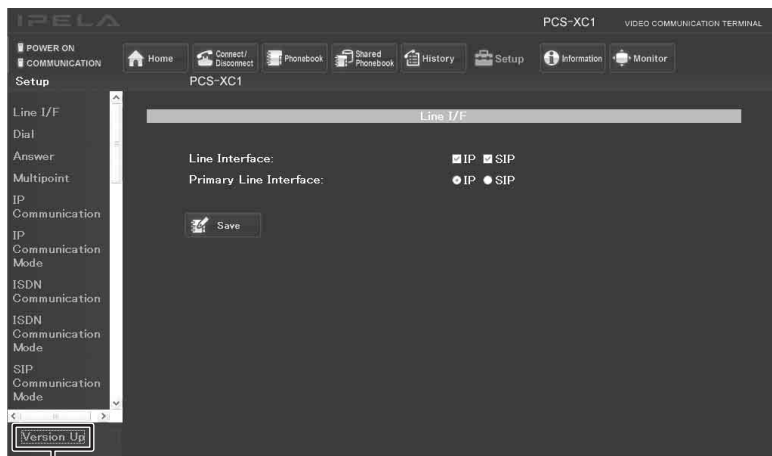
## ご注意

KIOSK Mode 時に電源を切るには、本機の  $\odot$  (電源) スイッチを 2 回押してください。

# Version Up ページの使いかた

画面上部の [Setup] をクリックすると、左下に [Version Up] が表示されます。

[Version Up] をクリックすると Version Up ページが表示されます。



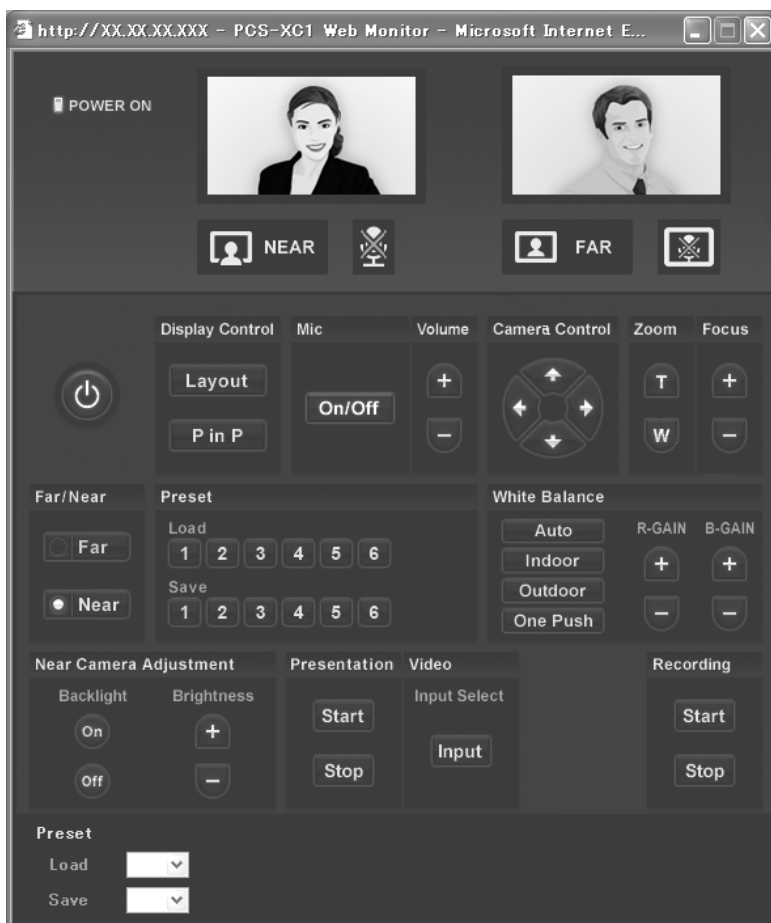
## Version Up

[参照 ...] をクリックして、バージョンアップを行いたいソフトウェアを選び、[Upload] ボタンをクリックします。

アップロードが完了すると、メッセージが表示され、バージョンアップが開始されます。バージョンアップが完了すると、本機が再起動します。再起動が完了するまでは本機の電源を切らないでください。

[参照 ...] でアドレス帳や設定ファイルを選択すると、アドレス帳や設定をアップロードすることができます。

# Monitor ページの使いかた



機能ボタンの [Monitor] をクリックすると Monitor ページが別ウィンドウで表示され、本機の映像をモニターできます。

## ご注意

管理者設定メニューの「アクセス許可」ページで「Web モニター」が「切」になっているときは、映像のモニターはできません。

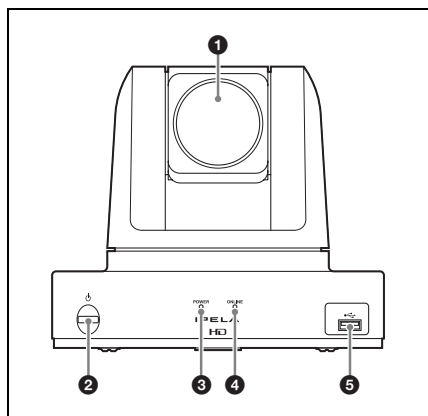


# 付録

## 各部の名称と働き

### HD ビジュアルコミュニケーションシステム PCS-XC1

#### 前面



#### ① レンズ

光学 12 倍ズームレンズです。

#### ② 電源スイッチ

本機の電源を入/切します。

#### ③ POWER ランプ

電源スイッチをオンにして本機が起動すると点灯します。

本機がスタンバイ状態になると、ゆっくり（約 5 秒に 1 回）点滅します。

#### ④ ONLINE（オンライン）ランプ

発信または通信中は緑色で点灯します。

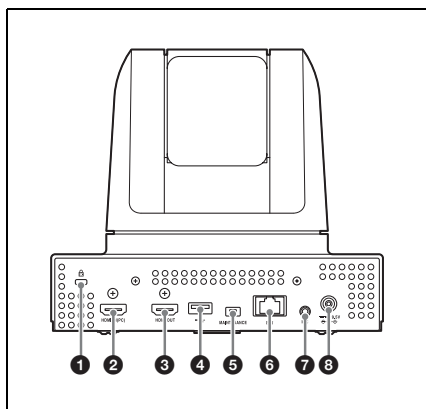
#### ⑤ USB 端子

USB メモリー（別売）を挿入します。  
アノテーション用のペンタブレット（別売）を接続します。

#### ご注意

小さな USB デバイス（ペンタブレット用レシーバーも含む）を差し込まないでください。端子からデバイスを取りはずせなくなる可能性がありますので、背面の USB 端子をご使用ください。

#### 後面



#### ① ケンジントンロック用開口部

盗難防止用のセキュリティロックケーブルを接続します。

#### ② HDMI IN (PC) (HDMI 入力 (PC)) 端子

コンピュータの HDMI 出力端子と接続します。

#### ご注意

ソニー製 HDMI ケーブルの使用を推奨します。

### ③ HDMI OUT (HDMI 出力) 端子

HDMI 入力端子付きのモニター用テレビなどと接続します。

#### ご注意

HDMI ケーブルご使用の際は、輻射ノイズによる誤動作を防ぐため、同梱のケーブルを使用してください。

### ④ USB (USB) 端子

USB メモリー (別売) を挿入します。

#### ご注意

小さな USB デバイスの場合は、この USB 端子をご使用ください。

### ⑤ MAINTENANCE (メンテナンス) 端子

サービス用です。

### ⑥ 品 (LAN) 端子 (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T、8ピンモジュラー)

LAN または SIP を介して接続するときに使用します。カテゴリ 6 のケーブルを使ってハブまたは SIP サーバーなどに接続します。

#### ご注意

安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクタをこの端子に接続しないでください。

接続については本書の指示に従ってください。

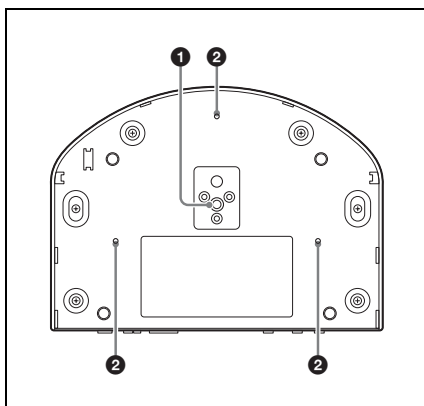
### ⑦ MIC 端子 (ミニジャック)

マイクロホン (付属) を接続します。マイクには本機から電源が供給されます。

### ⑧ DC 19.5V ジャック

付属の AC アダプターを接続します。

## 底面



### ① 三脚取り付け部 (1/4-20UNC)

三脚を使用するとき、このネジ穴を使って固定します。

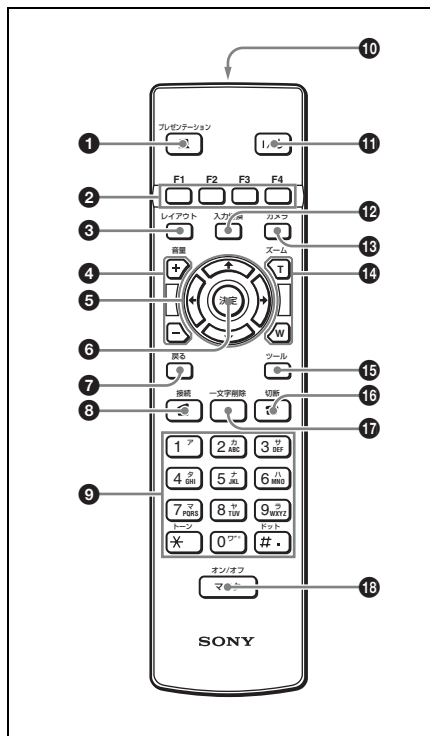
### ② 取り付け用ネジ穴 (M3)

金具などに安全に固定する場合にこのネジ穴を使用します。

#### 重要

機器の名称と電気定格は、底面に表示されています。

## RF リモコン (付属)



リモコンのボタンを押したときのピープ音の大きさを、メニューで設定することができます。また音が出ないようにすることもできます。

◆詳しくは、音声設定メニューの「ピープ音」(57ページ)をご覧ください。

### 1 プレゼンテーションボタン

プレゼンテーションデータを送信 / 停止します。

### 2 F1 ~ F4 (ファンクション) ボタン

状況によってさまざまな機能のボタンとして使用します。

各ボタンの機能は、メニュー画面下にガイダンスとして表示されます。

### 3 レイアウトボタン

レイアウトメニューを表示します。画面表示パターンを切り換えます。

### 4 音量 (+ / -) ボタン

相手から送られてくる音声の音量を調整します。

+ : 音量が大きくなります。

- : 音量が小さくなります。

### 5 ↑/↓/←/→ (矢印) ボタン

メニューを選んだり、項目を設定するのに使います。

### 6 決定ボタン

選んだメニューや設定した内容を確認して次の手順に進みます。

### 7 戻るボタン

ひとつ前の手順に戻ります。

### 8 接続 (☎) ボタン

相手と接続するときを使用します。

### 9 数字 (0 ~ 9, #, \*) ボタン

回線番号などの数字や名前などを入力するときを使用します。

### 10 電池入れ (後面)

単3形乾電池を2本入れます。

### 11 I / ⏻ (電源) ボタン

本機の電源が入っているときは、押すとスタンバイ状態になります。スタンバイ状態のときは、押すと電源が入ります。

## 12 入力切換ボタン

ビデオ入力メニューを表示します。  
モニターに表示する映像入力を切り換えます。

## 13 カメラボタン

カメラメニューを表示します。カメラのアンブルや、画像の明るさなどの調整を行います。

## 14 ズーム (T/W) ボタン

カメラのズームを操作します。  
T：画像が大きくなります。  
W：画像が小さくなります。

## 15 ツールボタン

ツールメニューを表示するときに押します。

## 16 切断 (☒) ボタン

相手との回線を切断するとき使用します。

## 17 一文字削除ボタン












最後に入力した文字を削除します。












## 18 マイクオン/オフボタン


自分側からの音声を相手に送るのを中断するときに押します。再び音声を相手に送るときは、もう一度押します。

# インジケータ一覧

機能の使用状況によって、モニター用テレビの画面に以下のアイコンが表示されます。

インジケータ	名称	説明
	自分カメラコント ロール	自分側のカメラをコントロール中
	相手カメラコント ロール	相手側のカメラをコントロール中
	マイクオフ（自分）	通信中、非通信中ともに自分側のマイクがオフの場合
	マイクオフ（相手）	通信中、非通信中ともに相手側のマイクがオフの場合
	ボリューム	相手から送られてくる音声の音量を調節中
	音量レベル（モノラル）	モノラル音声の入力レベル
	文字入力モード	文字入力モード
	LAN 状態（LAN）	品端子経由、IPv4（インターネットプロトコル IPv4）で LAN ケーブル接続中
	LAN 状態（LAN、IPv6）	品端子経由、IPv6 で LAN ケーブル接続中
	オーディオ入力	選択されている音声入力（MIC 端子からの入力の例）
	ビデオ入力	選択されている映像入力（HDMI IN (PC) 端子からの入力の例）

インジケータ	名称	説明
	USB メモリー	USB メモリー挿入中
	プリセットロード	カメラのプリセット登録(1～6)を呼び出し
	プレゼンテーション (送信中)	プレゼンテーション実行中(相手へ送信中)
	プレゼンテーション (受信中)	相手からのプレゼンテーションを受信中
	レコーディング	レコーディング中
	タブレット	ペンタブレット接続中
	ドローイング(自分)	自分側に描画権あり
	ドローイング(相手)	相手側に描画権あり
	ポインター(自分)	自分側のポインター
	ポインター(相手)	相手側のポインター
	暗号化	暗号化接続中
	パケットロス	パケットロスが発生中

インジケータ	名称	説明
	USB 音声機器	USB 音声機器を接続中

# メッセージ一覧

本機を操作中、モニター用テレビの画面にメッセージが現れたら、下記の表で確認してください。

## エラーコード付きメッセージ

メッセージ	
回線を完全につなぐことができません (下記の理由コードとメッセージが表示されます。)	
0	理由なし もう一度ダイヤルしなおしてください。
1	該当番号なし 相手側の電話番号を確認してください。
2	回線渋滞。しばらくしてからもう一度ダイヤルしてください。
3	しばらくしてからもう一度ダイヤルしてください。
16	正常切断 (通常の回線切断です)
17	通話中。しばらくしてからもう一度ダイヤルしてください。
18、19	相手側応答なし。相手側 TV 会議装置が接続されているかどうかを確認してください。
20	加入者不在。相手側の電話番号を確認してください。
21	通信拒否。相手側 TV 会議装置の接続を確認してください。
22	相手側番号変更。相手側の電話番号を確認してください。
26	接続復旧要求。しばらくしてからもう一度ダイヤルしてください。
27	相手側故障中。相手側 TV 会議装置の動作を確認してください。
28	無効な番号。相手側の電話番号を確認してください。
31、41 ~ 43、47	回線不通。しばらくしてからもう一度ダイヤルしてください。
33、34	回線が混雑しています。しばらくしてからもう一度ダイヤルしてください。
44	回線がビジーです。しばらくしてからもう一度ダイヤルしてください。
50	未契約 相手側回線の契約内容を確認してください。
57、58	伝達能力不許可 [制御網] の設定を確認してください。
70	能力制限 [制御網] を [56K] に設定してダイヤルしてください。
88	端末属性不一致。相手側 TV 会議装置の接続を確認してください。
91、95 ~ 102、111	手順誤り システムの電源を入れ直してもう一度ダイヤルしてください。
128	H.221 同期取得失敗。システムの電源を入れ直してもう一度ダイヤルしてください。
132	無効 SPID : SPID が正しく設定されていません。



メッセージ	
144、145	相手側端末がボンディング接続未対応の可能性があります。
177	LAN 接続タイムアウト。しばらくしてからもう一度ダイヤルしてください。
178	LAN 接続拒否。しばらくしてからもう一度ダイヤルしてください。
179	DNS エラー。
180	自分にはダイヤルできません。
181	ゲートキーパーエラー。
192	PPPoE のサーバー認証に失敗しました。PPPoE ユーザー名と PPPoE パスワードを確認してください。
195	DHCP で IP アドレスを取得中です。
196	DNS アドレスを設定するか、IP アドレスで発信してください。
202、203、204	H.245 エラー
205	発信するユーザー名、もしくはユーザー番号が正しいか確認してください。
207	相手端末がゲートキーパーへ登録されていない可能性があります。ゲートキーパー管理者へ連絡してください。
209～212	ゲートキーパーが応答しません。ゲートキーパー管理者へ連絡してください。もしくは相手の IP アドレスで発信してください。
201、217	相手呼び出ししましたが、応答がありません。
230、231	PPPoE の認証に失敗しています。PPPoE の設定を確認のうえ、もう一度ダイヤルしてください。
232	DNS サーバーにアクセスできませんでした。PPPoE の DNS 設定を確認してください。
233	DNS での名前解決ができません。IP アドレスで発信してください。
234	同じアドレスに発信できません。
235	回線数が異なるため、2次端末として扱われます。
236	カメラ制御 OFF のため、2次端末として扱われます。
237	回線種別もしくは IP アドレスが正しいか確認してください。
238	こちら側の暗号化機能がオフのため、会議が開始できませんでした。
239	相手側の暗号化機能がオフのため会議が開始できませんでした。
240	相手側と暗号化通信方式が異なるため会議が開始できませんでした。
241	SIP 接続を含んだ標準方式の暗号化会議はできません。
243	指定された回線種別では、現在の通信モードでの接続はできません。
244	相手からのパケットが来なくなったため切断しました。

## 故障かな？

本機が正しく動作しないときは、故障とお考えになる前に以下の項目を確認してください。

症状	原因	対策
本機の電源が入らない。	電源スイッチがオンになっていない。	⓪（電源）スイッチを押して電源を入れてください。（26 ページ）
	リモコンの電池が消耗している。	新しい乾電池と交換してください。（22 ページ）
リモコンが動かない	ペアリングができていない。	リモコンを本機とペアリングしてください。（24 ページ）
音声が聞こえない・小さい。	本機の音量が小さすぎる、または最小になっている。	リモコンの音量ボタンを押して音量を調節してください。（29 ページ）
	モニター用テレビの音量が小さすぎる、または最小になっている。	モニター用テレビのリモコンの音量ボタンを押して音量を調節してください。
	相手のマイクがオフになっている。	相手に、音声が聞こえないことを伝え、マイクをオンにするよう依頼してください。
	音声入力为正しく選択されていない。	音声設定メニューの「基本設定1」ページで「音声入力」を正しく設定してください。（55 ページ）
	マイクまたは入力用の外部機器が正しく接続されていない。	接続を確かめてください。（154、155 ページ）
映像がぼやける。	フォーカスを手動で調節しているとき、フォーカスが合っていない。	フォーカスを調整してください。（134 ページ）
	オートフォーカスにしてあるとき、背景が明るすぎたり、明暗がはっきりしすぎている、または参加者の衣服や背景が横じまなど細かい模様になっている。	マニュアルフォーカスに切り換え、調節してください。（134 ページ）

症状	原因	対策
映像が映らない。	カメラの動きをさえぎった。	本機の電源を入れ直してください。
	映像信号入力用外部機器の電源が入っていない。	電源を入れてください。
	入力が正しく選ばれていない。	入力を正しく切り換えてください。 (135 ページ)
	入力用の外部機器が正しく接続されていない。	接続を確かめてください。(155 ページ)
相手とつながらない。	違う番号にダイヤルした。	入力した番号をよく確かめてください。
	回線種別の選択がまちがっている。(ダイレクトダイヤルのとき)	「3 章 基本的な接続」の「直接、相手の番号を入力して呼び出す (ダイレクトダイヤル)」(102 ページ) を参照して正しく選択してください。
	アドレス帳の登録内容がまちがっている。	「アドレス帳に相手を登録する」(114 ページ) を参照して正しく登録してください。
	システム設定の設定内容がまちがっている。	「2 章 登録と設定 - 管理者用」の「システムを設定する」を参照して正しく設定してください。(47 ページ)
	IP アドレス、ネットワークマスクの設定がまちがっている。	ネットワーク 担当者などに問い合わせ、正しく設定してください。(58 ページ)
	LAN の接続ケーブルが抜けている。	正しく接続してください。(19、21 ページ)
	LAN の接続ケーブルの接続端子をまちがえている。	正しく接続してください。(19、21 ページ)
	LAN の接続ケーブルが断線している。	ケーブルを交換してください。
	ISDN 専用のケーブルを LAN 用に使っている。	ISDN で使えても LAN には使えないケーブルがあります。LAN 用のケーブルを使ってください。

症状	原因	対策
相手とつながらない。	LAN の接続にタイプ（クロスまたはストレート）の違う接続ケーブルを使っている。	正しいケーブルに交換してください。
	別売のワイヤレスモジュール PCSA-WXC1 に同梱されている USB 無線 LAN モジュールが本機背面の USB 端子に挿入されていない。	USB 無線 LAN モジュールを正しく挿入してください。
	通信中に電源を切るなど通常の手順によらないで通信を終了すると、しばらくつながらなくなることがある。	電源を切り、数分待ってから使ってください。
	LAN ケーブルの抜き差しや電源の入り切りを繰り返していると、しばらく使えなくなることがある。	電源を切り、数分待ってから使ってください。
	LAN の一時的な障害	一時的な障害がおさまってから使ってください。
	ご使用の LAN 環境では本機のポケットでは本機のポケットを通せない。	ネットワーク担当者に相談して、コミュニケーションシステムのポケットを通せるように LAN 環境を整えてください。
	相手端末の電源が入っていない。	相手端末の電源を入れてもらってください。
	相手端末がスタンバイ（スリープ）状態から着信可能になるまでに時間がかかる。	相手端末をスタンバイ（スリープ）状態から復帰させてもらってください。
	相手端末が他の端末と通信中である。	相手端末が通信を終えてからダイヤルし直してください。

症状	原因	対策
相手とつながらない。	相手端末が設定変更などの操作中で、着信を許可しない。	相手端末に着信を受け付けてもらってください。
	相手端末が自動着信になっていない。	相手端末の設定を自動着信に変更する、または、相手端末に手動で着信を受け付けてもらってください。
	相手端末側に問題がある。	他の端末にダイヤルして確かめてください。
	画面にメッセージが表示される。	「メッセージ一覧」をご覧ください。(184ページ)
USB メモリーに静止画やアドレス帳を保存できない。	USB メモリーの容量がいっぱいになっている。	他の USB メモリーに保存してください。
「内部温度が高くなっています」というメッセージが表示され、システムが自動的にシャットダウンする。	機器の内部が高温になっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご使用の環境が動作温度の範囲内であることを確認してください。</li> <li>・ファンが故障していないか点検を依頼してください。</li> </ul>

---

# 仕様

## HD ビジュアルコミュニケーションシステム PCS-XC1

本機は ITU-T 勧告 H.323 に準拠しています。

---

### 動画

動作帯域	64 Kbps ~ 4 Mbps (標準、LAN による接続)
コーディング方式	H.263/H.263+/H.263++ /H.264 Baseline Profile/H.264 High Profile
	MPEG4 Simple Profile (SIP 接続のみ)
画素	CIF : 352 ピクセル × 288 ライン
	QCIF : 176 ピクセル × 144 ライン
	4CIF : 704 ピクセル × 576 ライン
	WCIF (W288p) : 512 ピクセル × 288 ライン
	W432p : 768 ピクセル × 432 ライン
	W4CIF : 1024 ピクセル × 576 ライン
	720p : 1280 ピクセル × 720 ライン
	1080p : 1920 ピクセル × 1080 ライン (HD アップグレードソフトウェア)
	PCSA-RXC1 のインストール時のみ)

---

### 音声

周波数帯域	22 kHz (MPEG4 AAC)
	7 kHz (G.722 ITU-T 勧告準拠)
	3.4 kHz (G.711/G.728 ITU-T 勧告準拠)
伝送レート	56 Kbps、64 Kbps (G.711 ITU-T 勧告準拠)
	48 Kbps、56 Kbps、64 Kbps (G.722 ITU-T 勧告準拠)
	64 Kbps、96 Kbps (MPEG4 AAC)
	16 Kbps (G.728 ITU-T 勧告準拠)

---

### ネットワーク

多重分離化	映像信号、音声信号、データを多重分離化
フレームフォーマット	H.225 (ITU-T 勧告準拠)
回線	LAN (標準)、64 Kbps ~ 4 Mbps
サポート LAN プロトコル	HTTP Telnet RTP/RTCP TCP/UDP SNMP SSH

---

### リモートコントロール

相手カメラコントロール	H.281 (ITU-T 勧告準拠)
-------------	--------------------

---

### カメラ

同期方式	内部同期方式
映像素子	1/2.8 型 Exmor CMOS
レンズ	光学 12 倍、デジタル 12 倍

f = 3.9 mm (wide) ~  
46.8 mm (tele)  
F1.8 ~ 2.0  
水平画角 71° (WIDE 端)

最至近撮影距離

10 mm (WIDE 端) ~  
1500 mm (TELE 端)

最低被写体照度

3.6 Lux (F1.8) 50 IRE にて

パン・チルト機能

水平 ± 100°  
垂直 ± 25°

## その他

電源電圧 DC 19.5 V

消費電流 3 A

動作温度 5 °C ~ 35 °C

動作湿度 20% ~ 80%

保存温度 -20 °C ~ +60 °C

保存湿度 20% ~ 80%

(結露しないこと)

外形寸法 約 206 mm × 175 mm ×  
152 mm (幅 / 高さ / 奥行  
き) (突起部含まず)

質量 約 1.8 kg

付属品 リモコン PCS-RFZ1 (1)  
単 3 形マンガン乾電池 (2)  
(日本国内のみ)  
マイクロホン PCS-A1 (1)  
HDMI ケーブル (3 m) (1)  
AC アダプター (1)  
電源コード (1)  
(日本国内のみ)  
ご使用になる前に (1)  
設置ガイド (1)  
B&P ワランティブックレット  
(1)  
ユーザー登録シート (1)  
(日本国内のみ)

## リモコン PCS-RFZ1 (付属)

信号方式 IEEE802.15.4 に準拠  
制御 DC 3 V  
単 3 形乾電池 2 本使用

## マイクロホン PCS-A1 (付属)

周波数帯域 13 kHz  
指向特性 無指向性  
外形寸法 74 mm × 16 mm × 93 mm  
(幅 / 高さ / 奥行き)  
質量 約 170 g  
電源 プラグインパワータイプ  
ケーブル長 8 m

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。

**HDMI**

## MPEG-4 Visual エンコーダ／デ コーダ製品の販売・頒布

本製品は、MPEG LA, LLC. がライセンス活動を行っている MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE の下、次の用途に限りライセンスされています：

- (i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 Visual 規格に合致したビデオ信号（以下、MPEG 4 VIDEO といいます）にエンコードすること。
- (ii) MPEG-4 VIDEO（消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくは MPEG LA よりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC. のホームページ ([HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)) をご参照下さい。

MPEG LA は、(i) MPEG-4 Visual ビデオ情報を記録した媒体 (PACKAGED MEDIA) を製造し、販売する行為、(ii) MPEG-4 Visual ビデオ情報を何らかの方法（オンラインビデオ配信サービス、インターネット放送、TV 放送など）で配信・放送する行為について、ライセンスを提供しています。

その他の使用方法につきましても、MPEG LA からのライセンス取得が必要な場合があります。詳しくは、MPEG LA にお問い合わせください。

MPEG LA, L.L.C., 250 STEELE  
STREET, SUITE 300, DENVER,  
COLORADO 80206

ホームページ：<http://www.mpegla.com>

## MPEG-4 AVC (3-1) エンコーダ ／デコーダ製品の販売・頒布

本製品は、MPEG LA, LLC. がライセンス活動を行っている AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE の下、次の用途に限りライセンスされています：

- (i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 AVC 規格に合致したビデオ信号（以下、AVC VIDEO といいます）にエンコードすること。
- (ii) AVC Video（消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくは MPEG LA よりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。

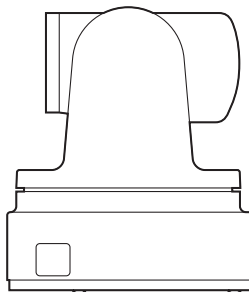
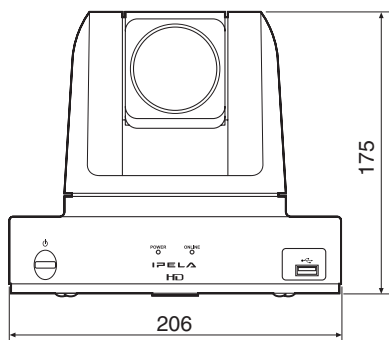
なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC. のホームページをご参照下さい。



# 寸法図

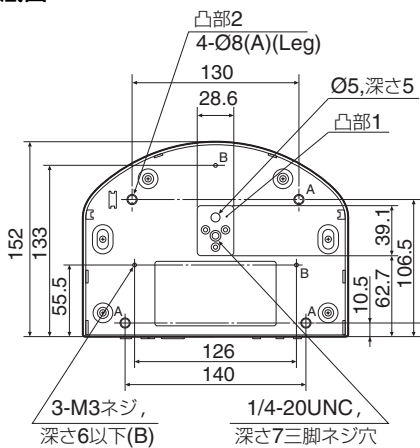
## 側面

### 前面



単位：mm

### 底面



単位：mm

## HDMI 出力仕様

表示画素数	伝送方式	備考	水平同期周波数 fH (kHz)	垂直同期周波数 fV (Hz)
1920 × 1080	プログレッシブ	FHD 59.94 Hz	67.43	59.94
	インターレース	FHD 59.94 Hz	33.72	59.94
	プログレッシブ	FHD 50 Hz	56.25	50
	インターレース	FHD 50 Hz	28.13	50

## HDMI IN (PC) 入力仕様

表示画素数	伝送方式	備考	水平同期周波数 fH (kHz)	垂直同期周波数 fV (Hz)
1024 × 768	プログレッシブ	XGA VESA 60 Hz	48.4	60
	プログレッシブ	XGA VESA 70 Hz	56.5	70
	プログレッシブ	XGA VESA 75 Hz	60	75
	プログレッシブ	XGA VESA 85 Hz	68.7	85
1280 × 1024	プログレッシブ	SXGA VESA 60 Hz	63.98	60
	プログレッシブ	SXGA VESA 75 Hz	79.98	75
1280 × 720	プログレッシブ	HD 60 Hz	45	60
	プログレッシブ	HD 59.94 Hz	44.96	59.94
	プログレッシブ	HD 50 Hz	37.5	50
1920 × 1080	プログレッシブ	FHD 60 Hz	67.5	60
	プログレッシブ	FHD 59.94 Hz	67.43	59.94
	プログレッシブ	FHD 29.97 Hz	33.72	29.97
	プログレッシブ	FHD 50 Hz	56.25	50
	プログレッシブ	FHD 25 Hz	28.13	25
	インターレース	FHD 59.94 Hz	33.72	59.94
	インターレース	FHD 50 Hz	28.13	50

## 端子のピン配列

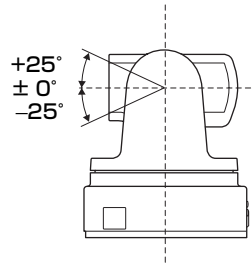
1000BASE-T/100BASE-TX/  
10BASE-T 端子



モジュラー端子

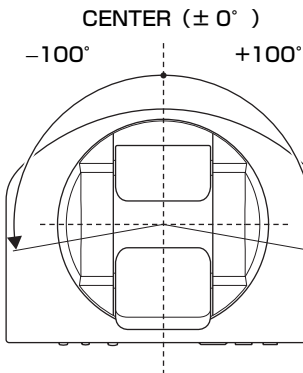
ピン番号	10BAS E-T/ 100BA SE-TX	1000BASE-T
1	TD+	TP0+
2	TD-	TP0-
3	RD+	TP1+
4	-	TP2+
5	-	TP2-
6	RD-	TP1-
7	-	TP3+
8	-	TP3-

## UP/DOWN の設定範囲



## パン・チルト範囲

LEFT/RIGHT の設定範囲



# PCS-XC1 使用ポート一覧

## 初期設定時

機能	ポート番号	タイプ
RAS	1719	UDP
ゲートキーパー Discovery	224.0.1.41 : 1718	UDP マルチキャスト
Q.931 (発信)	2253-2269	TCP
Q.931 (着信)	1720	TCP
H.245	2253-2269	TCP
オーディオ RTP	49152-49159	UDP
オーディオ RTCP	49152-49159	UDP
ビデオ RTP	49152-49159	UDP
ビデオ RTCP	49152-49159	UDP
FECC RTP	49152-49159	UDP
FECC RTCP	49152-49159	UDP
2nd ビデオ RTP	49152-49159	UDP
2nd ビデオ RTCP	49152-49159	UDP
SIP	5060	UDP/TCP
自動帯域検出	51234-51235	UDP/TCP

### ご注意

RTCP の設定可能範囲は、49152 ~ 65535 です。

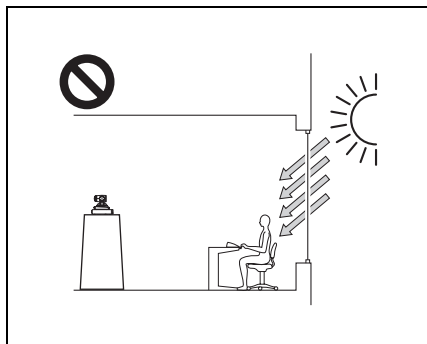
## その他のポート

機能	ポート番号	タイプ
Telnet	23	TCP
	50000	TCP
SSH	22	TCP
Web	80	TCP
DHCP	68	UDP
NTP	123	UDP
SNMP	161	UDP
AMX デバイスディスカバリー	54691	UDP

# ミーティングスペースのレイアウト

## 照明について

外から光が入る窓の正面にカメラを設置しないでください。カメラの写りが悪くなります。どうしてもカメラの正面に窓がくる場合は、厚手のカーテンなどで窓を覆ってください。



ミーティング参加者に光が当たり、モニター用テレビの画面に直接光が当たらないように照明器具の位置や明るさを調節してください。

参加者の顔の明るさは 300 ルクス以上が目安です。

# USB メモリーについてのご注意

本機では、USB2.0 に対応した USB メモリーを使用してください。ソニー製 USB メモリー “ポケットビット” の USM32GM/USM32GR の使用を推奨します。

## 取り付け

本機の USB 端子に直接接続して、使用してください。

## アクセスランプの状態

消灯：待機中

点灯：データ転送中

## 取りはずし

ポケットビットを取りはずす場合は、必ず待機中（インジケーターが消灯）であることを確認してから取りはずしてください。

## 使用上のご注意

- ・ポケットビットを接続した状態で大きな力を加えないようご注意ください。USB 端子が破損すると、ポケットビットの故障の原因になるだけでなく、機器の故障の原因となることがあります。
- ・長時間の使用やアクセスの状況により、本体の表面が熱くなる場合がありますので、ご注意ください。
- ・ポケットビットを接続したまま機器を起動または再起動したりスリープモードから復帰させると、正常に動作しないことがあります。これらの操作

は、ポケットビットを取りはずしてから行ってください。

- ・大切なデータはバックアップを取っておくことをおすすめします。

お客様の記録したデータの破壊（消滅）、および付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害や損失について、当社は一切その責任を負いかねますのでご容赦ください。

POCKET BIT、ポケットビットはソニー株式会社の商標です。

## 保証書とアフターサービス

### 保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

### アフターサービス

#### 調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？」（186 ページ）をもう一度ご覧になってお調べください。

#### それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店にご相談ください。

#### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

#### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げ店にお問い合わせください。

## 用語解説

### エコーキャンセラー

音声の伝送時に発生するエコーを消去し、違和感なく聞こえるようにする装置。

### ゲートキーパー

ネットワーク上での H.323 ビジュアルコミュニケーションのアクセスをコントロールする装置。ゾーン管理や許可制限、帯域制限、エイリアスなどの機能を使用することができる。

### コーデック

CODer-DECoder の略。音声や映像のアナログ信号をデジタル信号に変換、圧縮するコーダーと、圧縮されたデジタル信号を元のアナログ信号に戻すデコーダーが一体になった装置。

### 自動帯域検出

通信開始前にネットワーク帯域幅などを測定します。この測定値を QoS 機能に用いることによって、通信開始時から最適な QoS 制御が可能となります。

### フレームレート

1 秒間にエンコード / デコードできるフレーム数。

### ホップ数

相手にたどりつくまでに経由するルーターの数。

### リップシンク

コミュニケーションシステムで、発言者の唇の動きと音声とを同期させるために音声を遅延させて同期させること。

### ARC

Adaptive Rate Control の略。ネットワーク輻輳時に、Video のビットレートを自動的に下げるための技術。

### ARQ

Automatic Repeat Request の略。パケットロスが起こった場合に、再送してエラー訂正をするための技術。

### DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

動的ホスト構成プロトコル。ネットワーク内の IP アドレスを管理します。

### DNS (Domain Name System)

ドメインネームシステムを規定します。

### FEC

Forward Error Correction の略。送信元に再送要求を行うことなく、エラー訂正をするための技術。

### G.711

ITU-T で勧告化された、音声符号化に関する規格。電話帯域の音声に 64 kbps のデータレートのデジタル信号に変換します。56 kbps で伝送する場合があります。

## G.722

ITU-T で勧告化された、音声符号化に関する規格。7 kHz 帯域の音声を 48 kbps、56 kbps、または 64 kbps のデジタル信号に変換します。

## G.728

ITU-T で勧告化された、音声符号化に関する規格。電話帯域の音声を 16 kbps のデータレートのデジタル信号に変換します。

## H.239

ITU-T で勧告化されたデュアルビデオ機能（プレゼンテーションモード）対応の規格。カメラ映像とコンピューターのデータを同時に送受信できます。

## H.263

H.261 を基本として、より低いビットレートの回線で通信するためのビデオコーディングアルゴリズムです。

## H.263+

H.263 を基本として、画質、エラー耐性の向上などを目的とする Annex I～T (I,J,K,...,T) を追加した映像符号化方式。通常、H.263/H.263+ の Annex のいくつかを用いたプロファイルと呼ばれる組み合わせで用いられます。

## H.264

2003 年 5 月に ITU-T で標準化されたビデオコーディングアルゴリズムです。低いビットレートでも高画質を実現でき、H.263 と比べて約半分のビットレートで同等の画質を実現することが可能です。ISO では MPEG-4 Part10

Advanced Video Coding (AVC) としても標準化されています。

## H.323

QoS 非保証 LAN 上で通信可能なコミュニケーションシステムの標準。

## HD

High Definition（ハイディフィニション）の略。テレビなどにおける高解像度（高精細・高画質）のこと。1080i、1080p、720p がこれに相当する。

## ITU-T

International Telecommunication Union, Telecommunications. の略。

## QoS

Quality of Service（サービスの品質）の略。ネットワーク上で、ある特定の通信のための帯域を予約し、一定の通信速度を保証する技術。

## SIP

Session Initiation Protocol の略。インターネット電話、インスタントメッセージなどに使われる通話制御プロトコルです。

## SNMP

Simple Network Management Protocol の略。管理ステーションと管理対象システムの間での管理情報の交換プロトコルです。これにより、ソニー製コミュニケーションシステムの監視が可能になります。



## TOS (Type of Service)

IP ヘッダ内の TOS フィールド。サービスタイプに情報を組み込むことにより、パケットの優先順位などを、通信機器が適切に判断できるようになります。

また、サービスの種類（遅延や容量）によって経路を変更することなども可能になります。

## WDR (View-DR)

高速信号読み出しが可能な“Exmor” CMOS イメージセンサーの特徴を生かして、1 フレーム内でシャッタースピードが異なる 4 枚の画像を合成し、同時に、明暗部コントラスト補正機能（VE：ビジビリティエンハンサー）を組み合わせることで、明部／暗部の視認性を飛躍的に向上させることができる機能。

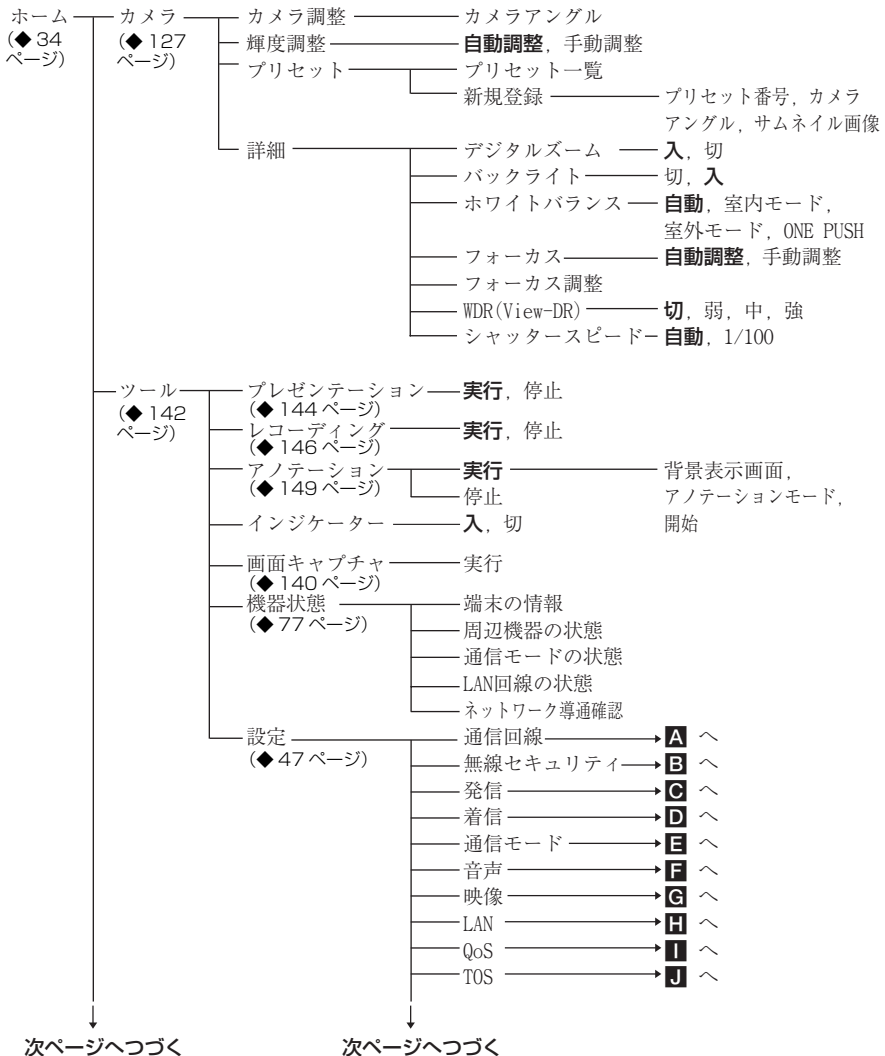
# メニューの構成

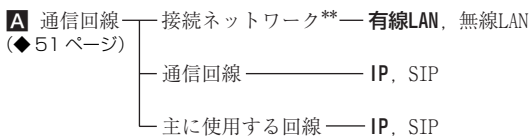
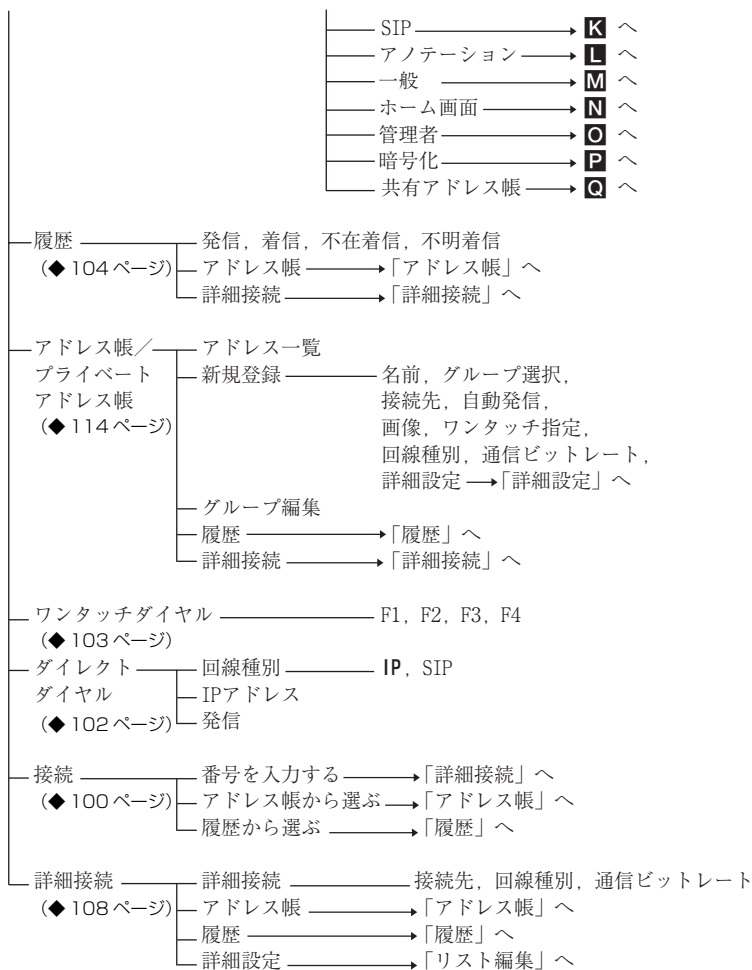
本機のメニューは次のように構成されています。詳しい内容は、( )内のページをご覧ください。太字は初期設定です。

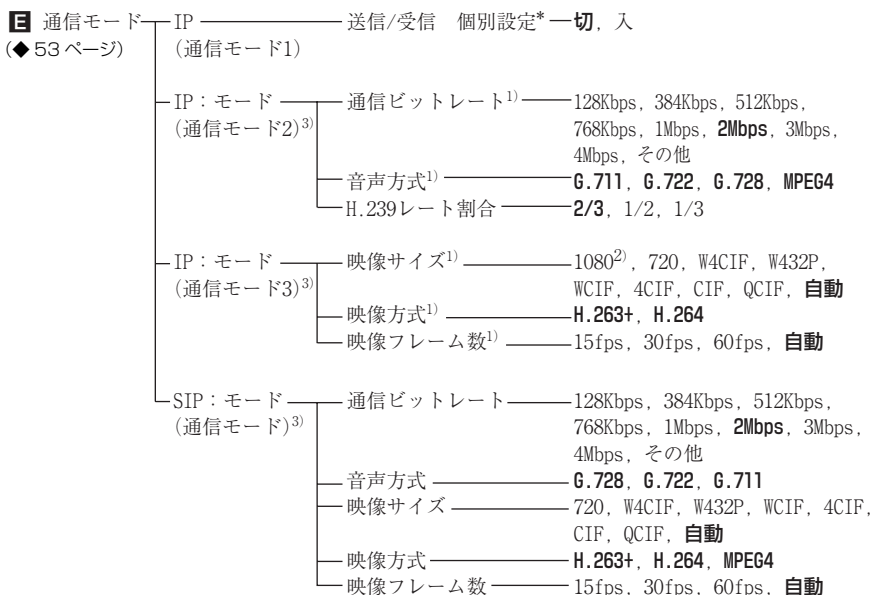
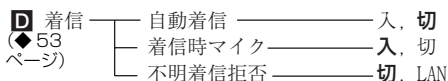
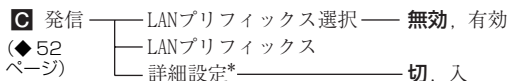
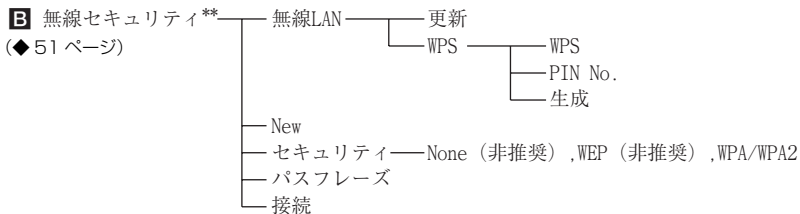
\*のメニューおよび選択肢は、Web 機能上でのみ表示されます。

\*\*のメニューおよび設定項目は、別売のワイヤレスモジュールPCSA-WXC1のインストール時のみ表示されます。

Web 機能上では、各メニューおよび選択肢は英語でのみ表示されます。

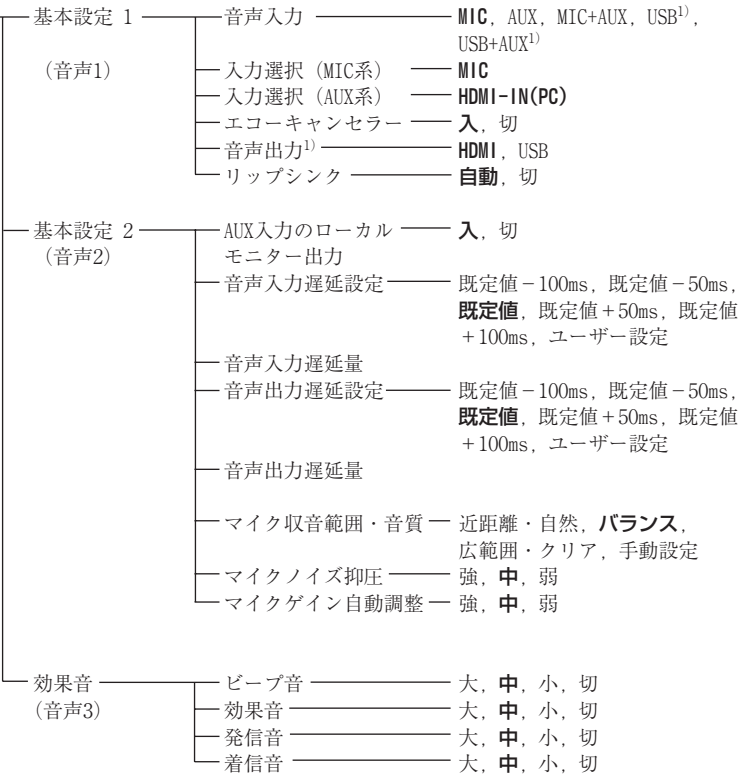






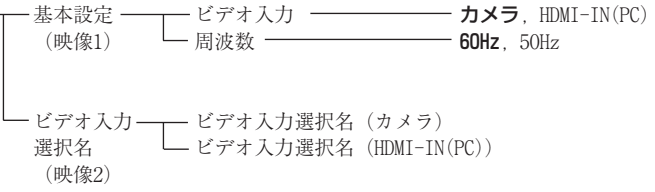
- 1) 「IP」ページの「送信/受信 個別設定」が「入」のときは、送信、受信のそれぞれに設定できます。
- 2) HD アップグレードソフトウェア PCSA-RXC1 をインストールしている場合のみ表示されます。
- 3) 「通信モード2」ページ以降のページ数は、「送信/受信 個別設定」や「対向/多地点 個別設定」の「入」「切」によって変わります。

**F** 音声  
(◆55  
ページ)



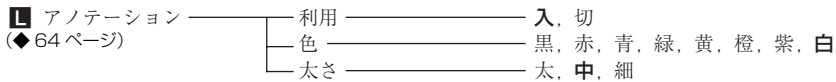
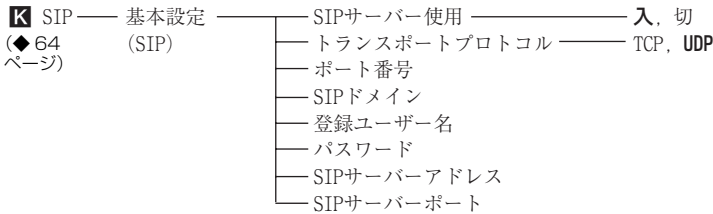
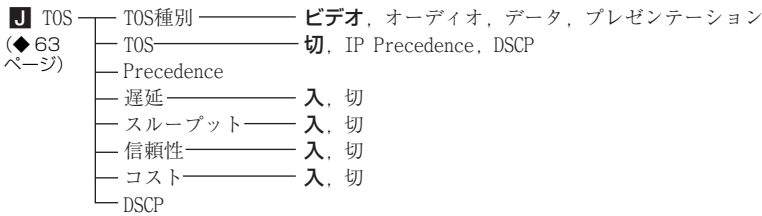
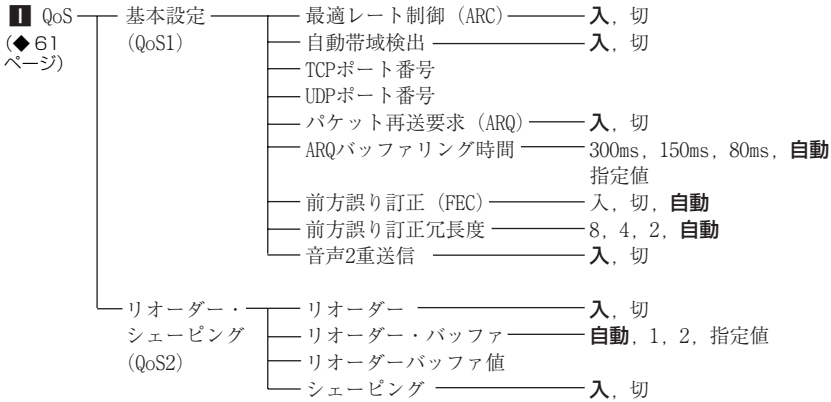
1) USB 音声機器が接続されているときのみ選択できます。

**G** 映像  
(◆58  
ページ)



**H** LAN  
(◆58  
ページ)

基本設定 (LAN)	ホストネーム	
	DHCPモード	自動, 切
	プリフィックス長	
	IPアドレス	
	ネットワークマスク	
	ゲートウェイアドレス	
	DNSプライマリ	
	DNSセカンダリ	
	LANモード*	自動, 1000Mbps, 100Mbps Full Duplex, 100Mbps Half Duplex, 10Mbps Full Duplex, 10Mbps Half Duplex
	PPPoE (LAN)	PPPoE
ユーザー名		
パスワード		
固定IP		切, 入
固定IPアドレス		
DNS		自動取得, 設定する
DNSプライマリ DNSセカンダリ		
NAT設定 (LAN)	NATモード	自動, 入, 切
	WAN IPアドレス	
ゲートキーパー (LAN)	使用	自動, 入, 切
	ゲートキーパーアドレス	
	ユーザー名	
	ユーザー番号	
	H, 460	入, 切
使用ポート番号, RTP/RTCP設定 (LAN)	Q.931	
	H.245	
	RTP/RTCP	
	MTUサイズ	
SNMP* (LAN)	SNMPサービス	入, 切
	トラップ送信先	
	コミュニティ名	
	機器の説明	
	設置場所	
	管理者名	

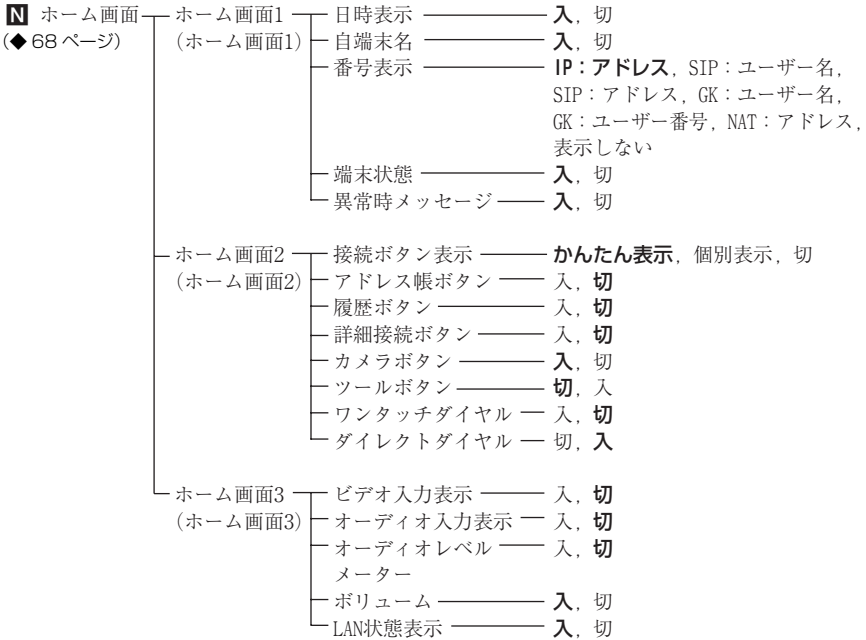
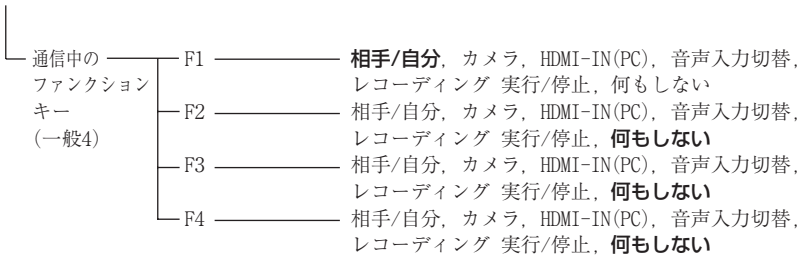


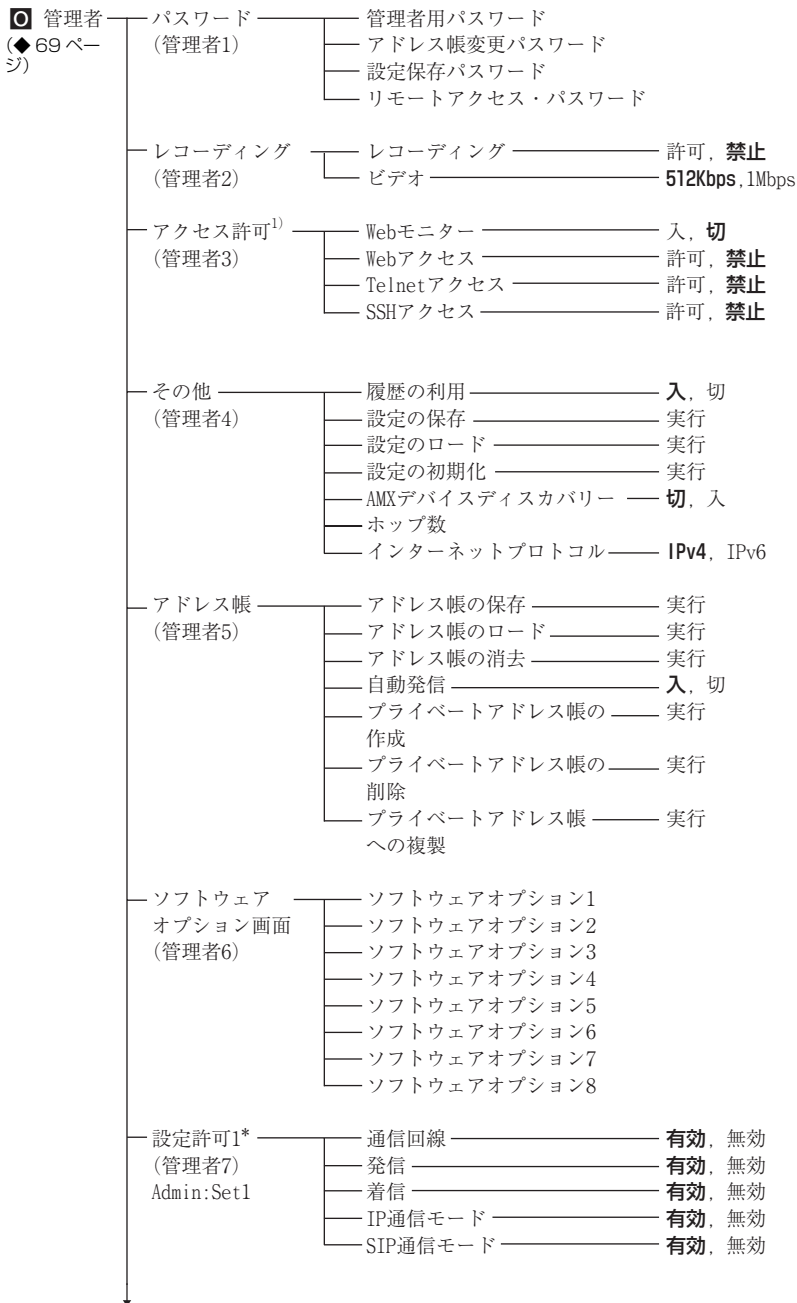
**M** 一般  
(◆65  
ページ)

- 機器設定 (一般1)
  - 端末名
  - スタンバイモード ———— 入, 切
  - スタンバイ時間 ———— 1~99分
  - 会議終了後のリスト登録 ———— 切, 入
  - カメラコントロール ———— 入, 切
  - 受信
  - 言語設定/Language ———— 日本語/Japanese, 英語/English, フランス語/French, ドイツ語/German, スペイン語/Spanish, イタリア語/Italian, 簡体中国語/Chinese, ポルトガル語/PORT, 繁体中国語/Chinese, 韓国語/Korean, オランダ語/Dutch, デンマーク語/Danish, スウェーデン語/Swed, フィンランド語/Finn, ポーランド語/Polish, ロシア語/Russian, アラビア語/Arabic, タイ語/Thai, ノルウェー語/Norwegian, トルコ語/Turkish, ウェールズ語/Welsh, チェコ語/Czech, ハンガリー語/Hungarian
  
- 日時設定 (一般2)
  - NTP ———— 入, 切
  - プライマリーNTP  
サーバー
  - セカンダリーNTP  
サーバー
  - タイムゾーン
  - 日時表示形式 ———— 年/月/日, 月/日/年, 日/月/年,  
年-月-日, 日.月.年
  - 年月日
  - 時間
  - 時刻更新 ———— 実行
  
- メニュー画面 (一般3)
  - 通信中時間表示 ———— 切, **経過時間**, 現在時刻
  - 端末名表示 ———— 切, 常時表示, **一定時間表示**
  - ガイダンス表示 ———— 入, 切
  - インジケータ表示 ———— 入, 切
  - 接続時の通信 ———— 入, 切
  - モード表示
  - ソフトキーボード表示 ———— 入, 切
  - メニュー透過度 ———— 高, 中, 低

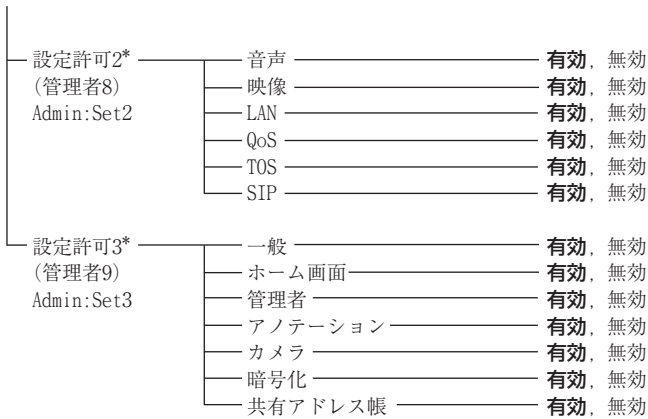
↓  
次ページへつづく







1) 「アクセス許可」ページは、「インターネットプロトコル」が「IPv4」のときのみ表示され、設定できません。



**P** 暗号化 ————— 暗号化モード — **切**, 接続性優先, 暗号化優先  
 (◆75 ページ)

**Q** 共有アドレス帳 ————— SPBモード — **入, 切**  
 (◆76 ページ)

- SPBサーバ・アドレス
- SPBサーバ・パスワード

# 索引

## 五十音順

### ア行

相手アドレス	80
相手側に送る音声を切り換える	136
相手側の映像を切り換える	136
相手端末名	80
相手の IP アドレス	81
相手／自分	67
アクセス許可	71
アドレス帳	118
アドレス帳	37, 70, 73, 106, 113, 114, 117, 118, 173
アドレス帳の消去	73
アドレス帳の保存	73
アドレス帳のロード	73
アドレス帳変更パスワード	70
アドレス帳ボタン	37, 68
アノテーション	9, 64, 75, 143, 148, 177
アノテーション設定メニュー	64
アノテーションモード	150
暗号化	75, 76
暗号化接続	10, 160, 161, 163
暗号化設定メニュー	75
暗号化モード	76, 161
暗号化優先	162
異常時メッセージ	68
一般	75
一般設定メニュー	65
色	64
インジケーター	143, 181
インジケーター表示	39, 66
インターネットプロトコル	73
映像	74
映像サイズ	54, 55
映像設定メニュー	58
映像と音声を切り換える	135

映像符号化方式	80
映像フレーム数	54, 55
映像フレームレート	80
映像方式	54, 55
映像を切り換える	135
エコーキャンセラー	55, 126
遠隔カメラ制御	80
オーディオ入力表示	69
オーディオレベルメーター	39, 69
オプション I/F	79
主に使用する回線	51
音声	74
音声 2 重送信	62
音声出力	79
音声出力遅延設定	56
音声出力遅延量	57
音声設定メニュー	55
音声入力切替	67
音声入力 (AUX 系)	79
音声入力 (MIC 系)	79
音声符号化方式	80
音声方式	54, 55
音量調節	29, 40

### カ行

会議終了後のリスト登録	65
回線種別	81
回線種別選択ボタン	38
回線レート	80
回線 I/F	80
ガイドンス	38
ガイドンス表示	66
カメラ	67, 75, 127
カメラコントロール受信	65
カメラ調整	127
カメラボタン	35, 69
カメラメニュー	36
画面キャプチャ	140, 143

管理者.....	75	周辺機器の状態.....	79
管理者設定メニュー.....	69	手動着信.....	111
管理者名.....	61	手動調整.....	134
管理者用パスワード.....	70	使用.....	60
機器状態.....	77	詳細接続.....	108
機器状態メニュー.....	77	詳細接続ボタン.....	38, 69
機器設定.....	65	詳細接続メニュー.....	38
機器の説明.....	61	詳細設定.....	52
輝度調整.....	129	使用ポート番号.....	60
基本的な接続.....	99	初期設定ウィザード.....	30
逆光補正 (バックライト).....	133	シリアルナンバー.....	79
共有アドレス帳.....	75, 76, 123, 173	新規登録.....	114
共有アドレス帳設定メニュー.....	76	信頼性.....	63
グループ編集.....	118	スタンバイ時間.....	65
ゲートウェイ.....	81	スタンバイモード.....	27, 65
ゲートウェイアドレス.....	59	スループット.....	63
ゲートキーパー.....	60, 80, 85	セカンダリー NTP サーバー.....	66
ゲートキーパーアドレス.....	60	セキュリティ.....	52
言語設定 /Language.....	65	接続.....	99, 111
効果音.....	57	接続時の通信モード表示.....	66
更新.....	51	接続性優先.....	161
コスト.....	63	接続ネットワーク.....	51
固定 IP.....	59	接続ボタン.....	37
固定 IP アドレス.....	59	接続ボタン表示.....	68
コミュニティ名.....	61	接続メニュー.....	38, 100
コンピューターを接続する.....	144	切断.....	113
		設置場所.....	61
		設定許可.....	74, 75
		設定の初期化.....	72
		設定の保存.....	72
		設定のロード.....	72
		設定保存パスワード.....	70
		設定メニュー.....	47
		前方誤り訂正冗長度.....	62
		前方誤り訂正 (FEC).....	62
		送信 / 受信 個別設定.....	53
		測定開始.....	81
		ソフトウェアオプション.....	79, 96
		ソフトウェアオプション画面.....	74
		ソフトキーボード.....	10, 44
		ソフトキーボード表示.....	66
<hr/>			
<b>サ行</b>			
最適レート制御 (ARC).....	61		
シェーピング.....	63		
時間.....	66		
時刻更新.....	66		
システムの構成例.....	13		
システムの準備.....	22		
システムの接続.....	18		
自端末名.....	35, 68		
自動帯域検出.....	61		
自動着信.....	53, 111		
自動調整.....	134		
自動発信.....	73		
周波数.....	58		

---

## タ行

タイムゾーン	66
ダイレクトダイヤル	69, 102, 173
タブレット	182
端末状態	35, 68
端末の情報	79
端末名	65
端末名表示	66
チェックコード	80
遅延	63
着信	53, 74, 111
着信音	57
着信時マイク	53
着信時マイクオフ	126
着信設定メニュー	53
通信回線	32, 51, 74
通信回線設定メニュー	51
通信中時間表示	66
通信中のファンクションキー	67
通信ビットレート	53, 55
通信モード設定メニュー	53
通信モードの状態	80
通信履歴	104
ツールボタン	36, 69
ツールメニュー	36, 142
デジタルズーム	133
電源	26, 100, 177
登録ユーザー名	64
トラップ送信先	61
トラバーサルサーバー	88
トランスポートプロトコル	64
トレースルート	81

---

## ナ行

何もしない	67
日時設定	65
日時表示	68
日時表示形式	66
入力選択 (MIC 系)	55
ネットワーク導通確認	81, 95

ネットワークマスク	59
年月日	66

---

## ハ行

背景表示画面	150
パケット再送要求 (ARQ)	62
パケット数—受信パケット数	81
パケット数—復元パケット数	81
パケット数—ロスパケット数	81
パスフレーズ	52
パスワード	59, 64, 69
発信	52, 74
発信音	57
発信設定メニュー	52
発信ボタン	39
番号入力欄	38
番号表示	68
ビーブ音	57
ビットレート—受信	81
ビットレート—送信	80
ビデオ	71
ビデオ出力	79
ビデオ入力	58, 79
ビデオ入力選択名	58
ビデオ入力選択名 (カメラ)	58
ビデオ入力選択名 (HDMI-IN(PC))	58
ビデオ入力表示	69
ファイアウォール	87
ファンクションボタン	136
フォーカス	134
太さ	64
プライベートアドレス帳	107, 121, 173
プライベートアドレス帳の削除	73
プライベートアドレス帳の作成	73
プライベートアドレス帳への複製	74
プライマリ NTP サーバー	65
プリセット	9
プリセット機能	130
プリフィックス長	59
プレゼンテーション	142, 144, 182
プレゼンテーションモード	144

プロジェクター.....	157
ペアリング.....	24
ペンタブレット.....	148, 177
ポート番号.....	64
ホーム画面.....	68, 69, 75
ホーム画面設定メニュー.....	68
ホームメニュー.....	34, 40, 68
ホストネーム.....	58, 79
ホストバージョン.....	79
ホップ数.....	73
ボリューム.....	69
ホワイトバランス.....	133

---

## マ行

マイク.....	154
マイクミュート機能.....	125
マイクロホン PCS-A1.....	11, 191
無線セキュリティ.....	33, 51
無線セキュリティ設定メニュー.....	51
無線 LAN.....	51
無線 LAN 接続.....	20
メニュー.....	40, 48, 202
メニュー画面.....	66
メニュー透過度.....	66
メニューの構成.....	202
モニター.....	157
モニター映像を切り換える.....	138

---

## ヤ行

ユーザー番号.....	60
ユーザー名.....	59, 60

---

## ラ行

リオーダー.....	62
リオーダー・バッファ.....	62
リオーダー・バッファ値.....	62
リダイヤル.....	110
リップシンク.....	56
リップシンク機能.....	126
リモートアクセス・パスワード.....	71

リモコン.....	22, 24, 43, 67, 136, 138, 172, 179, 191
利用.....	64
履歴.....	173
履歴の利用.....	72
履歴ボタン.....	36, 68
履歴メニュー.....	37
ルーター.....	84
レイアウトボタン.....	138
レイアウトメニュー.....	138
レコーディング.....	10, 71, 143, 146, 182
レコーディング 実行 / 停止.....	67

---

## ワ行

ワイヤレスモジュール PCSA-WXC1.....	12, 14
ワンタッチダイヤル.....	69, 103
ワンタッチダイヤルボタン.....	39

---

## アルファベット順

---

### A

AMX デバイスディスカバリー.....	72
ARQ バッファリング時間.....	62
AUX 入力のローカルモニター出力.....	56

---

### D

DHCP.....	83
DHCP モード.....	58
DNS.....	60
DNS セカンダリ.....	59, 60
DNS プライマリ.....	59, 60
DSCP.....	63
DTMF の送信.....	158

---

### F

F1.....	67
F2.....	67
F3.....	67

F4.....	67
---------	----

---

## H

H.239 レート割合.....	54
H.245.....	60
H.460.....	60, 87
H239.....	80
HD ビジュアルコミュニケーション	
システム PCS-XC1.....	11, 177, 190
HDMI-IN(PC).....	67

---

## I

IP.....	53
IP アドレス.....	35, 59, 79
IP 通信モード.....	74
IPv6.....	82
IPv6 使用時の制限.....	82
IP : モード.....	53

---

## K

KIOSK Mode.....	10, 174
-----------------	---------

---

## L

LAN.....	32, 58, 74
LAN 回線の状態.....	80
LAN—ゲートキーパーを	
介しての接続.....	85
LAN 状態表示.....	69
LAN 接続.....	13, 19
LAN 設定メニュー.....	58
LAN プリフィックス.....	52
LAN プリフィックス選択.....	52
LAN モード.....	59
LAN モード (LAN).....	79
LAN—ルーターを介しての接続.....	84
LAN—DHCP を使用しての接続.....	83
LAN—H.460 を使用した	
ファイアウォール越えでの接続.....	87
LAN—NAT 環境での接続.....	86

LAN—PPPoE による接続.....	89
----------------------	----

---

## M

MAC アドレス.....	79
MTU サイズ.....	61

---

## N

NAT.....	86
NAT 設定.....	60
NAT モード.....	60
NTP.....	65

---

## P

PCS-XC1.....	11
PPPoE.....	59, 89
Precedence.....	63

---

## Q

Q.931.....	60
QoS.....	10, 61, 75
QoS 設定メニュー.....	61

---

## R

RTP/RTCP.....	61
RTP/RTCP 設定.....	60

---

## S

Session Initiation Protocol.....	64
SIP.....	10, 32, 64, 75
SIP サーバーアドレス.....	64
SIP サーバー使用.....	64
SIP サーバーポート.....	64
SIP 接続.....	15, 21
SIP 設定メニュー.....	64
SIP 通信モード.....	74
SIP ドメイン.....	64
SIP : モード.....	55
SNMP.....	61
SNMP サービス.....	61



SPB サーバ・アドレス.....	76
SPB サーバ・パスワード.....	76
SPB モード.....	76
SSH アクセス.....	71
SSID.....	52

---

## T

TCP ポート番号.....	62
Telnet.....	159
Telnet アクセス.....	71
TOS.....	63, 75
TOS 種別.....	63
TOS 設定メニュー.....	63

---

## U

UDP ポート番号.....	62
USB メモリー .....	10, 121, 140, 146, 177, 178, 182, 197

---

## W

WAN IP アドレス.....	60
Web アクセス.....	71, 159
Web 機能.....	165
Web ブラウザ.....	159, 165
Web モニター.....	71, 174, 176
WPS.....	51

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>